

政務活動記録簿 (年会費負担)

会派・議員名 山中益敏

年 月 日	令和2年8月25日・令和2年11月6日・令和2年11月24日			
年会費名	新生奈良研究会 年会費			
相手方	株式会社 奈良新聞社 新生奈良研究会			
年会費支払目的	県内外の各界の専門家、有識者らを招いて研修・意見交換を行い、見識を深める。			
按分率の説明	75% (懇談会の費用を除く)			
活動内容等 ※年会費支払いの効果を明記のこと	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本会の活動内容 令和2年8月25日 8月例会 講師：安東 範明「新型コロナウイルス感染症—正しく恐れるための知識」講演会が行われる。 令和2年11月6日 11月例会 講師：荒井 正吾「奈良新『都』づくり戦略2020-10」講演会が行われる。 令和2年11月24日 11月例会 講師：藤井 聡「自粛と緊縮で日本は自滅する～菅総理への直言」講演会が行われる。 ◆ 本会の活動頻度 令和2年8月25日・令和2年11月6日・令和2年11月24日の例会に参加。 ◆ 参加者の状況 別紙添付 ◆ 効果等について 各界の著名人の講演をお聞きし、見識を深める事が出来、議会活動に活かせていく。 			
経費	項目	金額	内容	領収書番号
	年会費	30,000円	(令和2年10月～令和3年3月分) 60,000円×6ヶ月/12ヶ月	34
	年会費	30,000円	(令和2年4月～令和2年9月分) 60,000円×6ヶ月/12ヶ月	1
	合計	60,000円	(60,000円×75%=45,000円を充当)	
備考	添付資料：奈良日日新聞記事・規約・講演会資料			

注 年会費支払いの規約や会報の表紙等を添付してください。

新生奈良研究会規約

- 第1条 名称 この会は新生奈良研究会という。
- 第2条 目的 未来に向かって新たな奈良県の創造、地域発展、政治・経済・文化の向上を目指し、会員相互に情報と意見を交換。また県内外の各界専門家、有識者を招いて研修、意見交流会を行い、その方途策定の研究をすることを目的とする。
- 第3条 事業 本会は奈良市を主会場に原則として年4回の定例講演会並びに意見交流会を開催する。また、随時、研修視察会も行う。
- 第4条 広報 この会で論議され、提案された内容は、奈良新聞社発行の新聞紙面で掲載、広くアピールする。
- 第5条 会員 会員は本会の目的に賛同する法人、及び個人で構成する。なお、会の内容により会員外の参加を認めることができるものとする。
- 第6条 入退会 入会に際しては入会金3万円を添え、入会申込書の提出を必要とする。退会は申し出があった会計年度末での退会とする。また、会員は申し出がない限り自動継続とする。
- 第7条 会費 年会費は6万円とする。但し研修視察会などでの特別な経費は別途徴収する。
- 第8条 会計年度 会計年度は毎年10月1日より、翌年9月末日とする。
- 第9条 規則改定 規則の変更は諸般の事情を考え、随時、必要とあれば行う。
- 第10条 事務局 本会の事務局は、奈良市法華寺町2番地4 奈良新聞社内
に設置する。

(令和元年5月5日改訂)

以上

新生奈良研究会 8月例会

謹啓

残暑の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、8月例会は、奈良県医師会副会長の**安東 範明**氏を講師にお迎えして、「**新型コロナウイルス感染症—正しく恐れるための知識—**」と題しご講演いただきます。

諸事ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますよう、ここにご案内申し上げます。

謹白

令和2年7月吉日

新生奈良研究会 事務局

奈良新聞社 企画部営業課 奈良市法華寺町2番地の4 ☎0742-32-2115

記

- 1.日 時：令和2年 8月25日(火) 15:00~16:00 講演会
16:00~16:30 質疑応答
- 2.会 場：奈良ロイヤルホテル
(奈良市法華寺町254-1 ☎0742-34-4363)
- 3.講 師：奈良県医師会副会長 **安東 範明**氏
- 4.テ ー マ：「**新型コロナウイルス感染症—正しく恐れるための知識—**」
- 5.講師略歴：安東 範明 (あんどう のりあき)



静岡県静岡市出身

昭和63年3月 奈良県立医科大学医学部卒業

平成1年1月 国立療養所福井病院内科常勤医

平成16年12月 国立病院機構奈良医療センター神経内科医長
リハビリテーション科医長

平成18年5月 医療法人社団誠医学会安東内科医院院長

平成25年6月 橿原地区医師会理事/28年 同区医師会副会長

平成29年6月 奈良県医師会副会長

【資格等】医学博士/日本神経学会専門医/日本リハビリテーション
医学会専門医・認定臨床医/日本内科学会認定医/
日本医師会健康スポーツ医/日本神経治療学会評議員/
日本電気生理運動学会理事

【著書】歩行障害の診断・評価入門(医歯薬出版)

ケアスタッフと患者・家族のためのパーキンソン病(医歯薬出版)

筋ジストロフィーにおける脊柱変形の治療・ケアマニュアル

(厚生労働省) など

【新型コロナウイルス感染症に関して】

奈良テレビ放送の情報番組「ゆうドキッ」の特集「医師が答える新型コロナウイルスのギモン」に5回にわたり出演(令和2年4月下旬~5月上旬)。県民の疑問に対し解説を行った。

また、奈良新聞「いかがですか あなたの健康」欄(令和2年5月21日付)に「新型コロナウイルス感染症の行方」記事を投稿。

朝日新聞(令和2年6月18日付)奈良版には、県医師会の取組や県内の医療体制等に関するインタビュー記事が掲載された。

◎誠に勝手ながら、出欠のお返事は8月7日(金)までをお願いします。

新生奈良研究会 8月例会

令和2年9月25日(火)
於：奈良ロイヤルホテル

☆本日のスケジュール 15:00～より講演会

16:00～16:30 質疑応答

16:30 終了

講師 奈良県医師会副会長 安東 範明 氏

テーマ 「新型コロナウイルス感染症—正しく恐れるための知識—」

(略 歴)

静岡県静岡市出身

昭和63年3月 奈良県立医科大学医学部卒業

昭和63年5月 奈良県立医科大学神経内科学教室入局臨床研修医

平成1年1月 国立療養所福井病院内科常勤医

平成2年4月 国立療養所西奈良病院神経内科常勤医

平成9年4月 国立療養所西奈良病院神経内科医長・リハビリテーション科医長

平成16年12月 国立病院機構奈良医療センター神経内科医長・リハビリテーション科医長
(国立療養所および国立病院機構勤務時に厚生労働省神経難病研究班、

筋ジストロフィー研究班など各種研究班に分担研究者や幹事として所属)

平成18年5月 医療法人社団誠医会安東内科医院院長

平成25年6月 橿原地区医師会理事

平成28年6月 橿原地区医師会副会長

平成29年6月 奈良県医師会副会長

(資格など)

医学博士

日本神経学会専門医、日本リハビリテーション医学会専門医・認定臨床医

日本内科学会認定医、日本医師会健康スポーツ医

日本神経治療学会評議員、日本電気生理運動学会理事

(著書)

歩行障害の診断・評価入門 (医歯薬出版)

歩行関連障害のリハビリテーションプログラム入門 (医歯薬出版)

高齢者の転倒とその対策 (医歯薬出版)

ケアスタッフと患者・家族のためのパーキンソン病 (医歯薬出版)

筋ジストロフィーにおける脊柱変形の治療・ケアマニュアル (厚生労働省)

筋ジストロフィーのすべて (日本プランニングセンター) など

奈良テレビ放送の情報番組『ゆうドキッ!』の特集「医師が答える新型コロナウイルスのギモン」に5回にわたり出演(令和2年4月下旬～5月上旬)。県民の疑問に対し解説を行った。また、奈良新聞『いかがですか あなたの健康』欄(令和2年5月21日付)に「新型コロナウイルス感染症の行方」記事を投稿。朝日新聞(令和2年6月18日付)奈良版には、県医師会の取組や県内の医療体制等に関するインタビュー記事が掲載された。

MEMO

県医師会

→ 新型コロナウイルス感染症の行方

安東 範明

新型インフル治療薬転用など

期待される治療法やワクチンの開発

生活様式変更も重要

ハーバード大学の研究チームは4月14日の科学誌「サイエンス」で、新型コロナウイルス感染症の流行は医療体制が現在と変わらず治療法やワクチンがない場合は2022年まで続く可能性がある予測しています。そして感染拡大を防ぐためには社会的距離「ソーシャルディスタンス」すなわち人との距離を2メートル以上取る対策を断続的に維持する必要がありますとしている。治療法として期待されるのは、他の病気の治療薬として一定の安全性が確認されている、すでにある薬の転用です。アメリカで開発されたエボラ

出血熱治療薬の「レムデシビル」は新型コロナウイルスの増殖を抑える働きが確認され、日本でも「ベクルリー」という製品名の点滴静注薬と

れ、まだ少ない症例数ながら一定の効果が確認されており内服薬の有力候補です。ただし催奇形性があるため妊婦さんへの投与ができません。マリア治療薬のクロロキンは細胞を使った実験で効果が報告されています。ぜんそく治療用の吸入ステロイド「オルベスコ」、急性肺炎の治療薬「フサン」も研究が進行中です。日本で開発された疥

クチン開発ですが、アメリカ国立衛生研究所(NIH)は3月から核酸を使ったワクチンの治験に着手しました。来年初期の使用を目指しています。国内では大阪大学微生物病研究所がウイルスの遺伝子操作技術を活用したワクチン開発を開始しました。ただし安全性などの確認に時間が必要ですので、完成はやはり来年以降になる見込みです。

いかに
健康
1487

して5月7日に認可されました。まずは重症の方に使用されています。また、日本で開発された新型インフルエンザ治療薬の「ファビピラビル」、製品名「アピガン」は、新型コロナウイルス感染症を対象とした臨床研究が開始さ

療(かいせん)や腸管糞線虫症(ちようかんぶんせんちゅうしよう)の薬である「イペルメクチン」製品名「ストロメクトール」も効果が確認されれば外来での有力な内服薬として期待されます。一方、感染予防のためのワ

先の子測はなかなか難しいのですが、結果は私達が行ってきた行動変容をいかに生活様式として定着できるかにかかっています。すなわち社会的距離に加えて密閉、密集、密接の回避、マスクなどの咳エチケット、こまめな手洗いや手指消毒などの継続です。しかし感染力や患者数から考えて、今から1年以内はこの感染症が姿を消すことはないだろうと厳しい見解を示す専

門家が多いです。国民の多くが感染して抗体を獲得する「社会的免疫」が成立するまで、あと2、3年は完全収束しないだろうとする見方もあります。長期戦の覚悟が必要

さて最近では外出制限や営業自粛などの皆の努力によって感染の拡大に一定の歯止めがみられ、日本中で「出口対策」が注目されています。しかし各種の規制を一度に解除すればすぐに第2波が襲ってくる危険があります。今後は段階的な規制緩和が行われることでしょうか。その戦略を定めることは非常に難しい問題ですが、確実に言えることはサイエンスと経済および教育に諮問した上で、決断と責任は政治の仕事であるということです。皆で行方を注視していきましょう。



報発信が不十分

市内業者 仲川市長が見解

市内業者の先方針

市の10歳代男性(大阪府の大学生)は18日に発症。10日に親類の会合で大阪府が15日に発表した50歳代男性と接触があった。天理大学ラグビー部員の20歳代男性は、天理市内の施設で経過観察中、23日に微熱、嗅覚障害が出た。検査で陽性が判明した。

なかつたが、情報発信が不十分だことは認める」とし、近き市のホームページなどで公表する考えを示した。市は年度末に結果検証を行っており、十分な競争性が確保できるか、疑問視する声も出ている。

同日の定例会見で仲川市長は「市はこの10年、厳しい基準で入札改革を続けてきた。今回は新型コロナウイルス禍の中でどう市内業者を支援するかということで、『十分に競争性を担保できる場

と強調した。背景として、市内の業者だけでも十分に競争が成立する入札にも市外・県外業者が参加し、市内業者が疲弊する実態がある」と、「市内で競争性が獲得できるなら市内に絞るといことと繰り返した。

市内各課への通知は6月19日付で、新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けた市内経済の活性化、市内業者の育成を図るとし、建設工事なども市内に本社・本店を置く業者の選定を優先

市はこれまで、コロナ禍にあえぐ観光業者など市内事業者への支援策を打ち出しているが、今回の方針は公表されていなかった。

来月1日開会

五條市会

五條市議会は25日、議会運営委員会を開き、9月定例会議の日程を9月1日開会、29日までの29日間と決めた。日程は次の通り。

- 1日 市政報告、議案説明
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問、議案審議
- 10

新生奈良研究会の8月例会(奈良新聞社主催)が25日、奈良市法華寺町の奈良ロイヤルホテルで開かれ、県医師会副会長の安東龍明氏が「新型コロナウイルス感染症に正しく恐れるための知識」と題して講演。

感染者は減少傾向にあるとした上で、「希望を持たながら、みんなやるべきことをやって新型コロナウイルスを克服していく」と呼び掛けた。【2面に続く】

例会は半年ぶりに再開。会員ら約40人が参加した。

冒頭、奈良新聞社の田中篤則社長が「新型コロナウイルスはけつしん開発などで明るい材料もある。どう対応したらよいか、皆さんと勉強させていただきたい」とあいさつした。

講演で安東氏は「凡事

新生奈良研究会

みななが「凡事徹底」を

県医師会 新型コロナ対策語る

だがこの間、なかつた。女性(無職)50歳代男性の発症、20日に50歳代女性(大)は8日発症の妹。その際、そいつがたられ、20日に内で検査。24日か。感染重複し、かつ無症状。50歳代女性(同イマ)は28日、た生駒市の80歳の同居はなかつた。21日に入院時には症

選挙率を弁護の参院選で民選初の当選。連立民主党政権の副大臣(金融)副大臣(参)の参院選に就任したが、選



新生奈良研究会8月例会で新型コロナウイルス感染症をテーマに講演する安東龍明氏(25日、奈良市法華寺町の奈良ロイヤルホテル)

多量化する二一スに感染を最適化する建物管理を提案します

アスカ美化装飾

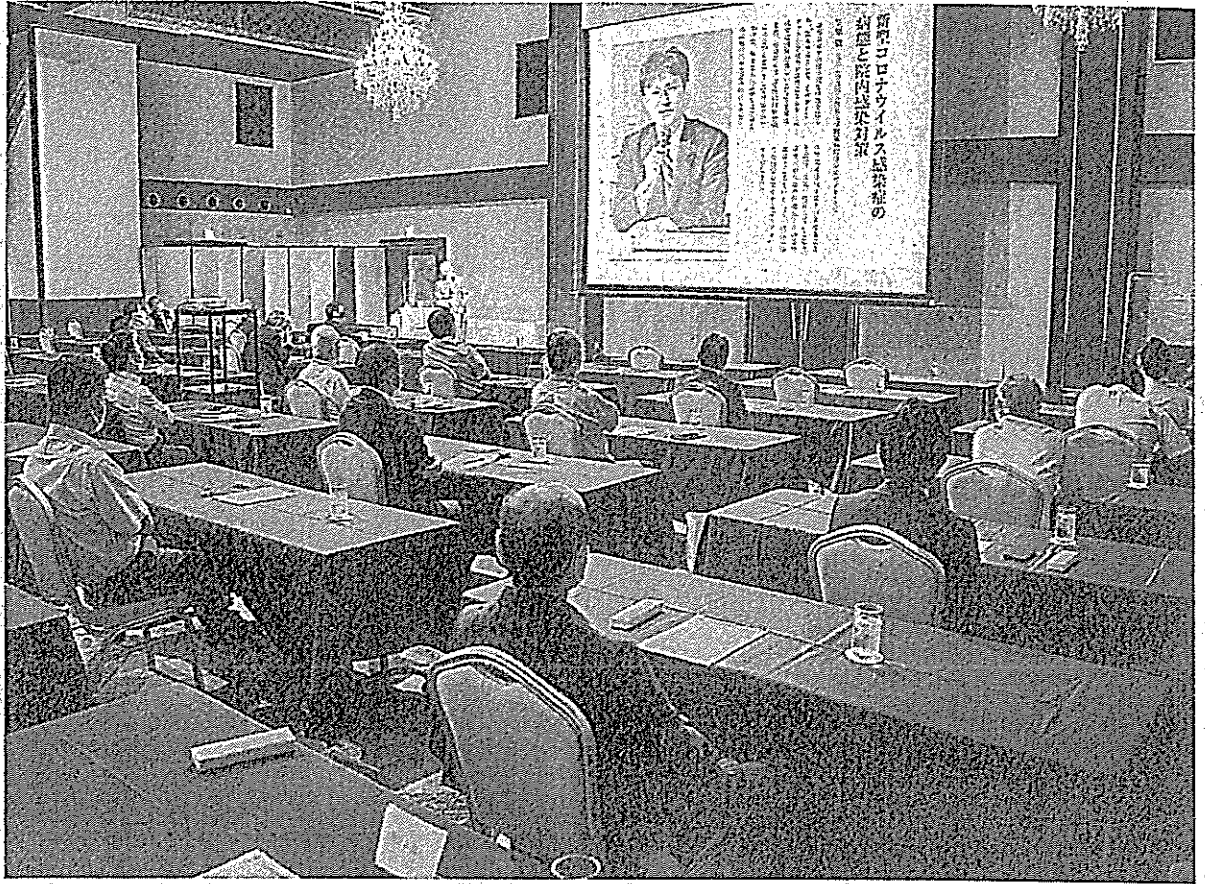
株式会社アスカ美化装飾
TEL:074-241-1757
http://www.asukabiso.co.jp/

徹底」という言葉を挙げてマスク着用や手洗いの励行を強調。県と連携した県医師会の取り組みや治療薬について説明した。

感染については「発症から10日までは感染力は高くなる」と指摘。秋から冬にかけて流行が予想されるインフルエンザとの見分けは不可能とし、「これからは抗原定性検査が標準的にな

密にならないようテーブルに1人ずつ座った会場＝写真はいずれも25日、奈良市法華寺町の奈良ロイヤルホテル

「氷室」題材に物語



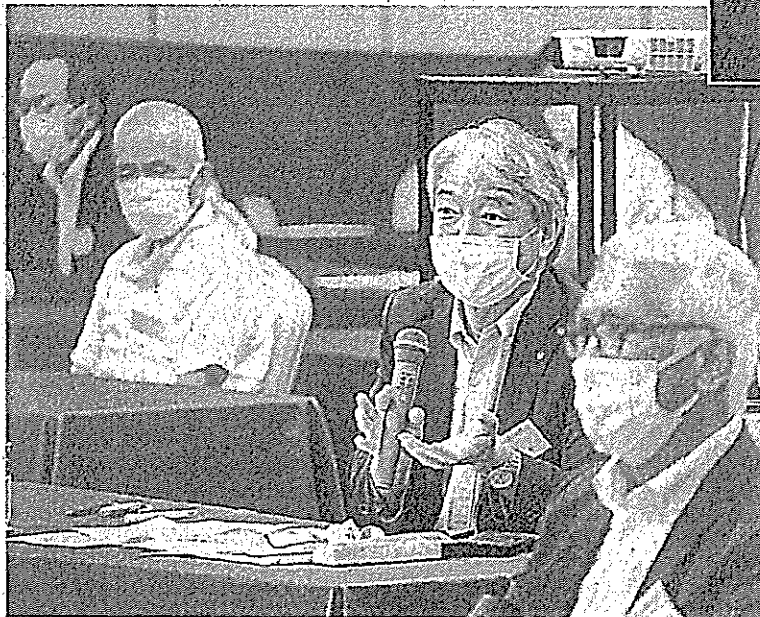
希望を持ち「基本」徹底

新生奈良研究会

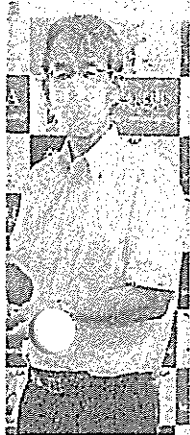


新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため受付では検温を

感染防止策 一人一人が 改めて確認



講演の最後には質問時間が設けられ熱心に質問する会員の姿も



明治安田生命奈良支社(菊野和洋支社長)は25日、同社からの寄付金と奈良にゆかりのある社員からの善意を合せた計104万99700円を具に寄付した。新型コロナウイルスを踏まえた社会貢献の

デスクメモ

が、市も本内、個人は規、収入は、配に



往

■県政
荒井知事会
午前在庁、午後
午前出張、午
部長午前在庁
知事公室長会
振興監出張
午前在庁、午後
育、くらし創造
後会議金剛
午前在庁、午後
療部長午前在
井医療・介護保
午後会議鶴田
前在庁、午後
林・齋藤環野
会議谷屋産業
会午前在庁、
光局長午前在
山食と風の振興
午後会議松本

新生奈良研究会・阪奈政経文化懇話会・現代奈良研究会・なら21くらぶ

奈良新聞政経懇話会 11月合同例会

謹啓

秋晴の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、延期になっておりました9月例会、奈良県知事の荒井正吾氏を講師にお迎えして、(仮)「奈良新『都』づくり戦略2020・10」と題してのご講演を11月6日(金)に行います。

諸事ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますよう、ここにご案内申し上げます。

謹白

令和2年10月吉日

奈良新聞政経懇話会 事務局

奈良新聞社 企画部営業課 奈良市法華寺町2番地の4 ☎0742-32-2115

記

1. 日 時：令和2年 11月6日(金) 12:00~13:00 講演会
~~13:10~14:00 懇親会~~
2. 会 場：奈良ホテル
(奈良市高畑町1096 ☎0742-24-3300)
(懇親会は会食からの感染が
安全に避けないため
中止とさせていただきます。)
3. 講 師：奈良県知事 荒井 正吾 氏
4. テー マ：(仮)「奈良新『都』づくり戦略2020・10」
5. 講師略歴：荒井 正吾 (あらい しょうご)



生年月日 昭和20年 1月18日(75歳)

【学 歴】 昭和38年 3月 奈良女子大学附属高校卒業
昭和43年 3月 東京大学法学部卒業
昭和47年 6月 米國シラキュース大学マックスウェル
行政大学院を卒業
(昭和47年行政学修上を取得)

【職 歴】 昭和43年 4月 運輸省入省
昭和57年 4月 OECD日本政府代表部参事官
平成 5年 6月 運輸省 観光部長
平成 8年 6月 同 鉄道局次長
平成 9年 6月 同 自動車交通局長
平成11年 7月 海上保安庁長官
平成13年 7月 第19回参議院議員選挙初当選
(奈良県選挙区)
平成15年 9月 外務大臣政務官
平成19年 5月 奈良県知事(1期目)
平成23年 5月 奈良県知事(2期目)
平成27年 5月 奈良県知事(3期目)
令和元年 5月 奈良県知事(4期目)

◎誠に勝手ながら、出欠のお返事は10月26日(月)までをお願いします。

通う学校に濃厚なかつたが、念のため生徒12人の全員陰性だった。性も3日に完のしている。無症のアルバイト女性を調査中で、家族4人。外の感染者は、40代男性8人が、同団体職員と、の教人と

いる。天理市の40歳代男性(大阪市内の自営業)は30日の発症。妻の50歳代女性(同)も1日に発症した。女性は家庭内感染、男性は中。

が発生し、検査と感染が分かった。王寺町の30歳代男性(県内の会社員)は3日に発症、感染経路は調査中。

に決まった。6面に作品掲載。「芸術の価値について考えるきっかけとなる広告」をテーマに作品を募集した。キャッチコピー部門の最優秀作は安達岳さん(東京都)の「いっしょに理解してる。こころ、思わせてくれるとが好き」。

コロナ「新都」戦略語る



奈良新聞政経11月例会で知事

奈良新聞政経懇話会、新文化懇話会、現代奈良研究会、生奈良研究会、阪政政経文

奈良新聞政経懇話会などの合同例会で、県政の概要について講演する荒井知事。16日、奈良市高畑町の奈良ホテル

会が6日、奈良市高畑町の奈良ホテルで開かれた。荒井正吾知事が「奈良新『都』づくり戦略2020・10」と題して講演。新型コロナウイルス対策も踏まえて内容を更新した同戦略を紹介し、県政の目標、施策推進の方針などを示した。

【2面に出席者ら】 初めに奈良新聞社の田中篤則社長が「コロナ禍で社会情勢が大きく変化する中、さらに良くなる奈良へ

新たな取り組みを推進したい」とあいさつ。

講演で荒井知事は、国民スポーツ大会(国体)の県内開催に向けたスポーツ施設整備に努め、県が協議の協定を結んだ橿原市と磯城郡3町に対し「来年7月には、(施設整備が)できるかどうか決断を示してほしい」と依頼していると明らかにした。

県のコロナ対策では、①感染経路の類型に応じた注意、感染②感染者全入入院治療、宿泊療養③重症化予防の3点を示し「入院病床は余裕のある状況を保っている」と報告。感染防止と経済活動との両立を目指す施策とは、県内宿泊者数が前年より増えていることも紹介した。

ask24 SECURITY 奈良の24時間価値のソリューションにお任せください

ask24 奈良市 電話 0744-255111

大阪府 電話 06-6644-1111

東京都 電話 03-5561-1111

福岡県 電話 092-712-1111

北海道 電話 011-833-1111

東北 電話 022-723-1111

関東 電話 03-5561-1111

中部 電話 059-223-1111

関西 電話 06-6644-1111

中国 電話 082-223-1111

四国 電話 087-223-1111

九州 電話 092-712-1111

さんと奈良大文字保存会 奈良新聞文化賞授賞式

術、スポーツなど分野で活躍する者を表彰する第25回文化賞の授賞式が、16日、奈良市法華寺町の法華寺で行われ、本賞に貢献した奈良新聞社からは役員と編集部長

が出席。戦没者慰霊のため昭和35年に始まった奈良大文字送り火について田中篤則社長が「その歴史以上に奈良に定着しており、これからも永く守り続けていくべき行事」と述べ、渡辺さんの木簡研究を「考古学

が出席。戦没者慰霊のため昭和35年に始まった奈良大文字送り火について田中篤則社長が「その歴史以上に奈良に定着しており、これからも永く守り続けていくべき行事」と述べ、渡辺さんの木簡研究を「考古学

や古代史研究に欠かせない大きな業績で、奈良に身を置く者として誇らしい」とたたえた。

表彰状を受け取った植田会長は「諸先輩方が続けてこられた成果に対する賞だと感謝している。次の世代へつなげるように、受賞を契機にさらに頑張っていきたい」と喜びを述べ、河野

た政策を進めることができると実績をアピール。前垣候補は観光事業の推進▽道路整備の促進など10のビジョンを掲げ「国・県との強いパートナーを築き、発展させる」と意気込み、スマート農業など新たな取り組みにも意欲。

投票は8日午前7時から午後8時まで町内16万所で行われ、午後9時から同町下市の町総合体育館で即日開票される。



田中社長から表彰状や記念品を受け取る奈良新聞文化賞の受賞者。16日、奈良市法華寺町の奈良新聞社

副会長と高橋理事もそれぞれあいさつした。

渡辺さんは今年3月まで勤めた奈良文化財研究所で平城宮跡などの発掘調査に携わり、出土木簡の整理、解読や木簡データベースの構築に尽力した。授賞式では「私個人というよりも奈良文化財研究所が頑張ったのだと思う。やりたかったことをやらせてもらったことは幸せ。

『奈良で奈良の古代を学ぶ楽しさ』を学生に伝えていきたい」とあいさつした。

と依頼していると明らかにした。

県のコロナ対策では、①感染経路の類型に応じた注意、感染②感染者全入入院治療、宿泊療養③重症化予防の3点を示し「入院病床は余裕のある状況を保っている」と報告。感染防止と経済活動との両立を目指す施策とは、県内宿泊者数が前年より増えていることも紹介した。

県政の発展目標と道筋を示す「奈良新『都』づくり戦略」の本年10月改訂版「2020・10」に関しては「地域の自立が大きくなる。就業率など県の全国順位が低い指標を優先的に選択、改善に取り組む」と基本姿勢を話した上で、個別の政策を順次説明した。

杉本候補が議場の開校火器場庁舎改修を公選で26億円の借入を計画している。未来に向け

2日現在の選挙人名簿登録者数は4704人(男2186人、女2518人)。

県政の目標 道筋を紹介

奈良新聞政懇11月合同例会



拍手で迎えられる荒井知事＝写真はいずれも6日、奈良市高畑町の奈良ホテル

出席者名簿

◆政経懇話会

滋沼組奈良営業所長・東口勝彦
▽斑鳩町長・中西和夫▽打谷石村
代表取締役会長・打谷久義▽NHK奈良放送局長・湯本和則▽主事
町長・平井康之▽大阪力入課長・
真鍋義人▽柿の葉すし本館たなか
代表取締役社長・田中妙子▽鍛冶
田工務店課長代理・鳥居宏昭▽関
西電力配電奈良支社総務部長・島
田佳明▽京都中央信用金庫奈良支
店長・竹内伸太郎▽共同精版印刷
代表取締役社長・近東宏佳▽近鉄
グループホールディングス広報部
課長・武知良太郎▽きんてん奈良
支店業務部長・工藤大五▽きんて
ん奈良支店・光田義勝▽小山取締
役専務執行役員・池原靖忠▽広陵
町副町長・松井宏之▽三和住宅専
務取締役・辻谷力▽三和製粉工業
代表取締役会長・森本俊一▽三和
製粉工業総務人事顧問・秋吉善
秀▽損保保険ジャパン奈良支店・
杉本千晶▽住友生命保険相互会社
奈良支店部長・宇野啓一▽トヨタ
モビリティパートナーズ奈良支社長・
澤田信也▽竹中工務店専門役・峯
勲▽天理市建設部長・岡林功▽ト
コCS関西奈良支店法人営業部
長・岡部直樹▽奈良県副知事・村
井浩▽奈良交通取締役会長・植田
良壽▽奈良交通取締役社長・森島
和洋▽奈良交通取締役副社長・増
本隆史▽奈良交通相談役・中村憲
児▽奈良信用金庫常務取締役・森本
孝▽奈良中央信用金庫理事・総務
部長・勝本和廣▽奈良県中小企業
団体中央会専務理事・土井敏多▽



講演終了後、拍手で講師の労をねぎらう参加者

奈良日野自動車代表
取締役社長・内藤登
紀夫▽奈良三笠運輸
代表取締役会長・中
尾安治▽奈良三笠運
輸取締役社長・岡田
和憲▽奈良三笠運輸
執行役員・辰巳千尋
▽奈良三笠運輸次長
・永田浩久▽日本た
ばこ産業奈良支店長
・砂川圭三▽西日本
電信電話奈良支店長
・奥野順也▽学校法
人西大和学園相談役
・松本喜久子▽ハル
ナ学園理事・平岡仁▽ハルナ学園
次長・梅本邦彦▽富園生命保険相
互会奈良支社内務次長・堀智晴
▽豊園取締役会長
和洋▽大和信用金庫常務理事・中
村正徳▽ヒンターNEC奈良支店
長・中川裕子

◆新生奈良研究会
福寿会事務局長・秋吉将臣▽三
和建設代表取締役社長・小林伸嘉
▽三和建設取締役・東井生彦▽奈
良大学人事課長・山口将誠▽大和
ハウス工業奈良支店営業推進専任
次長・高橋清治▽上牧町長・今中
富夫▽奈良社会福祉院常務理事・
福本晃▽奈良県議会議員・植村
佳史▽上武建設営業統括部長・奥
田秀仁▽奈良トヨタ自動車代表取
締役社長・菊池政▽トヨタL&F
奈良常務取締役・中村嘉宏▽河合
町長・清原和▽奈良県議員小林
茂樹所長・永井一男▽こくみん共
済COOP奈良推進本部部長・
小山澤▽参議院議員佐藤啓書
・石橋利洋▽奈良県議会議員・清
水勉▽奈良県町村議会議長会長高
取町議会議長・新澤良文▽衆議院
議員高市早苗秘書・木下守▽奈良
県議会議員・出口武男▽市民生活
協同組合ならこーぷ常任理事・宮
高達也▽市民生活協同組合ならこ
ーぷ事業開発室部長・三木克哉▽
広陵町建設協同組合代表理事・中
山弘▽連合奈良事務局長・山原一
志▽安堵町役場町長・西本安博▽
藤後運輸事務所取締役・廣瀬誠▽参
議院議員堀井康秘書・足田進一▽
奈良県信用保証協会会長・松谷幸
和▽西奈良中央病院法人本部長・
仲島徳巳▽明日香村副村長・窪田
勝彦▽森高建設代表取締役・森高
美樹▽奈良市議会議員副議長・八
尾俊宏▽奈良県議会議員・山中益
敏▽奈良市議会議員・山本憲博▽
帝塚山学園常務理事・松岡正格

◆先輩たちが果たした一瞥する。新型コロナウイルス

今回も新型コロナウイルスの影響で講演後の懇親会はなく、参加者は弁当を手渡された

ルをプレゼント
無料。試合終
無料配布する
またコロナ
全国から5万
った金魚折り
ように束ねた
の展示や金魚
ある。
午前10時
天決行、荒天
また同日、
柳町商店街で
神くん祭り」
金魚が泳ぐ「
ト」のお披露

新生奈良研究会 11月合同例会

謹啓

仲秋の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、11月例会は、社会工学者の藤井 聡氏を講師にお迎えして、「自粛と緊縮で日本は自滅する～菅総理への直言～」と題してのご講演を11月24日(火)に行います。

諸事ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますよう、ここにご案内申し上げます。

謹白

令和2年10月吉日

新生奈良研究会 事務局

奈良新聞社 企画部営業課 奈良市法華寺町2番地の4 ☎0742-32-2115

記

1. 日 時：令和2年 11月24日(火) 12:00～13:00 講演会
~~13:10～14:00 懇親会~~
2. 会 場：ホテル日航奈良 飛天の間
(奈良市三条本町8-1 ☎0742-35-8831) (労働厚生省のガイドラインに従い
会食を伴う懇親会は
中止いたします。)
3. 講 師：社会工学者 藤井 聡 氏
4. テー マ：「自粛と緊縮で日本は自滅する
～菅総理への直言～」
5. 講師略歴：藤井 聡 (ふじい さとし)



昭和43年10月15日(51歳) 生駒市出身
昭和62年3月 大阪教育大学教育学部付属
高等学校卒業
平成3年3月 京都大学工学部土木学科卒業
平成5年3月 同大学院工学研究科修士課程修了
平成18年 東京工業大学大学院理工学
研究科教授
平成21年 京都大学大学院工学研究科教授
平成23年 同大学レジリエンス研究ユニット長
平成24年 同大学理事補
平成24年 内閣官房参与(平成24～30年)

11月例会

令和2年11月24日(火)
於：ホテル日航奈良

☆本日のスケジュール 12時～13時 講演会

講師 社会工学者 **藤井 聡** 氏

テーマ 「自粛と緊縮で日本は自滅する～菅総理への直言～」

(略歴)

昭和43年10月15日(51歳) 生駒市出身

昭和62年3月 大阪教育大学教育学部付高等学校卒業

平成3年3月 京都大学工学部土木学科卒業

平成5年3月 同大学院工学研究科修士課程修了

平成18年 東京工業大学大学院理工学研究科教授

平成21年 京都大学大学院工学研究科教授

平成23年 同大学レジリエンス研究ユニット長

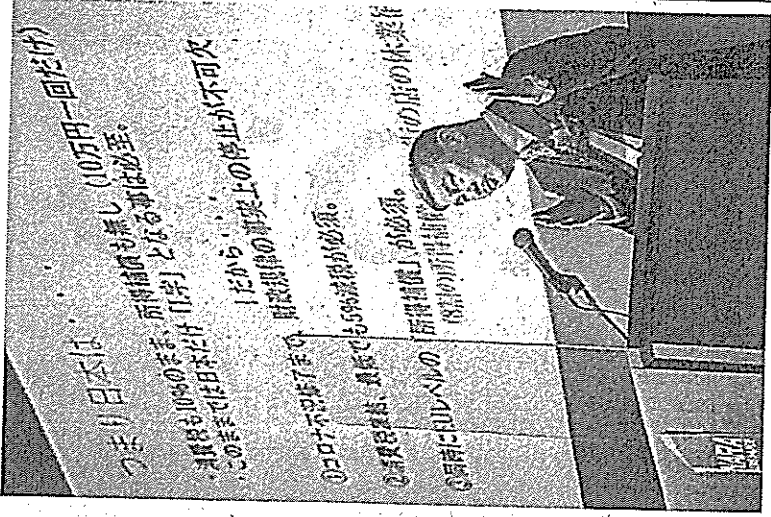
平成24年 同大学理事補

平成24年 内閣官房参与 (平成24～30年)

MEMO

奈良新聞政懇11月合同例会

自粛と繁縮を考える



アロジエクターを用いて講演する藤井さん。写真はいずれも24日、奈良市三条本町のホテル日航奈良

出席者名簿

◆政経懇話会

アサヒビル大阪、奈良支店長、小大副▽沼沼組奈良営業所課長

藤井一男▽打谷石材代表取締役会長・打谷久義▽興村組奈良支店長・芳村昌彦▽関西電力送配電奈良支社統括部長▽ナリタ・福岡井元彦▽京都中央信用金庫奈良支店長・竹内伸太郎▽共同艦印刷代表取締役社長・近真幸彦▽近鉄グループホールディングス広報部



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため高障を開けて座った参加者

部長・森吉康雄▽きんさん奈良支店長 務執行役員・辻朝明▽三和住宅専務取締役・辻谷力▽三和澱粉工業総務人事部顧問・森内利一▽市民生活協同組合ならびに専務理事・山中敬彦▽住友生命保険相互会奈良支社長・入江啓方▽第二化工代表取締役会長・小西敏文▽竹中工務店奈良営業所課長・上村知章▽トヨタL&

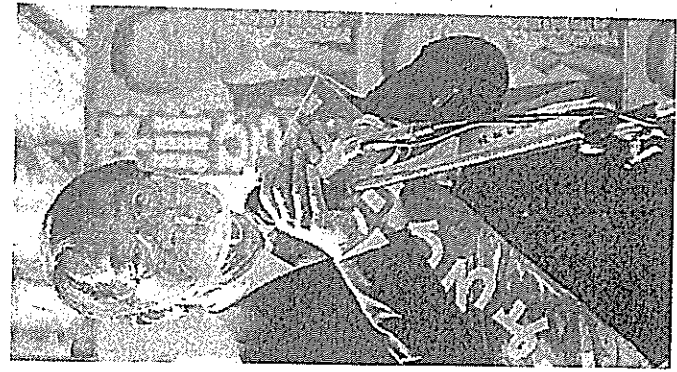
平奈良専務取締役・中村嘉宏▽トヨタモーターバウナツ奈良支社長・澤田信也▽中川会理事長・安井博彦▽奈良交通・加藤隆也▽奈良中央信用金庫理事長本店営業部長・金村博彦▽奈良日野自動車代表取締役社長・内藤登紀夫▽奈良三笠奈良三笠運輸次長・永田浩久▽奈良県庁ロイヤルホテル営業支配人・中井誠▽南都経済研究所上席研究員・青村謙一▽日本たばこ産業奈良



今回も懇話会中止は并須を配布

▽コセケン代表取締役・西本義美▽奈良県信用保証協会常務助理・中野佳人▽松本快生会西奈良中央病院法人事務部長・仲島徳吉▽NPO法人きみかげの理事長・森岡正宏▽三和澱粉工業代表取締役会長・森本俊一▽社会福祉法人中川会副理事長・安井和孝▽奈良県議員・山中益敏▽大塚町副町長・松井孝之▽学校法人帝塚山学園理事長・吉川勝久

元県雇用・産業振興部・憲候補(60)の2氏が支持者を集めて出陣式を



裕介候補 (61)

無新二

中川陣営は午前9時の特設会場に支持者を集めて出陣式を開き、荒井正吉県知事は10年来、ともに仕事

町を

夜許の土曜日は、見



突 声 新 施 看 職 運 練 是 に じ ゃ ん 安 同

者が陽性

大、25人検査へ

規入院を停止した。検査結果を見て、今後の対応を決める。

また、県教委は24日、県立学校の男子生徒1人の新型コロナウイルス感染を確認したと発表。生徒は20日に発熱があつて学校を欠席、23日に陽性が分かり、24日入院した。同校では接

3人超過の激戦

併争了(12月15日)に、伴天川村議選(定数7)は24日告示され、現職8人と新人2人の計10人が立候補、3人超過の選挙戦となり、

天川村議選立候補者

玉井 賢司 66
野無 颯 68
野無 颯 68
野無 颯 68
野無 颯 68

総行衆が勤める日々の法... 2人を特定、24日にPCR検査を実施した。学校の休業などは行っており、今後の対応は検査結果を見て決める。

五條市では市職員の感染が判明し、市が24日発表。50歳代男性で水道局所属。PCR検査で22日に陽性が分かった。

コロナ対応で提言

奈良新聞政経11月合同例会

藤井 教授が講演



「自衛と緊縮で日本は自滅する」をテーマに講演する藤井聡氏。24日、奈良市三條本町のホテル日航奈良で開かれた。生駒市出身で社会学者の藤井聡京都大学大学院工学研究科教授が「自衛と緊縮で日本は自滅する」をテーマに講演した。【2面に出席者名簿をどうぞ】

例会には約65人が参加。

同市は保健所の指示を受けて関係部署の消毒を実施するとともに、当該職員以外の部員内全職員22人から濃厚接触者3人のPCR検査を24日に実施した。当該庁舎は感染防止対策を徹底した上で業務を継続しており、検査結果を見て今後の対応を決める。

ask24

ask24 SECURITY

奈良の24時間防犯監視のプロは私任せください

防犯設備・防犯訓練・交通警備・イベント警備ほか
多岐なニーズに対応できます

ASASK 株式会社
奈良市大宮町1-1-1 TEL.07-44-24-1767
http://www.asask.co.jp/

自衛と緊縮で日本は自滅する」をテーマに講演する藤井聡氏。24日、奈良市三條本町のホテル日航奈良で開かれた。生駒市出身で社会学者の藤井聡京都大学大学院工学研究科教授が「自衛と緊縮で日本は自滅する」をテーマに講演した。【2面に出席者名簿をどうぞ】

例会には約65人が参加。

冒頭で奈良新聞社の甘利治夫取締役社長が「藤井先生の話聞いて物の見方が変わったという人も大勢いる。今日の話から勇気と元気をいただけたら」とあいさつした。

講演で藤井教授は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた政府の自衛要請により、国内で自殺者が増えたと指摘。政府の緊縮

自民県連が9人

公認、1人推薦

原市議選

自民県連支部連合会は24日、来年2月7日投票の原市議選で、計9人の候補予定者を公認し、1人を推薦することを決めたと発表した。公認・推薦候補予定

を訴えている。定数は現行より1減し、現新ともに厳しい戦いが予想される。

投票は29日午前7時から午後6時まで村内8投票所で行われ、午後7時半から同村沢谷の山村開業センターで即日開票される。期日前投票は25日午前8時から午後8時、同村沢谷の村役場玄関下

おむつ月額

聖徳太子の
騎山組工番
暮らし10

天気

6時 9時 12時 15時 18時 21時 24時

奈良 17.6℃ 晴 0%

原市 17.6℃ 晴 0%

風速

くに 原 譜 3

くは 数 相 変 3

め

「小(こ)」「ら」「い」「ず」「れ」「も」「に」「予」「約」「を」「入」「れ」「な」「ら」「な」「た」「人」「も」「有」「名」「観」「光」「地」「と」「時」「既」「。」「I」「o」「y」「。」「こ」「の」「と」「る」「連」「な」「ウ」「ィ」「ル」「ス」「感」「報」「道」「が」「な」「さ」「れ」「今」「ま」「で」「比」「較」「的」「が」「増」「え」「い」「る」「ま」「り」「。」「3」「密」「は」「感」「染」「リ」「ス」「ク」「ウ」「ィ」「ル」「ス」「は」「動」「ん」「で」「し」「ま」「う」「に」「関」「する」「報」「道」「。」「後」「意」「感」「や」「脱「毛」の「事「例」が「あ「る」「て「も「難「証」と「は「い「け「ない「よ

奈良新聞政経懇話会 講演資料

令和2年11月6日

奈良県知事 荒井正吾

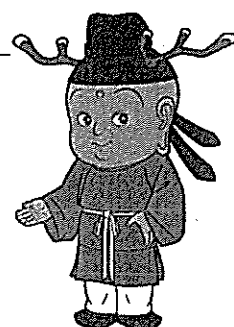


©NARA pref.

目次

1. 奈良県の新型コロナウイルス感染症対策
について …… 3
2. 奈良新『都』づくり戦略2020・10 ～抜粋版～
…… 11

1. 奈良県の新型コロナウイルス感染症対策について



©NARA pref.

3

新型コロナウイルス感染症にかかる 本県の3つの対処方針

1. 感染経路の類型を明確化し、類型に応じた明確な注意をする。
2. 感染者を早期発見・即時隔離し、感染されたすべての方に入院治療・宿泊療養を提供する。
3. 重症化予防により、死亡や後遺症の発生をおさえる。

4

1. 感染経路の類型を明確化し、類型に応じた明確な注意をする。

- ・新型コロナウイルスは、人から人へうつることから、感染経路の類型を明確にすることにより、類型に応じた「うつらない」「うつさない」ための対策をとることができます。
- ・このため、これまでから感染経路の調査と推定に力を注いできました。
- ・今後、更に詳細な感染経路分析を進め、類型毎のより効果的な感染予防、感染拡大防止のための注意事項を発信してまいります。

5

2. 感染者を早期発見・即時隔離し、感染されたすべての方に入院治療・宿泊療養を提供する。

- ・感染者を早期に発見し、隔離することにより、新たな感染の拡大を防ぎます。
- ・このため、感染リスクのある方が身近なところで検査を受けられるように、診療・検査体制の構築を一層進めます。
- ・また、即時隔離できるように、入院病床・宿泊療養施設を確保し、安心して療養できる環境を整えています。

6

2-3 入院及び宿泊施設の利用状況

入院病床の現在の占有率は約13%、
宿泊療養の現在の占有率は約4%となっており、
ともに余裕のある状況です。

	現在 (11/5)
入院対応可能数	467床
占有者数	62名
占有率	約13%
宿泊療養室数	108室
占有者数	4名
占有率	約4%

3. 重症化予防により、死亡や後遺症の発生をおさえる

- ・重症化した方には、治療薬や人工呼吸器・ECMO(体外式膜型人工肺)を組み合わせた集中治療を提供し、回復を促します。
- ・そのため、集中治療を提供できる重症対応病床を確保し、安心して治療を受けることができる環境を整えています。
- ・重症対応病床での治療を必要とする患者を、対応可能な病院へ速やかにつなげられるよう、重症患者の定義を見直し、入院患者の状況を把握できる仕組みにしています。
- ・7月以降の治療実績は、重症化率3%、死亡率1.3%となっており、第1波における重症化率7%、死亡率2.2%から改善しています。

2-4 病床の利用状況(第1波との比較)

入院病床の現在の占有率は、第1波時と比較しても
余裕のある状況です。

	第1波(4/22)	現在(11/5)
対応可能数	64床	467床
占有者数	50名	62名
占有率	約78%	約13%

<経済活動活性化に係る対処方針>

1. 県民による県内消費の促進

落ち込んだ本県経済の回復を図るためには、感染症対策と経済活動の両立が必要。

感染リスクを抑えつつ、県内消費を促進することで、県内経済を再活性化します。

2. 事業者の感染症対策等の取り組みを支援

県内事業者の感染症対策や新しい生活様式に対応するための取り組みを支援し、感染リスクを抑えることで、県内消費の促進に寄与します。

3. 新型コロナウイルス感染症で大きな影響を受けた事業者等を支援

中小企業や小規模事業者、生活困難者など、新型コロナウイルス感染症の影響で大きな影響を受けた方々を支援することで、県内消費を下支えします。

感染リスクを抑えつつ、県内経済を再活性化

<参考> 出典：平成26年全国消費実態調査

○県内1世帯あたりの消費支出額	全国11位(302,206円)
○県内1世帯あたりの県外消費率	全国1位(15.2%)
○県内1世帯あたりの県内消費額	全国35位(139,472円)
○県内1世帯あたりの貯蓄現在高	全国1位(17,816千円)

2. 奈良新『都』づくり戦略 2020・10

～抜粋版～



©NARA pref.

はじめに

県政の目指すべき姿を「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」こととし、その実現のために全力で取り組んでまいりました。

今回の新型コロナウイルス感染症の拡大を1つの契機として、大阪などの大都市に依存してきた本県の経済・社会の現状を見直し、地域の自立が求められていると改めて感じています。

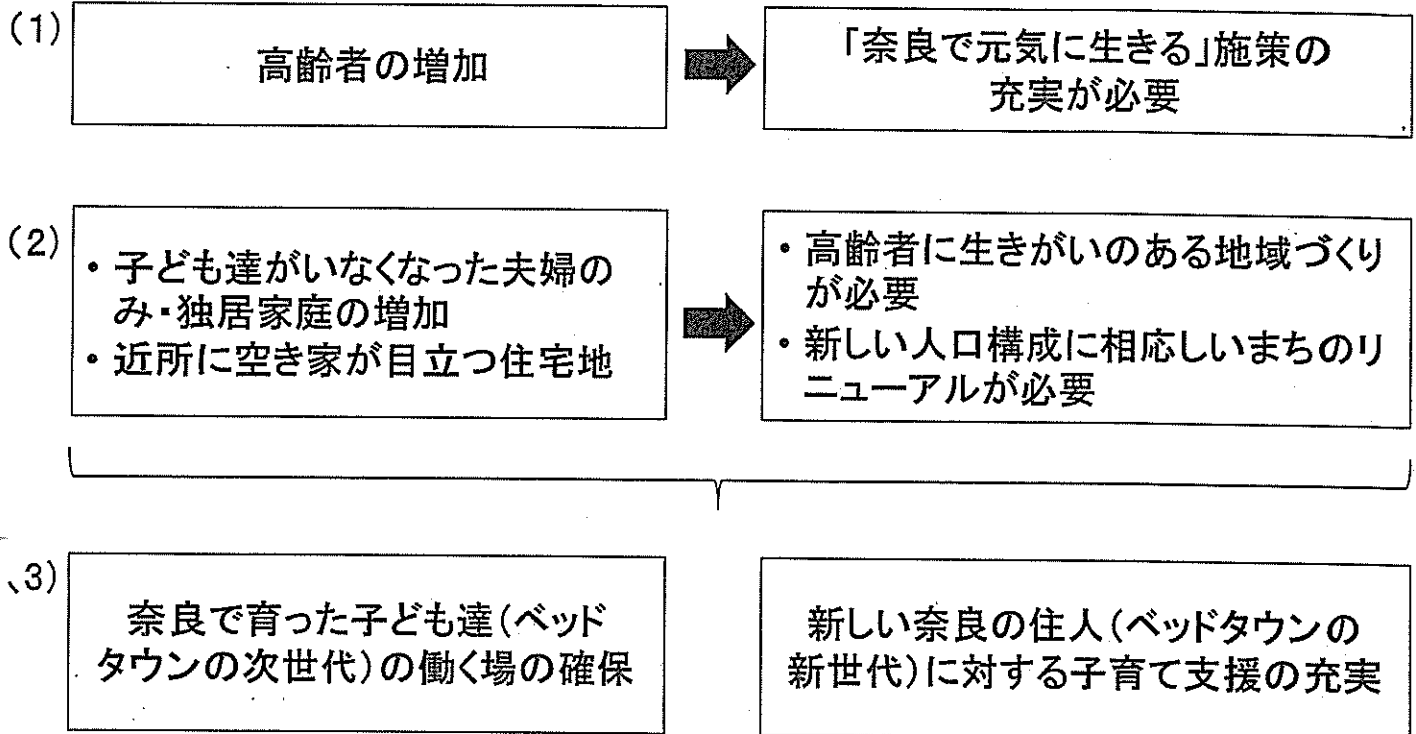
このような時代においても、都づくり戦略に盛り込まれた諸施策を着実に実行することこそが地域の自立につながると考え、今年2月に発表した「奈良新『都』づくり戦略2020」に、「地域デジタル化の推進」や「新たな生活様式」に対応する取組などを盛り込み、この度、「奈良新『都』づくり戦略2020・10」を中間的にとりまとめました。

この資料は、皆様方からさらなる智恵のお布施を賜るための托鉢の鉢です。

県民の将来に御利益のある「智恵のお布施」を期待しています。

これまでの奈良県の立ち位置の確認

1. 今、奈良県は成熟したベッドタウンと同様の諸課題に直面。
次の世代への対応が必要。



13

2. 諸課題に立ち向かう糧となる、全国順位が上位の統計指標

・工場立地件数 8位

(R1:奈良県32件、全国計990件)

・障害者雇用率 1位

(R1.6:奈良県2.79%、全国平均2.11%)

・外国人旅行者数 5位

(R1:奈良県328万人、全国計6,038万人)

・持ち家比率 6位

(H30.10:奈良県74.1%、全国平均61.2%)

・世帯主の勤め先収入

(勤労者世帯1ヶ月平均) 10位

(R1:奈良県453,705円、全国平均438,263円)

・貯蓄現在高(総世帯1世帯当たり) 1位

(H26:奈良県17,816千円、全国平均14,520千円)

・男性の家事関連従事時間(1日平均) 3位

(H28:奈良県50分、全国平均45分)

・がんの75歳未満年齢調整死亡率 4位

(H30:奈良県65.1人、全国平均71.6人)

・健康寿命(男性、65歳平均自立期間) 4位

(H30:奈良県18.49年、全国平均18.03年)

・スポーツに取り組む人の割合 8位

(H28:奈良県69.5%、全国平均68.8%)

・芸術・文化を行う県民の割合 5位

(H28:奈良県12.8%、全国平均11.7%)

・大学・短大等進学率 7位

(H31.3:奈良県59.4%、全国平均54.7%)



100の指標からみた奈良県勢(統計分析課)より抜粋

14

3. 奈良県政のこれからの主たるテーマは

1. 県内で育った人に県内で働く場を確保
～県内で育ち働く、人の循環を～

5. 健康で愉しく一生すごせる奈良県に
～健康寿命日本一に～

2. 生活に、観光に自然歴史文化資源を
活用
～住んで好し、訪れて好しの奈良県に～

6. 生涯よく学び続けられる地域に
～よく学んで奈良を楽しむ～

3. 新旧世代に住みよく、まちをリニューアル
～一粒で2度おいしい奈良のまちに～

7. 農村・森林を
大切に
～奈良の自然を敬う
～

8. 南部・東部を
元気に
～南部・東部振興は
県政の本務～

4. 遅れている交通基盤を充実
～道路を良くし、奈良に賑わいを～

9. 行政サービスを効率的に進める
～奈良モデルで行政資源を総動員～

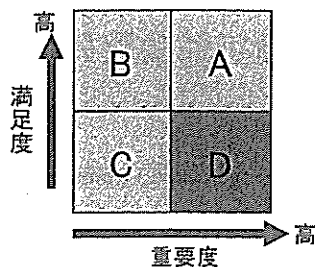
「奈良県の力底上げ」の実行には

1. 目指すゴールの選択(ターゲッティング)

(1) 県民満足度調査から「重要だが不満の項目」を優先して選択

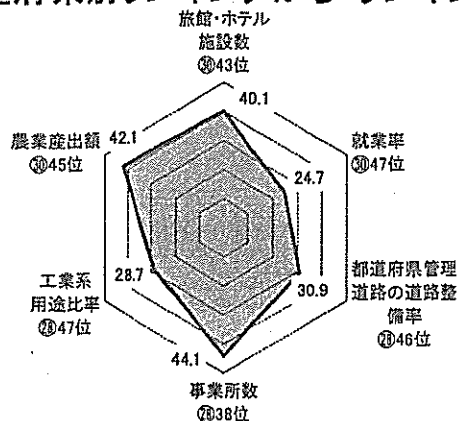
・ 県民アンケートにおける重要度が高く、満足度の低いD象限の項目把握

・ 重要度が高く満足度の低い項目(満足度の低い順)



- ①市町村行政に対する住民意向の反映
- ②多様な就業環境の整備
- ③高齢者・障害者が安心できるまちづくり
- ④公共交通の利便性 ⑤失業者の不安がない社会づくり
- ⑥自主防災対策の充実 ⑦安心できる周産期医療体制
- ⑧防災対策の充実 ⑨障害者支援サービスの充実

(2) 都道府県別ランキングから「ランキング下位」を優先選択



- ①宿泊施設数 43位 → ホテル誘致、食の振興
観光振興
- ②就業率 最下位 → 働き方改革、子育て支援
- ③道路整備率 46位 → 交通基盤の充実
- ④事業所数 38位 → 働く場の確保
- ⑤工業系用途比率 最下位 → 工場誘致、工業ゾーンの創出
- ⑥農業産出額 45位 → 農業振興

(3)エビデンスから選択

○奈良県の強み・弱みを分析、強みを伸ばし、弱みを補強する

奈良県の強み

豊かな自然環境



観光交流の促進

3つの世界遺産をはじめとして文化遺産が豊富



歴史文化資源活用分野と芸術文化振興分野に力点を置いた施策の推進

大学進学率が高く、専門的な知識を持った人材が多い



県内での新たなしごとの創出(起業支援)

奈良県の弱み

女性の就業率が全国最下位



女性の活躍推進のための支援・啓発

宿泊施設の施設・客室数ともに少ない



宿泊産業の育成、支援

県有施設のほぼ半数が築後30年以上経過し、老朽化が進行



ファミリーマネジメント(FM)の推進

2. 戦略を策定(プログラミング)

- ①ターゲットのデータ収集・分析 ②現場と接触、現場感覚強化
- ③市町村のイニシアティブを尊重 ④困難を糧に失敗から学習
- ⑤関係者と目標共有、行動共同のプロセス ⑥仕事から学ぶ
- ⑦まず勉強会から

3. 戦略の実行(インプリメンテーション)

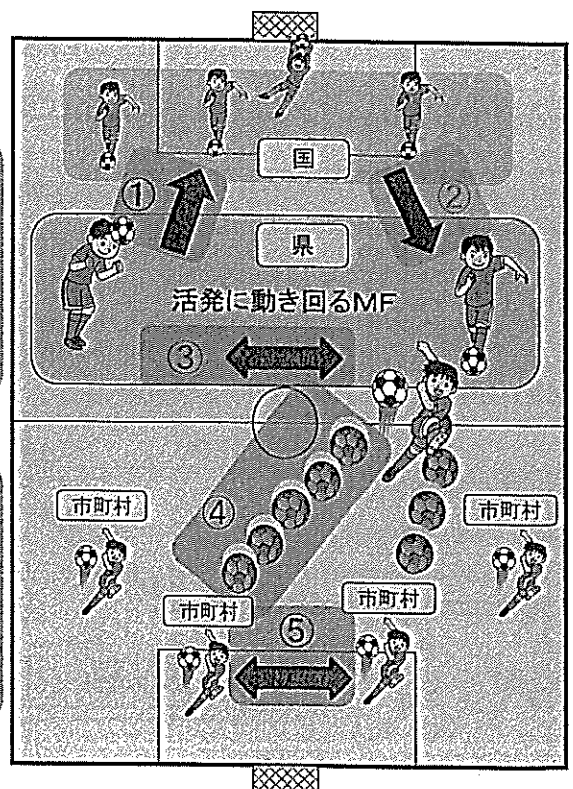
- ①選択と集中 ②国の力を借りる ③関係者の力を結集する
- ④プロセスをモニターする ⑤常に改善を加える

地域の行政資源(人材)を総動員する(奈良モデル)

県の役割=賢く考えてよく走るMF

- ① 国にお願いする(陳情)
- ② 国の力を借りる(予算、助言)
- ③ 庁内の横パスを重視(庁内連携、プロジェクトチームづくり)
- ④ 市町村へのキラーパスで市町村が得点(奈良モデルの財政支援、技術支援)
- ⑤ 市町村間の広域連携も支援
- ⑥ ピッチ外で考える人も必要

県の役割のイメージ



栄える「都」をつくる

～奈良県経済の好循環を促し、働きやすく、就業しやすい奈良県にする～

1 地域経済活性化

- (1) 工場誘致
- (2) 工業ゾーンの創出
- (3) 奈良県版クラスター型産業集積の形成
- (4) 起業支援
- (5) 県産業振興総合センターによる
県内産業への研究支援強化
- (6) 県産品の海外販路、国内販路の拡大
- (7) 商業振興・商店街活性化
- (8) 奈良県経済産業振興大綱の策定

2 働き方改革の推進と就業支援

- (9) 奈良県版働き方改革、職場環境改善、
職業能力開発
- (10) 県内就業支援・離職者再就職支援
- (11) 障害者雇用対策の推進
- (12) 外国人労働者県内定着対策

※青字のテーマを抜粋しています。

1 地域経済活性化

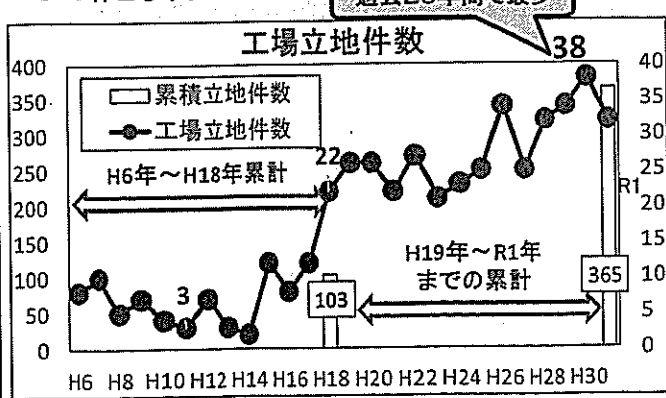
(1) 工場誘致

これまでは

- ・平成19年以降、県職員が4,700社を越す企業訪問
続けるなどした結果、工場誘致件数が好調です。
(過去13年の件数365件 R1 全国8位 近畿2位)
- ・独自技術を有する競争力の高いニッチトップ企業の立
地事例も多く見られるようになってきました。

成果※

○平成19年から令和元年までの工場立地件数累計が、
365件となりました。



もっと良くするために

工場進出の勢いを止めないように、4年間の誘致目標
120件を目指し、誘致活動を強化し、ニッチトップ企業
の誘致も積極的に行います。

誘致活動の強化

- 企業立地促進補助の積極的活用
 - ・過去11年間の補助金交付実績 51社
- 戦略的企業誘致の推進
 - ・トップセミナーの実施 ・企業立地コンシェルジュの設置
- 海外企業の誘致促進
 - ・ジェトロや経済産業省との連携による海外企業への積極的
な誘致活動の展開

誘致のためのインフラ整備

- ・新たな産業用地創出 ・中南和東部振興のための産業集積地
形成 ・農地の有効活用 ・幹線道路の整備

新たな生活様式に対応した企業立地支援策の検討

- 新型コロナウイルス感染症の影響による操業・労働環境の変
化についてのアンケート調査
- アンケート調査結果をベースに
専門家を交え、新たな企業誘致・
支援のための検討会の開催

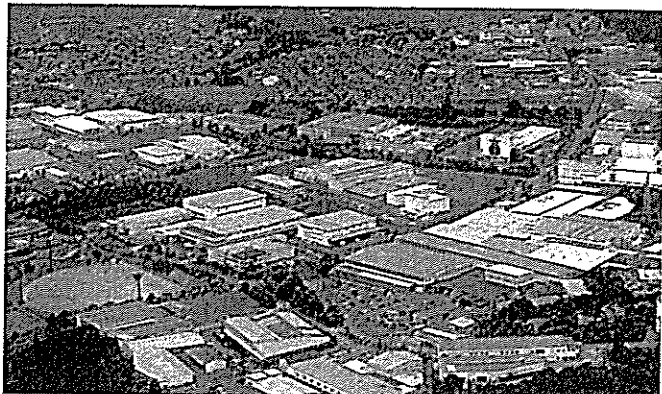
令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
1,019	5

※令和2年9月までの成果を記載しています。

(2) 工業ゾーンの創出

これまで

テクノパーク・なら工業団地



- 工場進出の勢いが未だ続いている一方、県内の産業用地が不足してきています。
- 工業ゾーン創出には、「まとまった用地の迅速な確保」が必要です。
- 工業ゾーン創出プロセスの標準化、県の支援措置の検討が必要です。
- 市町村と協同での工業ゾーン創出が必要です。

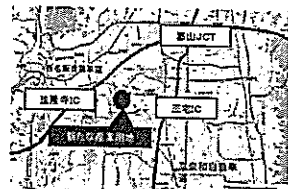
成果

- 〇御所インターチェンジ周辺産業集積地形成事業について、令和2年9月に用地が確定したため、造成・分譲に向けた取組を進めています。

もっと良くするために

市町村と協同で新たな産業用地創出の取組を進めます。

- 〇企業立地の潜在力が高い地、耕作放棄地再生の産業用地化事業を県が支援
- 川西町の産業用地創出事例
- 県は、①産業用地開発フロー案の検討、②候補地カルテの作成、③市町村の意向確認とそのフォロー、④代替農地の確保支援



中南和東部振興のための産業集積地形成を進めます。

- 〇御所インターチェンジ周辺の集積地形成
- 〇東部の産業用地創設を検討

開発済で未利用・低利用の土地を活用します。

- 〇市町村と連携して企業立地潜在力の高い候補地のリストを作成
- 〇周辺のインフラ整備の状況、関係法令適用状況を調査
- 〇立地希望企業のニーズを把握して、マッチング、企業立地セミナー等での情報提供
- 〇新たなアクセス道路の必要性調査

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
25	—

21

(7) 商業振興・商店街活性化

これまで

県内商業の「売る力」はまだです。
 県民1人当たり小売業年間商品販売額 47位
 商業従事者1人当たり商品販売額 47位

- 〇奈良ブランド開発支援事業をH21から実施(下請けからの脱却と顧客開発の勉強会) 松屋銀座7階の常設店舗TEIBANに繋がる



「NARA TEIBAN」(東京 松屋銀座)の開設

県内商店街は一部観光地を除いて空き店舗が多く、多くの課題が顕在化してきています。

- 〇商店街活性化等支援事業実施
商店街の複数空き店舗を借りて、一斉に期間限定で活用する取組を複数回実施

官民協働の店設営

カフェの開設

立ち飲みの開設



成果

- 〇「NARA TEIBAN」は2周年を迎え、顧客が増加しています。
- 〇商店街空き店舗に、飲食店が新規開業しました。そのほかにも今後、出店が予定されています。

もっと良くするために

県内消費の喚起を支援します。

- 〇新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく影響を受けた県内消費を喚起するため、市町村のプレミアム商品券やクーポン券、地域振興券の発行などの取組に対して上乘せ支援。

駅前商店街空き店舗の活用を図ります。

- 〇空き店舗を活用し、チャレンジショップやイベント等を実施

「奈良ブランド」の開発を支援します。

- 〇自社ブランド化のための商品開発・販路開拓を支援

SPA店舗運営支援

- 〇企画から製造・小売までを一貫して行うSPAを支援
- 〇NARA TEIBANのさらなる進化を図る

マーチャндаイジング「五適」の実践を図ります。
 マーケティング講座の開催をします。

- 〇店舗運営者等を対象に、店舗での品揃え、陳列、販売計画などのマーチャндаイジング「五適」を学ぶ勉強会の開催。製造業者等を対象に、顧客の視点での商品開発等のマーケティングを学ぶ勉強会の開催。

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
7	1,500

22

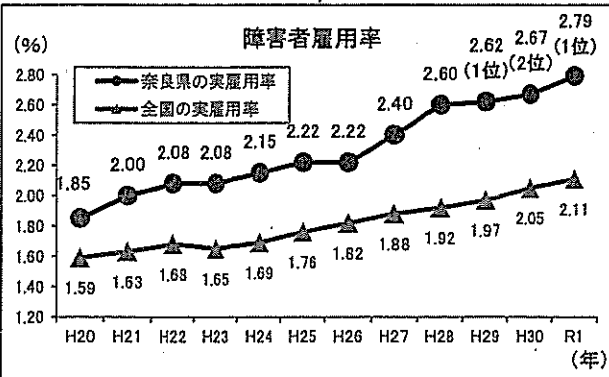
(11) 障害者雇用対策の推進

これまで

- ・障害者政策推進トップフォーラムや意見交換会等の開催を通じて、障害者雇用についての問題意識を共有し、官民が一体となって障害者の雇用に取り組みました。
- ・就労連携コーディネーターと障害者就業・生活支援センター、特別支援学校等との連携により、職場開拓や職場実習を進めるとともに、職場定着の取組を強化しました。

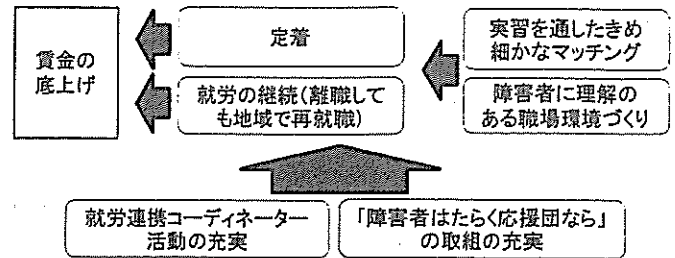
成果

○令和元年度の障害者雇用率は、0.12ポイント増加、再び全国1位となりました。



もっと良くするために

障害者が就労により自立した生活を送ることが目標



なら障害者「はたらく」推進事業、精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業、障害者職場実習促進事業を実施します。

- はたらく応援団ならの運営
- 企業応援集中セミナーの開催
- 就労連携コーディネーターの配置
- 精神保健福祉士などを雇用促進コーディネーターとして、企業等に派遣
- 職場実習先にジョブサポーターを派遣
- 障害者就業・生活支援センターの相談体制の強化



セミナー開催の様子

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
23	5

(12) 外国人労働者県内定着対策

これまで

県内の外国人労働者数は、5,563人(全国約165万人の0.3%(R1.10末))。体制は不十分な状態。(県内企業は、採用方法が分からない、受入体制が整っていない状況。県内労働希望外国人には、企業支援が少ない、就職活動の仕組みが分からない状況。)

○外国人の産業分野別就労割合は、製造業の分野が多く、宿泊業・飲食サービス業の分野が少ない状況

業種	製造業	サービス業	卸売・小売業	建設業	宿泊業・飲食サービス業
奈良県	42.2	14.7	9.2	8.9	6.0
全国	29.1	16.1	12.8	5.6	12.5

奈良県では有効求人倍率が高いセクターもあり、令和2年6月では、介護関係職種5.71倍(全国4.15倍)、建築・建設関係職種4.77倍(全国4.91倍)、飲食物調理の職業3.47倍(全国1.97倍)、外国人労働者の円滑な県内受入と良好な生活環境の創出維持が必要です。

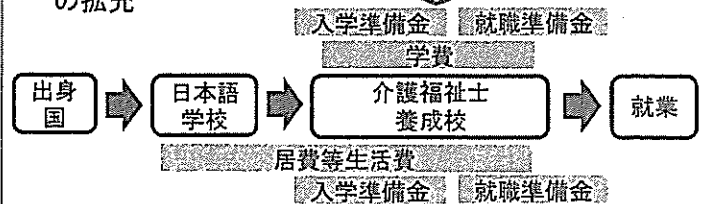
成果

- 介護福祉士修学資金について、令和2年度に新たに外国人留学生39名に対する貸付を行いました。
- 外国人留学生修学支援資金について、令和2年度に新たに3法人に対する貸付を行いました。
- 多文化共生・国際化の講座・研修会等について、7月に1回実施しました。(今年度中、計8回実施予定)

もっと良くするために

外国人労働者が円滑に県内で就労し、良好な生活環境で定着できる仕組みを構築します。

- 留学生等の県内就業円滑化を支援
- 奈良県で不足している介護職員の定着を支援
 - ・介護福祉士修学資金貸付制度の貸付要件・募集枠の拡充



・居住費等生活費などの貸付
いずれも県内福祉施設で5年間就労すれば、貸付金返還免除

- 多文化共生・国際化の講座・研修会等を実施
- 奈良県経済・労働緊急調査事業の中で外国人材への新型コロナウイルス感染症の影響についても調査

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
52	10

*補正予算は(10)と共通

II 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、観光産業を振興する～

3 滞在型観光の定着

- (13) ホテル誘致
- (14) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興
- (15) 高畑町周辺地区整備
- (16) 吉城園周辺地区整備
- (17) 旧奈良監獄ホテル整備支援
- (18) 民泊、修学旅行、スポーツ・セミナー合宿への支援
- (19) 宿泊予約統一サイトの整備

4 魅力ある観光地づくり

- (20) 奈良公園アメニティ向上
- (21) 奈良公園周辺の交通周遊環境向上
- (22) ぐるっとバス支援
- (23) 猿沢池周辺の環境整備
- (24) 県立文化会館・美術館の整備
- (25) 近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備
- (26) 大宮通りの景観の向上
- (27) 平城宮跡東側の整備、大極殿院南門の整備
- (28) 平城宮跡南側の整備
- (29) 中町道の駅の整備
- (30) 自転車周遊環境整備

5 観光奈良の魅力向上・発信

- (31) 県内イベントの充実
- (32) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開
- (33) 「奈良まほろば館」新拠点への移転
- (34) 食の振興
- (35) 奈良県の観光戦略20年ビジョンの策定と実行

25

3 滞在型観光の定着

(13) ホテル誘致

これまでは

ホテル客室数は、まだ近畿で最下位です(全国でも最下位クラス)。ハイエンド観光客に対応した高級ホテルもありませんが、近年、ホテル客室数が増加してきました。

成果

令和2年6月5日
ふふ奈良 OPEN



令和2年7月22日
JWマリオット・ホテル奈良 OPEN



もっと良くするために

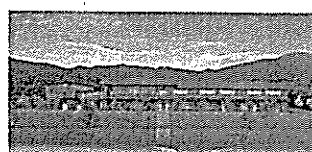
2025年の大阪・関西万博の開催を好機ととらえ、バラエティのある上質なホテル誘致を加速します。R2～R4の3年間で1,200室以上増加予定。

OJETRO奈良事務所と連携し、ハイレベルのスポーツ合宿、セミナー・イベント等に対応可能なホテル誘致をきめ細やかに実施

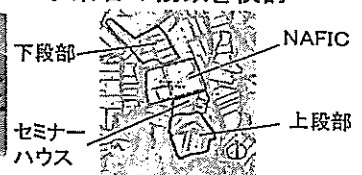
NAFIC周辺に食・農・眺望を活かした賑わいづくりを推進。

NAFIC附属セミナーハウス (R4に供用開始予定)

眺望のよい上段部へ民間事業者の誘致を検討



セミナーハウスイメージ



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
163	—

26

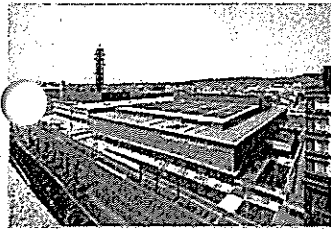
(14) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

これまで

これまで奈良になかった大型コンベンション施設と国際ブランドホテルの整備を、奈良市大宮通り(県営プール跡地)で進めてきました。

成果

○令和2年4月1日に奈良県コンベンションセンターが、7月22日にJWマリオット・ホテル奈良が開業しました。



奈良県コンベンションセンター



JWマリオット・ホテル奈良

もっと良くするために

奈良県コンベンションセンターを活用した、
①MICEの誘致、②新しい賑わいの創出、
③県内への訪問客の展開、を行います。

- ①MICE誘致活動強化と施設の運営
 - ・新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、大規模国際会議開催のため、トップセールスを継続するとともに、県、奈良県ビクターズビューローによる誘致活動を展開
 - ・コンベンションセンターの特性である天平広場を活かし、屋外会議をはじめとする「新しい生活様式」に即したMICE開催を提案、開催実績を広くPR
- ②新しい賑わいの創出
 - ・新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、天平広場を活かしたイベントを開催するなど、継続的なイベント開催を推進
- ③県内への訪問客展開のための体制整備
 - ・交流拠点全体のタウンマネジメント協議会を定期開催
 - ・ユニークベニュー(歴史的建造物等での会議・レセプション開催)を開発



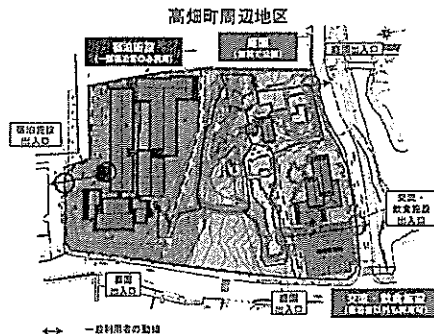
天平広場(オープンスペース)

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
167	—

(15) 高畑町周辺地区整備

これまで

日本が誇る庭園文化・茶の湯文化を感じることのできる場の再興



計画地全体をひとつの庭と見立てた、
奈良のこの地ならではの『庭屋一如』^{ていおくいちによ}を実行

・既存樹・庭園遺構と調和する上質な宿泊施設と、奈良県産食材を活かした和食を提供する飲食施設が、奈良公園に新たな魅力を生み出します。

成果

- 令和2年5月に瑜伽山園地として開園
- ・旧山口氏南都別邸庭園を無料開放
 - ・6月には宿泊施設・飲食施設がオープン

もっと良くするために

民間と協働で、名勝指定当時の風情を偲ばせる、奈良公園の新たなにぎわい拠点としてさらなる魅力の充実をはかります。

旧山口氏南都別邸庭園



庭園と飲食施設



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
28	—

(17) 旧奈良監獄ホテル整備支援

これまで

令和元年11月23日に史料館がプレオープンしました。

県は包括協定(平成29年12月締結)に基づき、旧奈良監獄周辺地域の活性化に資する取組を支援

①法務省、奈良市との包括協定に基づき、旧奈良監獄アクセス道路整備事業を支援

②旧奈良監獄の歴史文化的価値を保存・活用するための事業に協力

(法務省より提供)

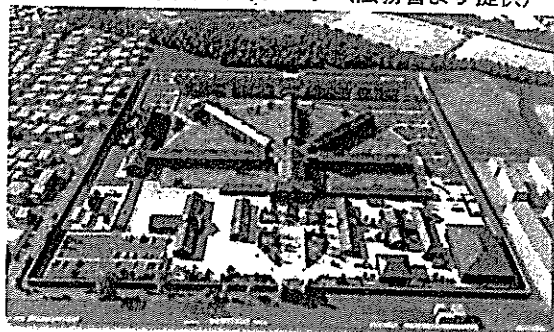
監獄史料館
プレオープンイベント



もっと良くするために

令和4年ホテル運営開始予定。

旧奈良監獄ホテルのイメージ (法務省より提供)



県はホテル整備のための支援を継続します。

- 奈良市によるまちづくり基本計画策定支援
- 奈良市によるアクセス道路整備へ支援
- SPCの耐震改修へ支援
- 奈良市と連携した沿道整備

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
47	—

29

4 魅力ある観光地づくり

(20) 奈良公園アメニティ向上

これまで

奈良公園アメニティの拠点、「奈良公園バスターミナル」、「鹿苑」、「大仏殿前駐車場」の魅力向上を図ってきました。

奈良公園バスターミナル
ベンチ・せんたくん設置



鹿苑



洋式トイレに更新した
大仏殿前駐車場トイレ



園域全体のアメニティの課題である「トイレの整備」、「Wi-Fi環境」、「キャッシュレス環境」、「遊歩道の周遊環境」、「案内表示」、「渋滞解消」、「休息、飲食環境」などの改善に努めてきました。

建替後の
五十二段北トイレ



NARA Free Wi-Fiの整備



案内サインの整備

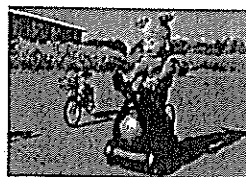


もっと良くするために

奈良公園の魅力をもっと高めます。

- レクチャーホールでの賑わいイベントの実施など、奈良公園バスターミナルのアメニティを向上
- R7竣工を目指した鹿苑の整備
- 大仏殿前駐車場に休憩施設などを整備
- トイレの洋式化
- 植栽の整備
- 春日山原始林の保全

先進技術を活用した奈良公園内の移動円滑化の社会実験を冬に実施します。



電動小型低速車両を用い
広域な公園地内の移動を支援

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
387	—

30

(25) 近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備

これまででは

近鉄奈良駅前は、観光地奈良公園の玄関口にもかかわらず、不便で雰囲気が悪いなどの評判が立っていました。

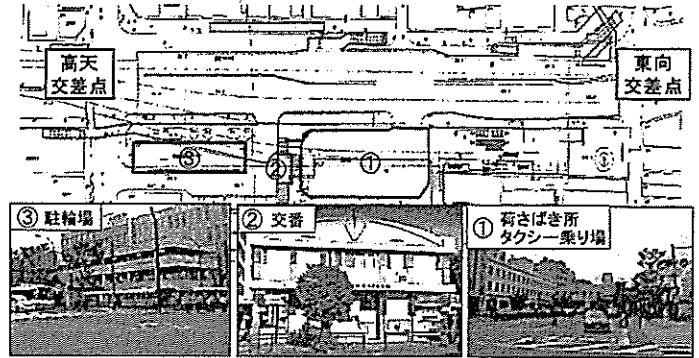


近鉄奈良駅前広場の透明の屋根の整備、バスロケの整備、ぐるっとバス停の設置、県ポスター掲示を美術館ポスターに入れ替えなどを進めるとともに、景観・環境整備の進め方について検討してきました。

もっと良くするために

地元商店街、地元自治会の人々と協同した玄関口近鉄奈良駅前の景観・環境整備の検討を進めます。

- 地域の関係者との第1回勉強会を開催(9月8日)
- 歩道空間を活用した環境整備に関する予備設計
- 大宮通りをはさんだ近鉄奈良駅前を一体としてとらえ統一した考え方のもとでの景観・環境整備を検討します。



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
11	—

31

(27) 平城宮跡東側の整備、大極殿院南門の整備

これまででは

西側に続いて東側や南門整備に着手。

平城宮跡周辺



平城宮跡東側は平成30年2月に都市計画法第59条に基づく事業認可を受けました。現在、地元自治会や事業用地関係者の皆様のご理解を得て用地交渉を進めさせて頂いていること、深く感謝します。また、南門は平成29年度から国が工事着手し、令和元年5月には立柱式を行い、令和元年末までに16本の柱が全て立ち上がりました。

成果

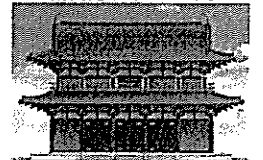
○令和2年5月に第一次大極殿院南門の上棟式を行いました。

もっと良くするために

南門は令和4年春完成予定、東側は令和7年度の完成を目指します。

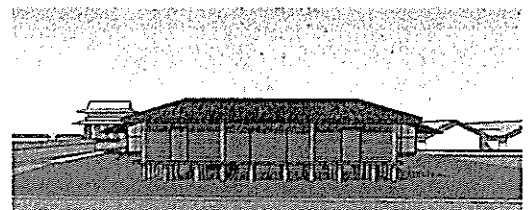
- 令和4年春南門の完成及び新たに「東門」の整備検討を国に要望していきます。

南門完成イメージ図



提供: 国営飛鳥歴史公園事務所

- 東側は「歴史体験学習館」の整備を行います。



(検討中の歴史体験学習館)

- ・R2基本計画策定
- ・R3用地買収完了、基本設計
- ・R4詳細設計、造成工事開始

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
581	—

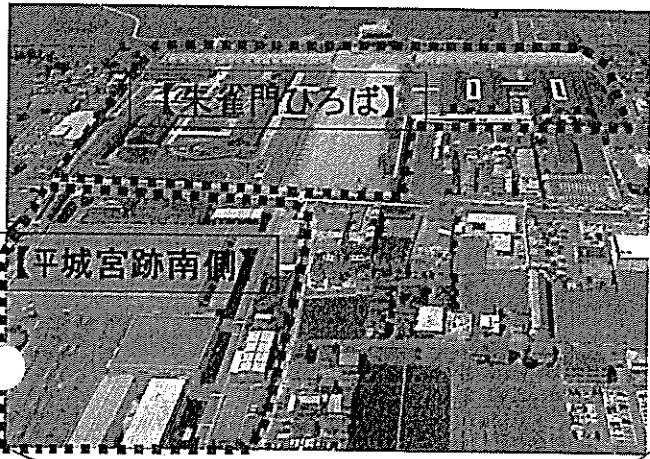
32

(28) 平城宮跡南側の整備

これまでは

平城宮跡南側も朱雀門ひろばと一体感のある整備が必要です。

朱雀門ひろばの南への展開も検討しています。



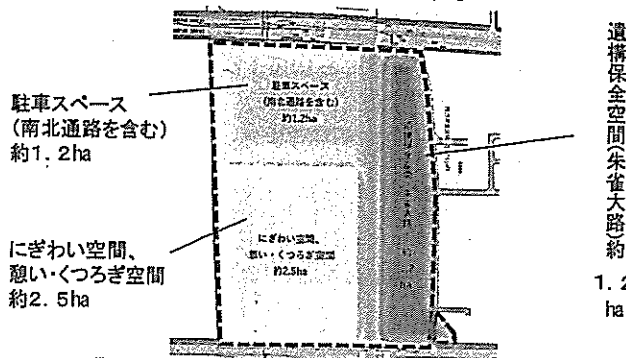
成果

○令和2年度に平城宮跡南側整備を新規事業化しました。

もっと良くするために

平城宮跡歴史公園と一体となった公園の整備を行います。

- 憩いや賑わい機能をもった公園整備を行います。
- 令和2年度中に積水化学工業(株)から用地取得し、一部を駐車場として暫定整備します。



※表記しているレイアウトは現段階のイメージです。

- ・R2 用地取得、文化財発掘調査、平城宮跡歴史公園の駐車場整備、公園基本計画の策定 等
- ・R3以降 都市計画変更、文化財発掘調査、基本設計、実施設計、工事

令和2年度予算(百万円)

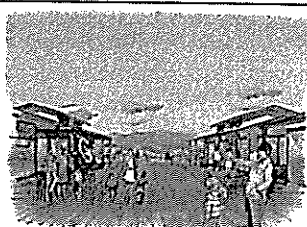
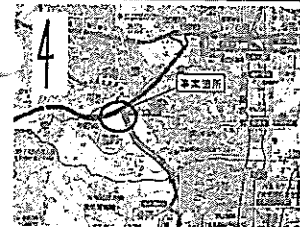
当初予算	補正予算
258	—

33

(29) 中町道の駅の整備

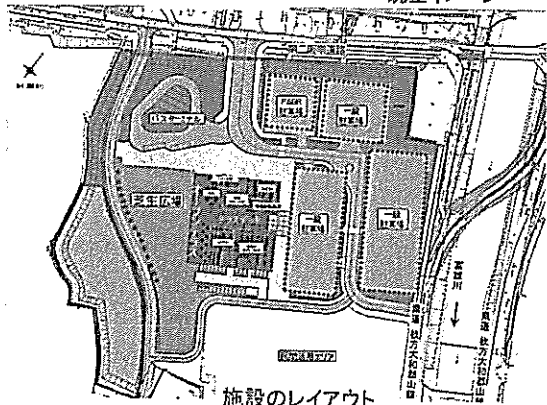
これまでは

中町駐車場の整備構想が進みませんでした。 「道の駅」として整備する構想がまとまりました。



事業箇所

眺望イメージ



施設のレイアウト

成果

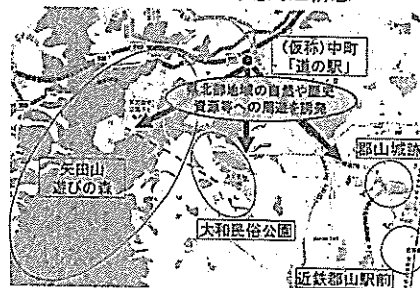
○芝生広場や西側眺望を楽しめるようにオープンテラスを配置するなど、施設のレイアウトを作成しました。

もっと良くするために

「中町道の駅」に「公共交通の結節機能」「地域観光のゲートウェイ機能」「地元農産物の直売所などの地域振興機能」を持たせるとともに、広域防災拠点の役割を担う施設として整備を進めます。(令和5年度供用開始予定)

- 令和2年度は、作成したレイアウトをもとに土木施設や建築物の基本・実施設計を実施します。
- 周辺観光施設との連携策を具体化します。

(仮称)中町「道の駅」周辺構想



©OpenStreetMap contributors

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
144	—

34

(33)「奈良まほろば館」新拠点への移転

これまででは

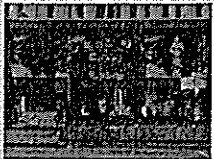
東京において「奈良まほろば館」と「ときのもり」の2つの拠点で、奈良の魅力を発信してきました。

【「奈良まほろば館」】

- 東京日本橋三越前に開設(平成21年度)
- 奈良県発信拠点として、奈良の奥深い魅力を発信

【「ときのもり」】

- 東京白金台に開設(平成27年度)
- ミシュランガイド東京において1つ星を獲得し、奈良の「食」の魅力を発信



「奈良まほろば館」



「ときのもり」

成果

- 各施設では、オープン以来、首都圏の数多くの方々に奈良の魅力を発信しました。
- ・奈良まほろば館(平成21年4月～R2年8月)
2,633,365人の来場者 ※入館者、イベント参加者の合計
- ・ときのもり(平成28年1月～令和2年3月)
56,380人の来店者 ※物販・レストラン等の利用者の合計

もっと良くするために

「奈良まほろば館」、「ときのもり」の機能を統合し、奈良県の魅力発信拠点としての機能をより一層強化するため、「奈良まほろば館」新拠点を整備します。

- 東京都港区新橋一丁目に、「奈良まほろば館」新拠点を整備し、ショップでの「奈良もの」の販売、レストランでの「奈良のうまいもの」の提供を充実させ、奈良県の魅力発信と誘客促進を一層強化します。

【「奈良まほろば館」新拠点の概要】

施設概要		
所在地	東京都港区新橋一丁目 JR新橋駅から徒歩3分 中央通り沿いの角地	
店舗面積	1階	74.44坪(246.07㎡)
	2階	170.91坪(565.00㎡)
	合計	245.35坪(811.07㎡)
築年月	新築(2021年3月完成予定)	

【イメージバース】



【スケジュール】

- ・令和2年度
設計、内装工事
- ・令和3年度
新拠点オープン

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
213	—

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる

～県民が安心して快適に暮らし続けられる奈良をつくる～

6 「安全安心な地域」づくり

- (36) 大規模広域防災拠点の整備
- (37) 消防学校教育の充実、県内消防組織への支援
- (38) 大和川直轄遊水地と流域内水遊水地の整備
- (39) 土砂災害対策の推進
- (40) 奈良県緊急防災大綱の推進
- (41) 災害時の避難所整備と運営の改善

8 暮らしやすいまちづくり

- (48) 土地利用とまちづくり
- (49) 奈良県のすまい方改善
- (50) 移動目的に応じた便利向上のための交通サービスの確保
- (51) 自転車の安全な利用促進、駐輪場の整備
- (52) 自治会等との連携協力強化

10 女性活躍の推進

- (58) 女性の働き方改革と仕事場づくり
- (59) 結婚支援・出生率上昇
- (60) 女性の幸せ応援プロジェクト
- (61) ひとり親家庭支援

7 「きれいな奈良県」づくり

- (42) なら四季彩の庭づくりの推進
- (43) 大和川のきれい化
- (44) プラスチックごみの削減
- (45) 馬見丘陵公園の整備
- (46) きれいな川辺づくり、遊歩環境の改善
- (47) 道路の無電柱化

9 地域で子どもを健やかに育てる

- (53) 幼児教育・保育の無償化
- (54) 子育て不安の解消
- (55) 児童虐待防止
- (56) 子どもの居場所づくり、里親制度の強化
- (57) 子どもの通学通園路の安全確保

11 エネルギー政策

- (62) 節電・緊急時のエネルギー供給
- (63) 県内水素ステーション設置・バイオマス利活用の体制強化

☆ は新規テーマです。

6「安全安心な地域」づくり

(36) 大規模広域防災拠点の整備

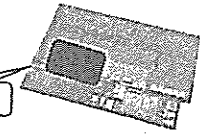
これまで

- 東日本大震災の時、山形空港(滑走路2,000m)が大活躍したことから、南海トラフ巨大地震等の災害に備え、五條市に大規模広域防災拠点(2,000m級滑走路付)を設置する検討を進めています。
- 早期の整備効果発現のため、段階的な整備を行います。

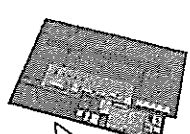
- 防災拠点の整地のため、リニア中央新幹線などの排出土砂を利用
- 消防学校を併設
- 防災拠点を通り、京奈和自動車道と国道168号を結ぶ高規格の道路整備を検討

1期整備

広域防災拠点



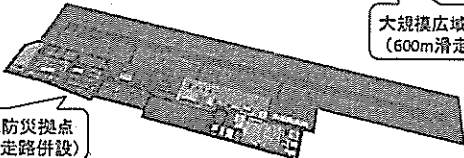
2期整備



大規模広域防災拠点
(600m滑走路併設)

3期整備

大規模広域防災拠点
(2000m級滑走路併設)



成果

- 地元説明会の開催(9/23)など、地元調整を進めています。

もっと良くするために

大規模広域防災拠点の早期整備に向けた取組を進めます。

- 地元住民の理解を得ながら整備を進めるため、地元説明会等を開催したうえで、現地調査・造成設計を実施

京奈和自動車道五條西ICから防災拠点を經由して国道168号にアクセスする道路の予備設計を実施

陸上自衛隊駐屯地の誘致を継続

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
219	—

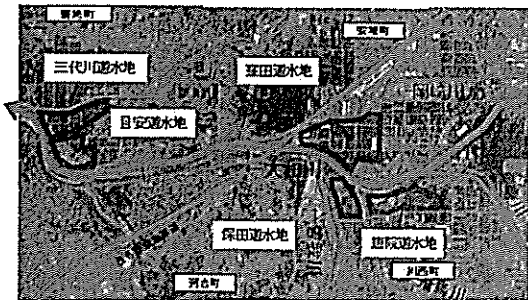
37

(38) 大和川直轄遊水地と流域内水遊水地の整備

これまで

各地で洪水被害が頻繁に発生しており、奈良県も洪水対策が必要です。

国は大和川の洪水を一時的に貯留する100万^mの遊水地を整備します。(用地の協力が必要です。)



- 大和川流域における総合治水の推進に関する条例を制定しました。
- 「奈良県平成緊急内水対策事業」を推進します。

成果

- 内水対策第1号として、令和元年10月に着手した田原本町(阪手南)では、令和3年春の完成に向け、工事が進んでいます。



位置図

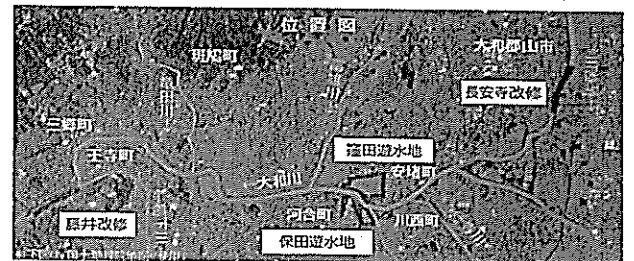


工事中の地下貯留施設(田原本町)

もっと良くするために

大和川の洪水対策を進めます。100年に1度の大雨(最近頻繁に起こっています)にも耐えられることを目標にグレードアップ対策に取り組みます。

- 大和川流域の直轄遊水地を整備し(窪田地区、保田地区)、大和川、佐保川の改修にも取り組んでいます。(藤井地区、長安寺地区)



- 内水による床上・床下浸水被害解消に取り組む市町に助成します。(田原本町、広陵町、河合町、王寺町、御所市)・事業主体は市町。国費を除いた分を県と市町で折半。(参考)10年に一度の大雨に対する事業費 国費41億円、県・市町それぞれ36億円

- 河道堀削、堤防補強を実施します。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
4,453	—

38

7「きれいな奈良県」づくり

(42) なら四季彩の庭づくりの推進

これまで

理念
～奈良県を「一つの庭」と見立てた、四季折々の彩りを愉しむ庭づくり～

- 作庭方針**
- 調和のとれた「一つの庭づくり」
 - …小庭(エリア)を整えつつ、全体調和に配慮
 - 地域の景観資産を生かした庭づくり
 - …水辺、田園、森林・山岳、歴史文化遺産等
 - 四季折々の彩りの庭づくり
 - …四季を感じさせる植物種の選択等
 - 人が楽しむ庭づくり
 - …見る、くつろぐ、歩く、感じる、遊ぶ、体を動かす等
 - 庭づくりを続けるために
 - …様々な主体による連携・協働

- 小庭(エリア)整備計画**
- 県内の主要な名所やその周辺等で「小庭(エリア)」を選定(現在60箇所)
 - 全小庭(エリア)で「整備方針図」を作成
 - 具体化が進むと作庭処方図を作成(現在22箇所)

成果

- 条例化等を検討するため、有識者会議を設置しました(R1～)。
- 本年6月に新たに高天文差点～鴻ノ池運動公園周辺エリアで整備に着手し、更に唐古・鎌遺跡史跡公園周辺エリアで着手予定です。
- 団体等が花苗の育て方などを相談できる窓口を設置しました。

もっと良くするために

「(仮称)なら四季彩の庭づくり条例」を令和2年に制定し、四季を通じて彩り豊かな植栽景観を向上させる植栽計画を推進します。

- 条例化及び植栽計画の推進のため、有識者会議を開催
- 場所類型(森林・山岳、里山・田園、水辺、まち、人が集う場所等)毎にモデル事業を検討
(デザイン検討、アクションプラン作成、実施体制構築等)
- 市町村が行う植栽・里山整備、地元自治会が行う植栽・除草・清掃活動を支援
- シンボルマークプレート設置、ジャーナル発行

・佛隆寺(室生エリア)のBefore&After



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
797	—

(45) 馬見丘陵公園の整備

これまで

馬見丘陵公園(広陵町、河合町)は、かつて、全国都市緑化ならフェアの開催がありました。
()開催をきっかけに、馬見丘陵公園を立派な公園にするべく、季節ごとの花のイベントをはじめ、質の高い花の公園を目指して力を注いできました。

馬見フラワーフェスタ(10月)
53,400人(R1)

馬見クリスマスウィーク(12月)
37,700人(R1)



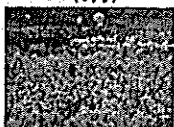
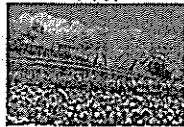
成果

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で開催

馬見ひまわりウィーク
(7/23～8/2)
R2:52,200人(11日間)
(前年度比12,600人増)
R1:39,600人(9日間)

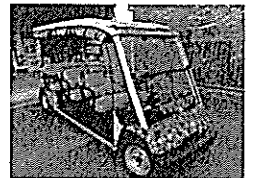
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しましたが、多くの来園者にお花をお楽しみいただきました。

馬見チューリップフェア 馬見花菖蒲まつり
(4月) (6月)



もっと良くするために

園内の移動支援のための電動カートを導入し、土日祝(イベント期間及びGWは平日含む)に運行しています。



池部駅から北エリアまでの区間に「花街道」をつくります

池部駅



北エリア

→整備対象エリア

やまと花ごよみイベントを開催し、楽しめる公園といたします。

(4月)馬見チューリップフェア (6月)馬見花菖蒲まつり
(7月～8月)馬見ひまわりウィーク (10月)馬見フラワーフェスタ
(12月)馬見クリスマスウィーク

公園の魅力向上のための植栽等をより充実させます。

- ・チューリップの株数(R1:41万株→R2:50万株)
- ・県民協働花壇の設置、公園ボランティアの育成、多目的広場整備

暑さ対策、寒さ対策の検討、イベント時のアクセス向上の検討を続けます。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
196	—

(48) 土地利用とまちづくり

これまでは

土地利用基本計画

個別計画間の総合調整機能を十分に発揮していない

個別計画

- 都市計画区域マスタープラン
- 地域森林計画
- 自然公園計画
- 農業振興地域整備計画
- 自然環境保全計画

各個別計画もそれぞれ他の計画と連携していない

➔

土地利用に関する様々な課題が出てきた

土地利用の課題を解決する「新たな土地利用の仕組み」が必要

もっと良くするために

検討 土地利用に関する懇談会

- ・奈良県の今後の土地利用のあり方及び方向性の検討
- ・土地利用の総合調整に係る新たな仕組みの検討

マスタープラン型ではなく
ボトムアップ型のまちづくり


実施 奈良県市町村長サミット⇒地域フォーラム

- ・土地利用ビジョンを各地域で作成・共有
- ・公平で透明性のある土地取得
- ・土地利用ビジョンからのゾーニングプラン・インフラ計画

ゾーニングプランをマスタープランへ組入

「新たな土地利用の仕組み」を構築します

奈良県総合土地利用計画(仮称)
総合調整機能が発揮できる土地利用計画を模索



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
10	—

(54) 子育て不安の解消

これまでは

○奈良県の子育て不安の実態

- ・子育て中の妻の約半数が子育ての不安感・負担感を感じている。
- ・家事や育児の分担は妻に偏っている(約8~9割)
- ・夫の約半数が、妻が一番しんどいと感じる「授乳等、夜泣きの対応」を全くしていない。
- ・2番目にしんどいと感じることは「子育てが分からない」こと。

○課題

専業主婦率、核家族率全国1位の奈良県において、母親の子育ての不安感・負担感の増大は「産後うつ」「虐待」につながる恐れ

○これまでの取組

妊娠期からの切れ目のない子育て支援を強化するための市町村体制整備・充実

- ・母子保健の拠点である「子育て世代包括支援センター(設置32市町村)」と児童虐待防止対策を含む子育て支援の拠点である「市町村子ども家庭総合支援拠点(設置9市町村)」の設置促進研修会の開催
- ・親子が交流や相談ができる場「地域の子育て支援拠点」(県内74ヶ所設置)従事者向け研修会の開催

成果

○「奈良県すべての子ども健やかはぐくみプラン」を令和2年3月に策定しました。

もっと良くするために

親が安心して子育てできる「家庭」と「地域」をつくっていきます。

妊娠期からの切れ目のない子育て支援

- ・教育・保育の利用についての相談、児童預かり等を行うファミリーサポートセンターの運営等に対し市町村を支援
- ・地域子育て支援拠点の運営を通じて、子育て早期からの相談に対応、市町村子ども家庭総合支援拠点の設置及び機能強化に向けた支援
- ・市町村の子育て世代包括支援センターを支援
- ・市町村のファミリーサポートセンター事業等の従事者に対する新型コロナウイルス感染症拡大防止研修の実施

多様な主体による子育て支援環境の整備

- ・ならコープとの連携で子育て応援「つながる箱」をプレゼント
- ・企業が行う「なら子育て応援団」の取組支援
- ・保育士養成機関(大学)の公開講座実施を支援

男女が互いに尊重し合い喜びを分かち合う子育ての促進

- ・奈良県パパ産休プロジェクト

配偶者の産後すぐに夫が休暇をとることの重要性を父親になる男性本人と雇用先の企業に理解してもらうための研修ツールを作成し、「パパ産休」の取得を促進

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
243	3

(56) 子どもの居場所づくり、里親制度の強化

これまで

県内企業や民間団体の力を活かし、「こども食堂」を拡充

- ・令和2年3月末までに56団体が設置
- ・民間企業(食品加工業)が商品提供し、「こども食堂」を支援
- ・企業・団体サポーターも参加してこども食堂ネットワーク形成
- ・県補助金による支援

空き教室等を利用し、保護者が昼間家庭にいない子どもたち(放課後児童)に遊びや生活をする場を提供する(放課後児童クラブ)

- ・整備が進み施設数が増加 H27⇒R1 364クラブ(+67クラブ)
- ・受入児童数が増加 H27⇒R1 16,056人(+3,616人)
- ・担い手である支援員数が増加 H27⇒R1 1,832人(+609人)

成果

- 県内小学校区の全てに「こども食堂」を設けるため、県コーディネーターを配置し、民間企業の掘り起こしや開設・運営にかかる相談支援を行っています。
- 放課後児童クラブの人材確保のため、保育人材バンクでマッチングを開始しました。
- 「奈良県社会的養育推進計画」を策定しました。

もっと良くするために

県内196小学校区に1箇所、「こども食堂」を設けます。

- ・県コーディネーターによる支援
- ・外出しにくい状況であっても、子育て家庭が孤立しないよう、食事の配達や持ち帰りを通じた子育て家庭の見守り活動を支援
- ・県産牛肉等の食材を購入し、奈良の食材を味わう機会を提供する活動を支援

放課後児童クラブの支援員の質の向上と人材確保に努めます。

- ・リーダー支援員の育成
- ・要支援児童の対応等資質向上のための専門研修の実施
- ・放課後児童クラブ巡回サポートによる支援
- ・保育人材バンクのPR強化

里親と保護者に里親制度を理解していただくための研修、説明の充実、児童の自立サポート、退所後の居場所づくりを実施します。

- ・里親登録数を増やす広報啓発
- ・専門性向上のための研修
- ・施設入所児童の就労支援、施設退所者の居場所づくり
- ・特別養子縁組あっせんへの支援

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
188	16

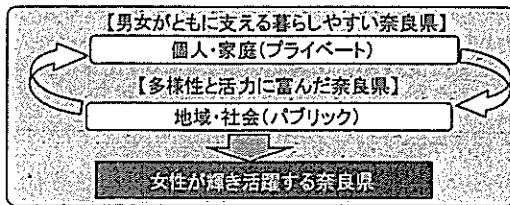
43

(60) 女性の幸せ応援プロジェクト

これまで

○女性の輝き・活躍促進計画(H28～R2)により、下記の基本理念に基づき、取組を進めてきました。

「奈良県の女性が輝き活躍するために男女ともにライフステージの各段階で多様な選択肢の中から自らの道を選択できる社会を実現します」



○現計画の進捗からみた課題

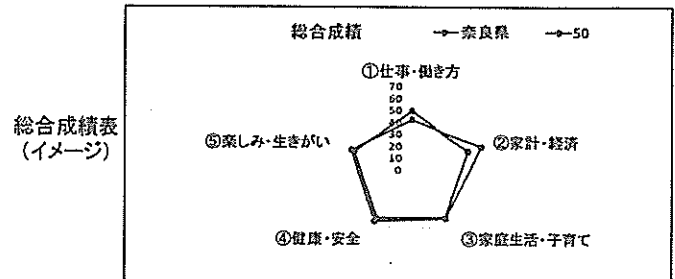
- ①女性の就業に関しては一定の成果
[女性の就業率(25～44歳)] ②61.4%→③67.8%
[妻の第一子出産後の継続就業率] ④約4割→⑤約5割に増加
- ②母親の子育ての負担感・不安感の軽減は、ほとんど改善していない
[子育てに心理的・精神的な不安感・負担感を感じる母親の割合]
約半数が感じており、5年前より増加
- ③男性のワーク・ライフ・バランスは、大きな成果が見られない
[男性の働き方]
長時間労働割合、通勤時間、帰宅時間が依然全国上位
[男性の家事関連従事時間] 50分(全国3位)、女性237分(全国1位)
- ④固定的性別役割分担意識は依然全国より高い
[固定的性別役割分担意識に肯定的な人の割合]
⑥49.6%→R元42.9%(全国:35.0%)

新規テーマ

もっと良くするために

女性の幸せを総合的に測る指標を設定して評価し、弱点分野の底上げとっと伸ばす分野に重点的に取り組みます。

「仕事・働き方」「楽しみ・生きがい」など分野・項目毎に、幸せを測る指標の偏差値を算出し、弱みと強みを明らかにする。



○幸せや生きがいを感じられる「主体的に選択して過ごす時間」を意識したワーク・ライフ・バランスの実現

(施策)新しい働き方・暮らし方の推進

○男女の意識改革が進む

○女性が十分に力を発揮でき、幸せを感じながら暮らせる女性が増える。
※評価結果は、次期女性活躍推進計画にも反映

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
—	—

44

Ⅳ 便利な「都」をつくる

～県土マネジメントを推進し、効率的で便利な交通基盤をつくる～

12 道路整備

- (64) 京奈和自動車道の整備
- (65) 京奈和自動車道関連
奈良エリア・西九条佐保線
- (66) 京奈和自動車道関連 橿原・高田エリア
- (67) 大和平野中心部 国道163号
- (68) 大和平野中心部 国道168号と周辺道路
- (69) 大和平野中心部 大和中央道
- (70) 大和平野中心部 阪奈道路結節点
- (71) アンカールート国道168号 五條エリア
- (72) アンカールート国道168号 十津川エリア
- (73) アンカールート国道169号 御所・高取エリア
- (74) アンカールート国道169号
川上・上北・下北エリア
- (75) 大和平野東部
- (76) 道路の維持管理の計画化・体系化
- (77) 域内道路の整備方針検討、奈良県道路
整備計画の推進
- (78) 道路整備個別箇所検討
- (79) 用地買収・用地補償の円滑な進め方の検討

13 鉄道整備

- (80) 近鉄西大寺駅の高架化
- (81) 近鉄奈良線の移設
- (82) 鉄道駅バリアフリー化の促進
- (83) リニア中央新幹線「奈良市附近」駅の早期確定
- (84) リニア中央新幹線「奈良市附近」駅と関西空港
直結リニア新幹線

14 バス輸送環境整備

- (85) バス路線網改善についての不断の見直し
- (86) バス停アメニティ向上・バス輸送サービス改善

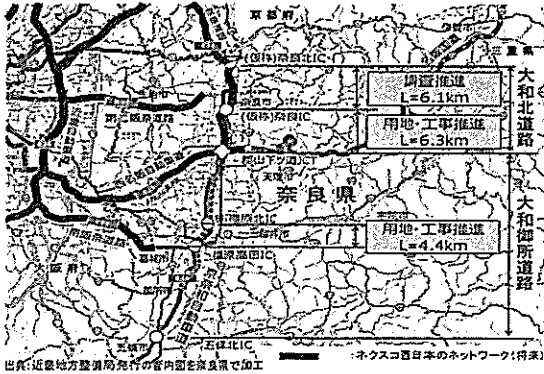
12 道路整備

(64) 京奈和自動車道の整備

これまで

全区間事業化され整備が進んできました。
工事着手されていないのは大和北道路(仮称)奈良北ICから(仮称)奈良IC間のトンネル部分のみ

京奈和自動車道の整備状況



成果

○ 橿原北IC～橿原高田IC間は、平成29年3月末時点 104件の未買収地がありましたが、令和2年8月末時点で8件まで減少しました。

もっと良くするために

国土幹線軸に繋がる南北の大幹線
京奈和自動車道の早期完成を目指します。

○ 大和北道路(仮称)奈良北IC～郡山下JCT (12.4km)

有料道路事業の導入(H30年度)で
奈良県内全線が事業化されました。

奈良国道事務所及びNEXCO西日本と協力して事業推進を図ります。
・大和北道路は大和郡山市内でH31年3月に工事着手

○ 大和御所道路(橿原北IC～橿原高田IC) (4.4km)

奈良国道事務所と協力して事業推進を図ります。

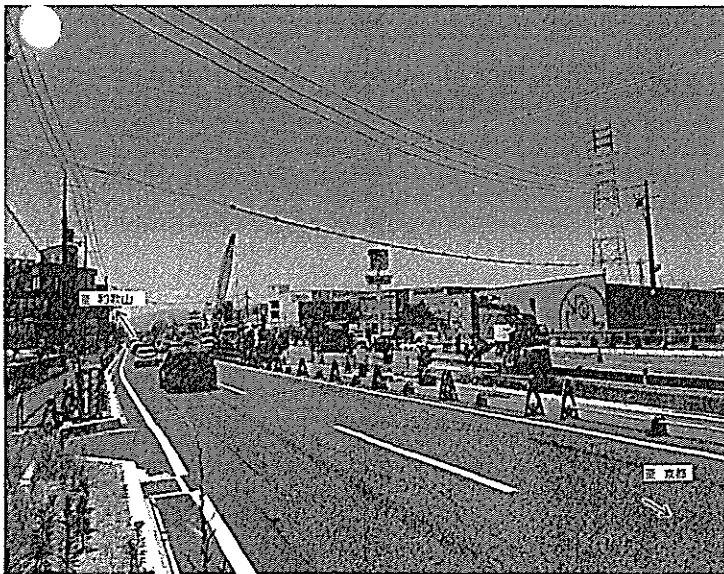
・大和御所道路は橿原北ICから橿原高田IC間の本線部の下部工と大和高田バイパスとつながるランプ橋の下部工を工事中

□ 用地買収に協力しています。

- ・県土地開発公社は大和北道路及び大和御所道路の用地買収に参加
県は大和御所道路の用地買収に参加
- ・県と国の「用地買収チーム」により積極的に買収を進め、橿原北IC～橿原高田IC間の用地買収を早期に完了。

(64) 京奈和自動車道の整備

もっと良くするために



大和北道路(大和郡山市横田町)

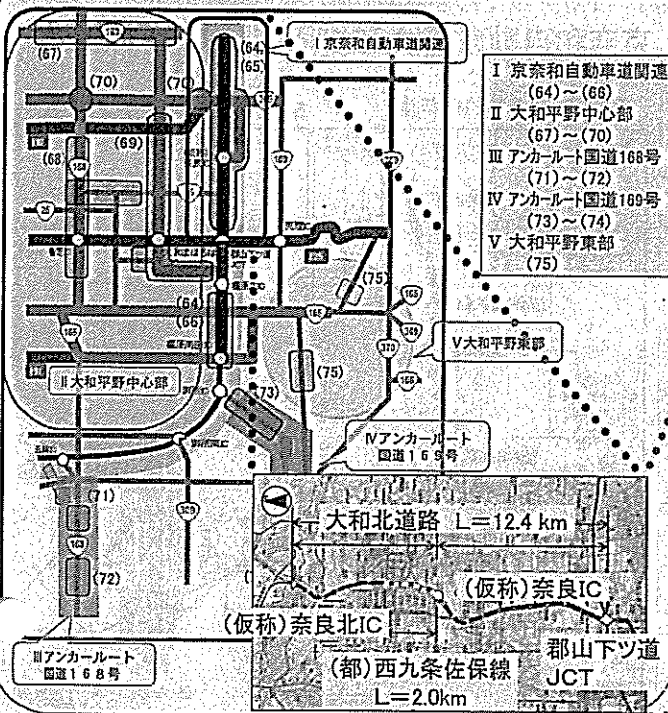


大和御所道路(橿原高田IC付近)

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
5,664	—

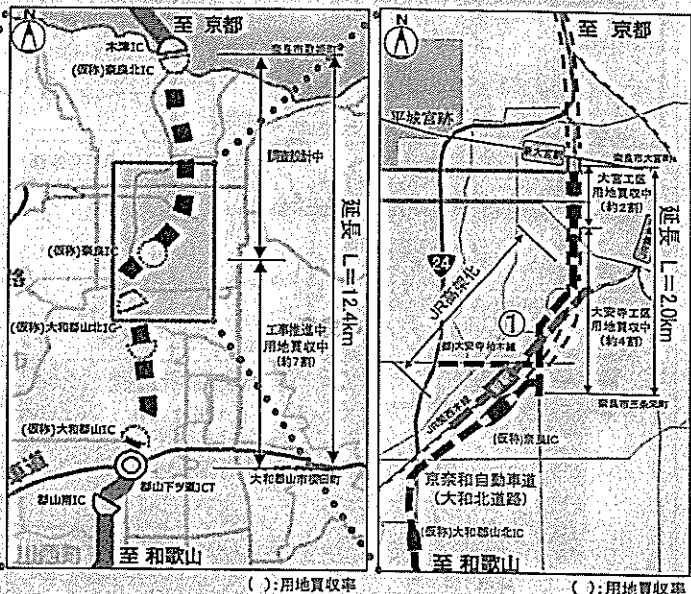
(65) 京奈和自動車道関連 奈良エリア・西九条佐保線

これまでは



もっと良くするために

- 1 京奈和自動車道 大和北道路 (国、NEXCO西日本) 事業着手年度: (仮称)奈良IC~郡山下ツ道JCT : H20年度 (仮称)奈良北IC~(仮称)奈良IC: H30年度
- 2 (都)西九条佐保線 (事業着手年度: H25年度)



成果

○大和北道路: 令和2年6月より橋梁下部工事に着手

(65) 京奈和自動車道関連 奈良エリア・西九条佐保線

もっと良くするために

- 1 関西大環状道路の一部を形成し、平成31年3月に起工式を行い、橋梁下部工事等を推進中
- 2 京奈和自動車道(仮称)奈良ICへのアクセス整備、鉄道高架化による地域分断の解消、一体的なまちづくりの推進



①(仮称)奈良IC・西九条佐保(周辺航空写真・周辺イメージパース)



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
3,691	—

(66) 京奈和自動車道関連 橿原・高田エリア

これまでは

成果

○平成29年3月末時点104件の未買収地がありましたが、令和2年8月末時点で8件まで減少しました。

もっと良くするために

京奈和自動車道(大和御所道路)

(事業着手年度: H4年度) 5工区(橿原北IC~橿原高田IC)

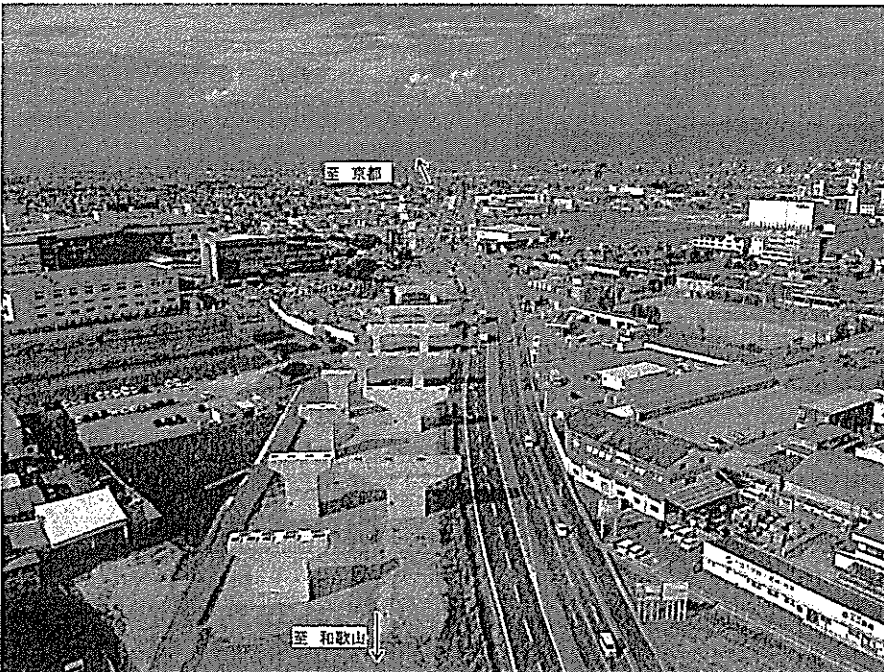
(): 用地買収率

(66) 京奈和自動車道関連 橿原・高田エリア

もっと良くするために

○関西大環状道路の一部を形成し、本線部分の橋梁上部工事や大和高田バイパスのランプ部の橋梁上部工事に着手予定

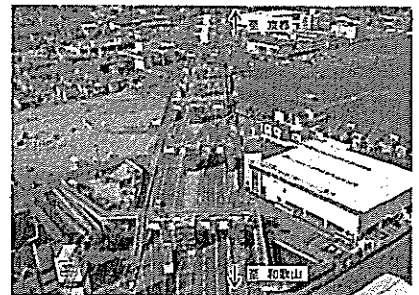
①橿原市新堂町本線部(橋梁下部工事)



②橿原市新堂町ランプ部(橋梁下部工事)



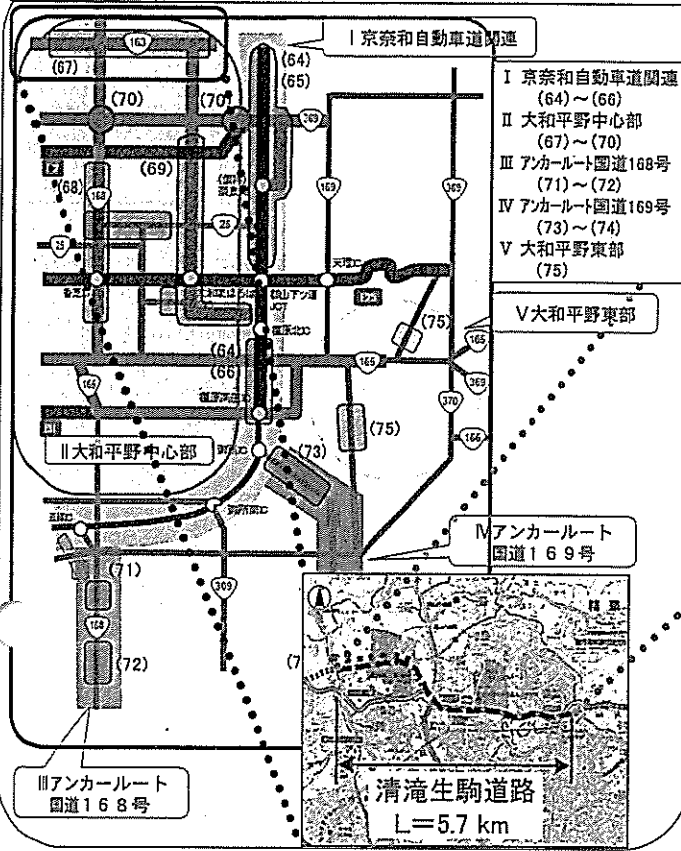
③橿原市曲川町本線部(橋梁下部工事)



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
3,100	—

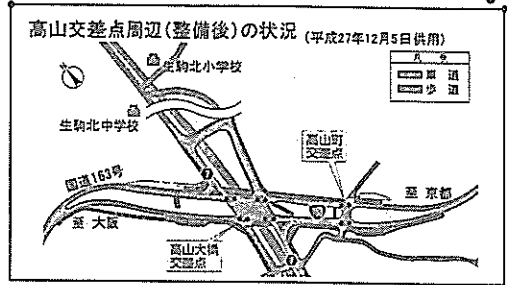
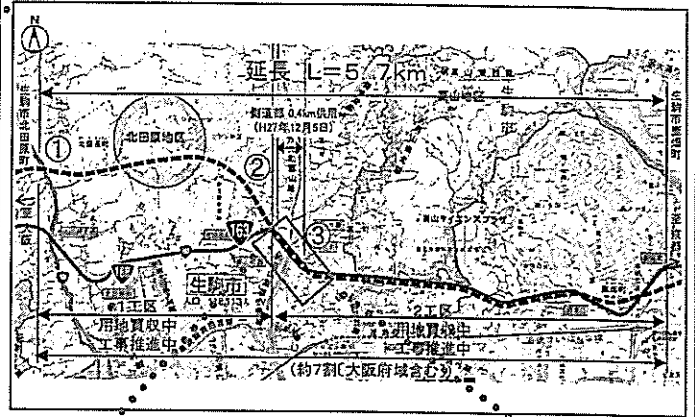
(67) 大和平野中心部 国道163号

これまでは



もっと良くするために

清滝生駒道路(事業着手:S61年度)

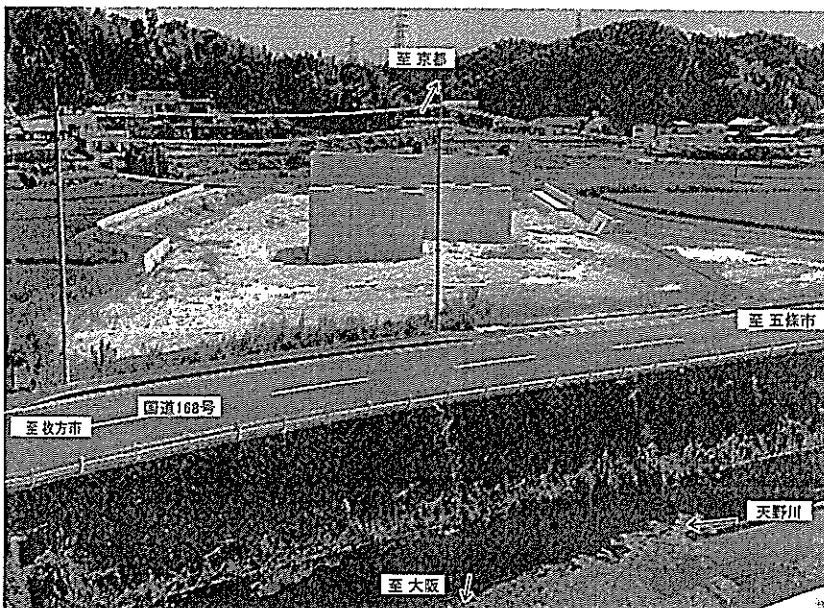


(67) 大和平野中心部 国道163号

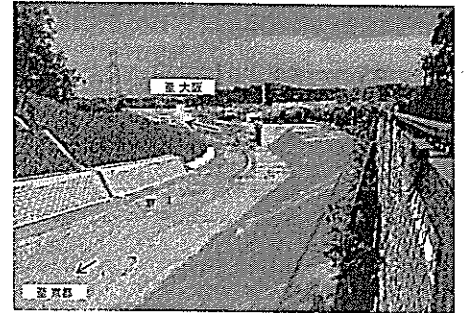
もっと良くするために

○奈良県北西部の府県間における東西ネットワークの強化による、関西文化学術研究都市などの地域活性化を支援
令和元年度より、(仮称)下田原東ランプの橋梁下部工事を推進中

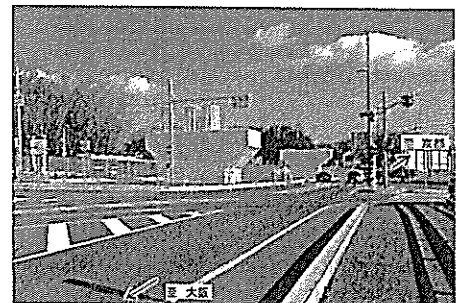
①(仮称)下田原東ランプ(橋梁下部工事)



②北田原地区(土工)



③高山高架橋(橋梁下部工事)

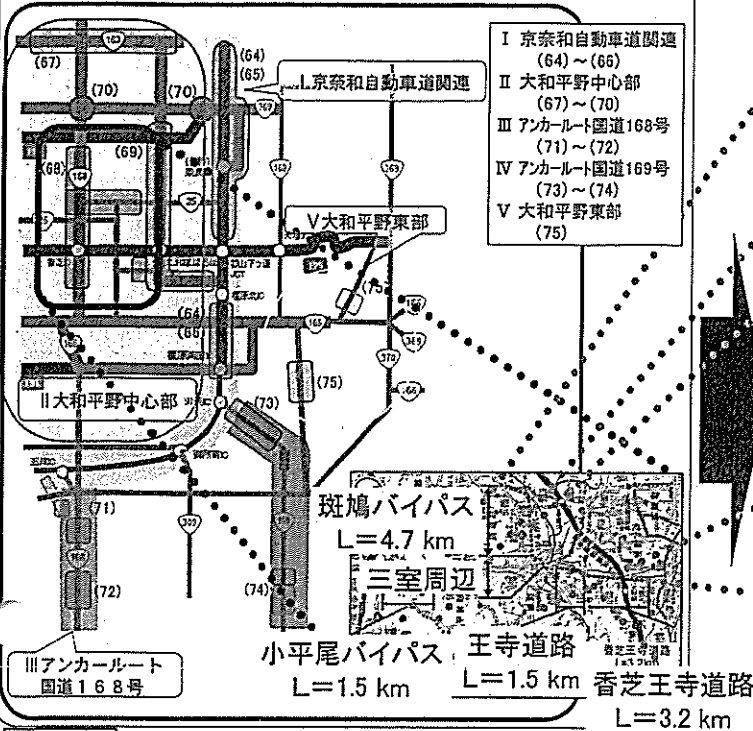


令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
600	—

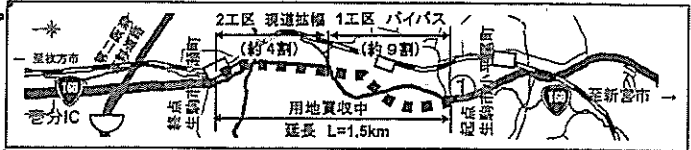
(68) 大和平野中心部 国道168号と周辺道路

これまで

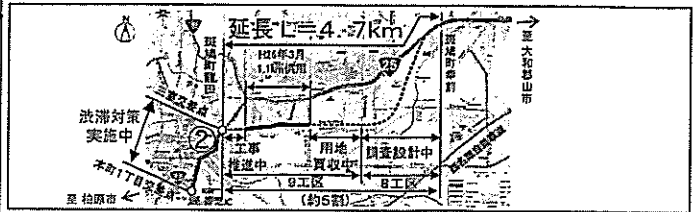


もっと良くするために

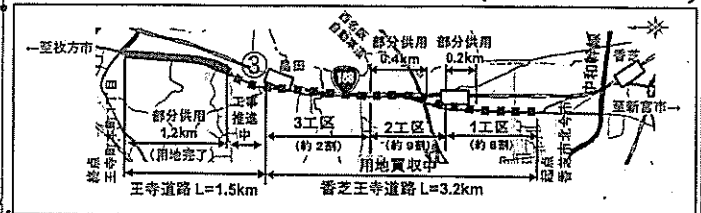
1 国道168号 小平尾バイパス(事業着手:H19年度)



2 国道25号 斑鳩バイパス、三室周辺(国)(事業着手:S47年度)



3 国道168号 王寺、香芝王寺道路(事業着手:H13年度(王寺) 事業着手:H18年度(香芝王寺))



成果

○斑鳩バイパス:三室交差点の改良工事が令和2年8月に完成(②)

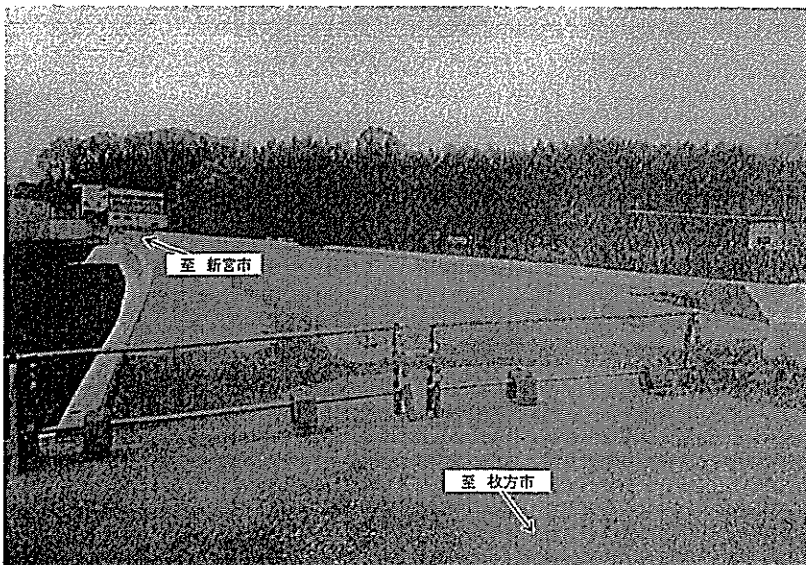
():用地買収率

(68) 大和平野中心部 国道168号と周辺道路

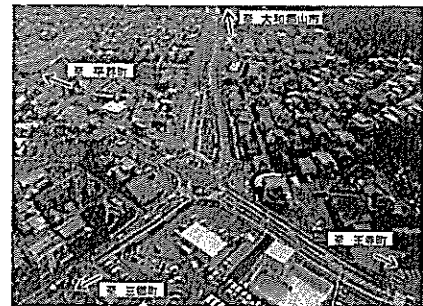
もっと良くするために

- 1・3 奈良県北西部の南北を結ぶ骨格幹線の形成による、交通混雑の緩和や交通安全性の向上を目指し、王寺道路は、令和元年度に残る区間の用地買収の目処がつき、順次工事を推進中
- 2 交通混雑の緩和による、観光の振興、緊急医療施設へのアクセス向上を目指し、岩瀬橋〜三室交差点間の側道部において歩道整備等を推進中

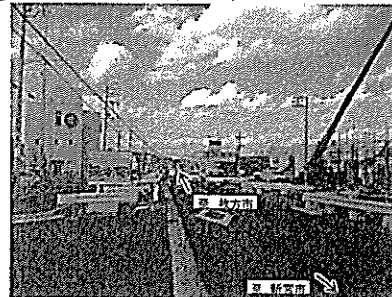
①小平尾バイパス



②三室交差点(交通切替後状況)



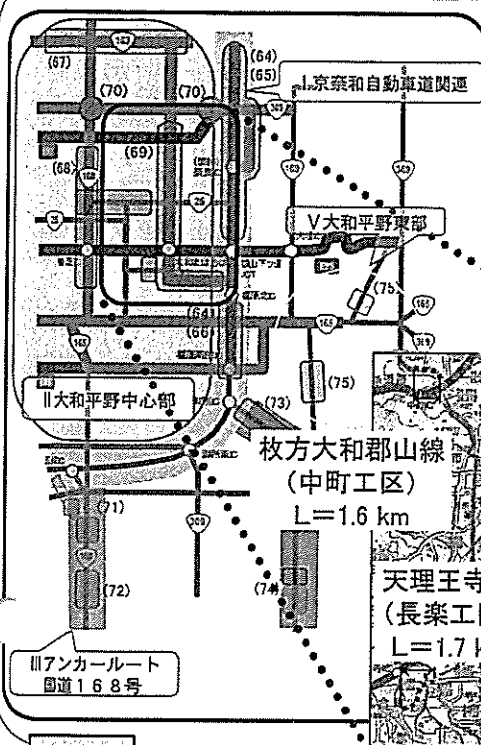
③王寺・香芝王寺道路



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
1,911	—

(69) 大和平野中心部 大和中央道

これまでは



- I 京奈和自動車道関連 (64)～(66)
- II 大和平野中心部 (67)～(70)
- III アンカーロード国道168号 (71)～(72)
- IV アンカーロード国道168号 (73)～(74)
- V 大和平野東部 (75)

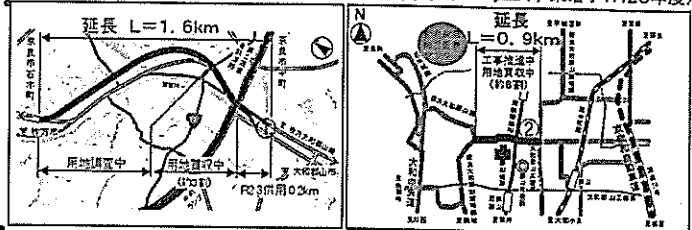
- (都)城廻り線 (北郡山工区) L=0.9 km
- 枚方大和郡山線 (中町工区) L=1.6 km
- 天理王寺線 (長楽工区) L=1.7 km
- 結崎田原本線 (結崎～三河工区) L=2.1 km

成果

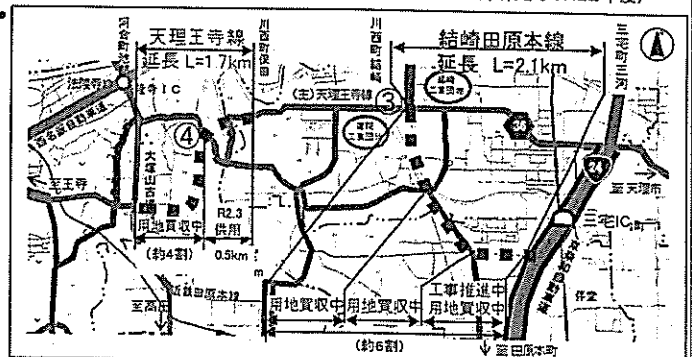
- 中町工区: 令和2年3月に一部区間を供用(①)
- 長楽工区: 令和2年3月に一部区間を供用(④)

もっと良くするために

- 1 枚方大和郡山線 2 (都)城廻り線
- 中町工区 (事業着手: H24年度) 北郡山工区 (事業着手: H23年度)



- 3 結崎田原本線 結崎～三河工区
- 4 天理王寺線 長楽工区 (事業着手: H22年度)



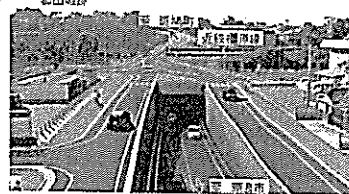
(): 用地買収率

(69) 大和平野中心部 大和中央道

もっと良くするために

- 1 北西部の南北を結ぶ骨格幹線の形成による、交通混雑の緩和や交通安全性の向上を目指し、バイパス区間の事業を推進中
大和中央道と京奈和自動車道を結ぶ骨格幹線を形成するとともに、近鉄橿原線踏切道の立体交差化により慢性的な渋滞を解消し、大和郡山市域における円滑な交通流動を確保
- 3 大和中央道と京奈和自動車道を結ぶ骨格幹線の形成により、昭和工業団地等へのアクセス向上による地域活性化
- 4 大和平野中央部を東西に結ぶ骨格幹線の形成による、唐院工業団地等へのアクセス向上を目指し工事を推進中

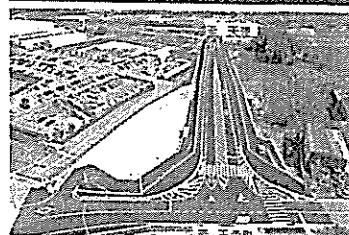
②北郡山工区 (近鉄立体交差部完成イメージ)



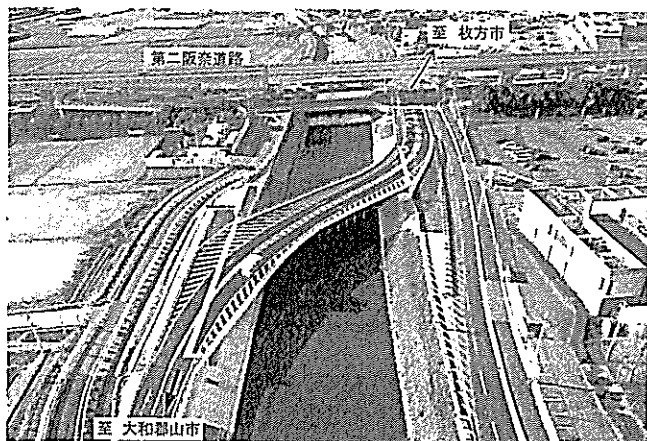
③結崎～三河工区 北側 (大和中央道)



④長楽工区東側 (R1年度供用箇所)



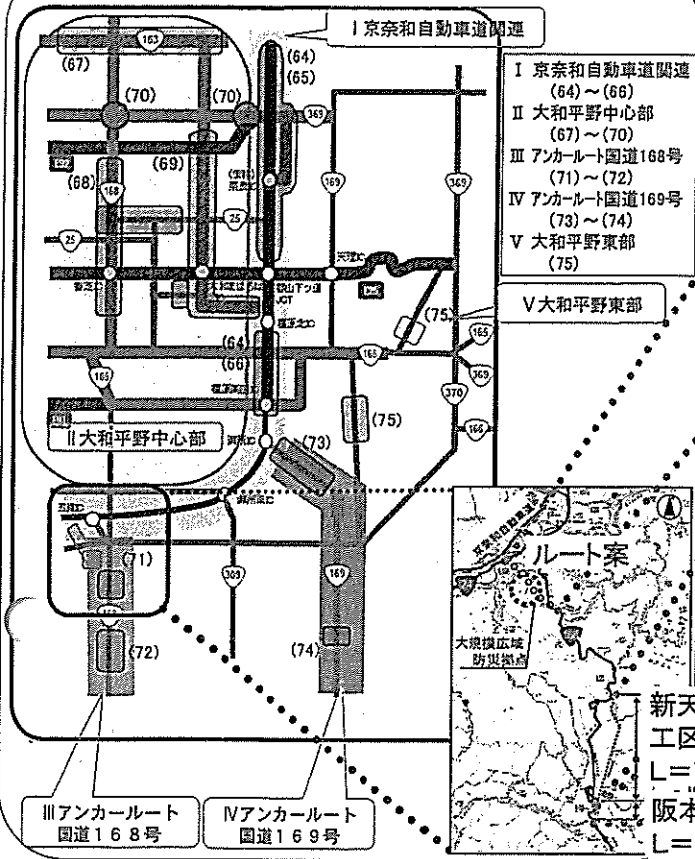
①中町工区 南側 (R1年度供用箇所)



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
1,163	—

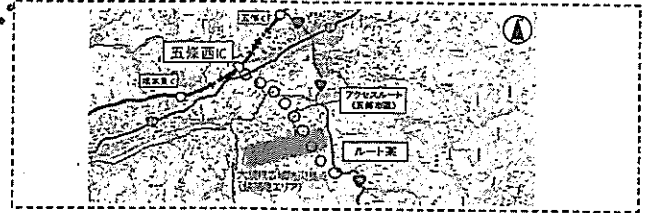
(71) アンカールート国道168号 五條エリア

これまででは

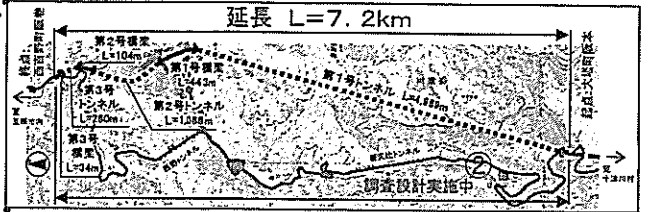


もっと良くするために

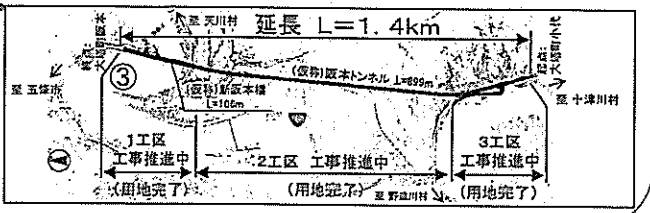
1 大規模広域防災拠点アクセス(調査路線: R元年度)



2 国道168号 新天辻工区(事業着手: H30年度)



3 国道168号 阪本工区(事業着手: H26年度)



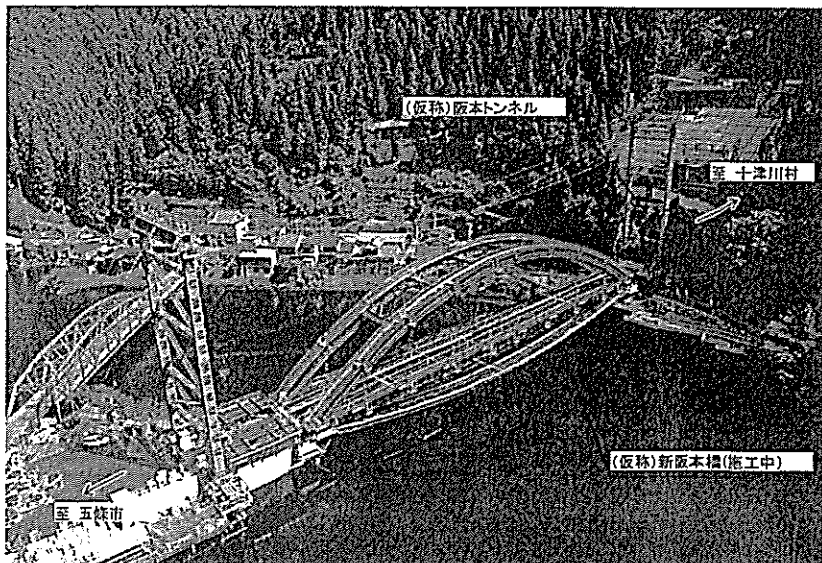
(71) アンカールート国道168号 五條エリア

もっと良くするために

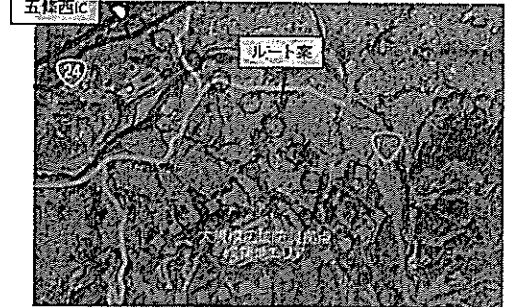
1 京奈和自動車道 五條西ICから大規模広域防災拠点へのアクセス性の向上

3線形不良箇所と冬期の最大難所の回避による走行性の向上及び安全安心の確保を目指し、阪本工区で、橋梁上部工事を進め、引き続きトンネル工事の着手に向けて取組中

③ 阪本工区 (橋梁上部工事)



① 大規模広域防災拠点アクセス(調査路線)



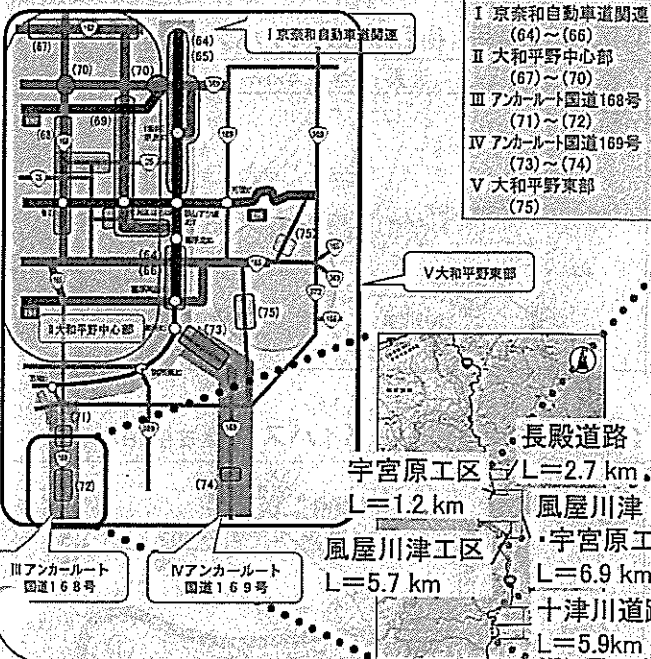
② 新天辻工区 (現道の冬期の状況)



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
2,140	—

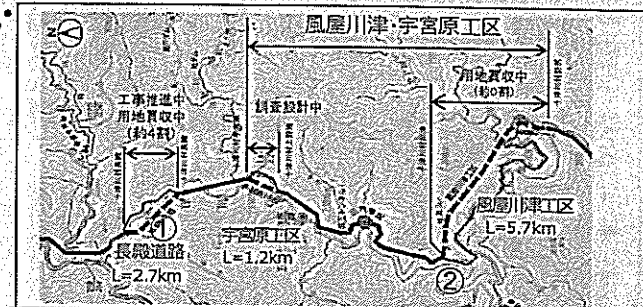
(72) アンカールート国道168号 十津川エリア

これまでは

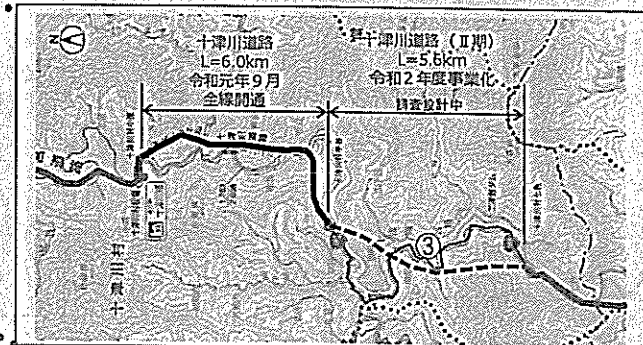


もっと良くするために

- 1 長殿道路(事業着手:H24年度)
- 2 風屋川津・宇宮原工区(事業着手:H25年度)



- 3 十津川道路(Ⅱ期)(事業着手:R2年度)



成果

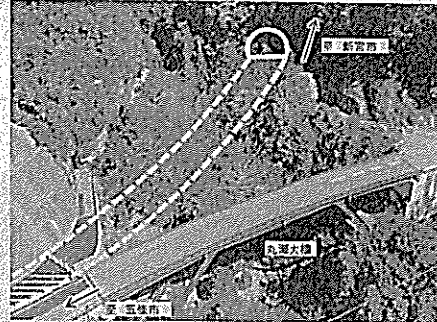
- 十津川道路(Ⅱ期): 令和2年4月に直轄権限代行による新規事業化
- 風屋川津・宇宮原工区: 令和2年9月に起工式を開催

(72) アンカールート国道168号 十津川エリア

もっと良くするために

- 崩土等による通行止めリスク低減と線形不良箇所及び幅員狭隘区間の解消による、安全・安心な通行の確保
- 平成31年2月に起工式、橋梁下部工事を推進中
- 2 令和2年9月に起工式、橋梁下部工事を推進中
- 3 調査設計を推進中

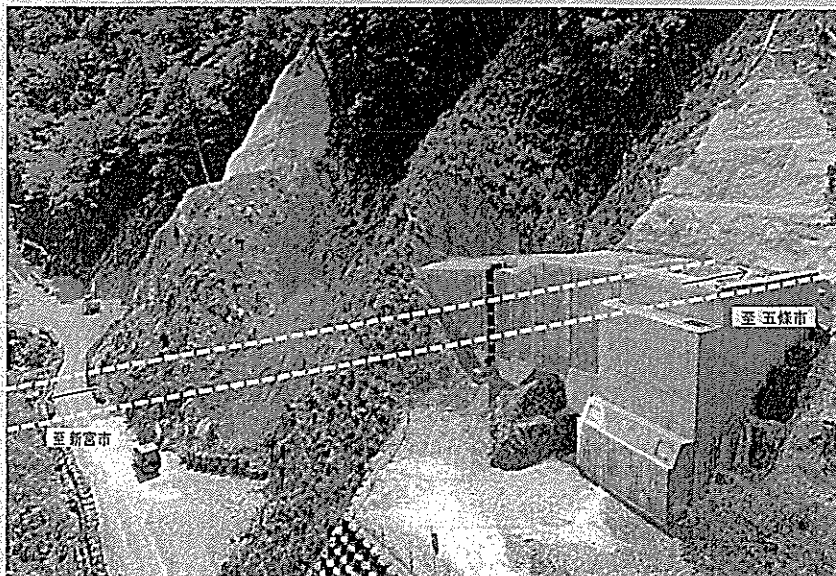
- ②風屋川津工区(仮称)1号橋(橋梁下部工事)



- ③十津川道路(Ⅱ期)区間(平成27年7月大規模法面崩落状況)



- ①長殿道路(仮称)2号橋(橋梁下部工事)



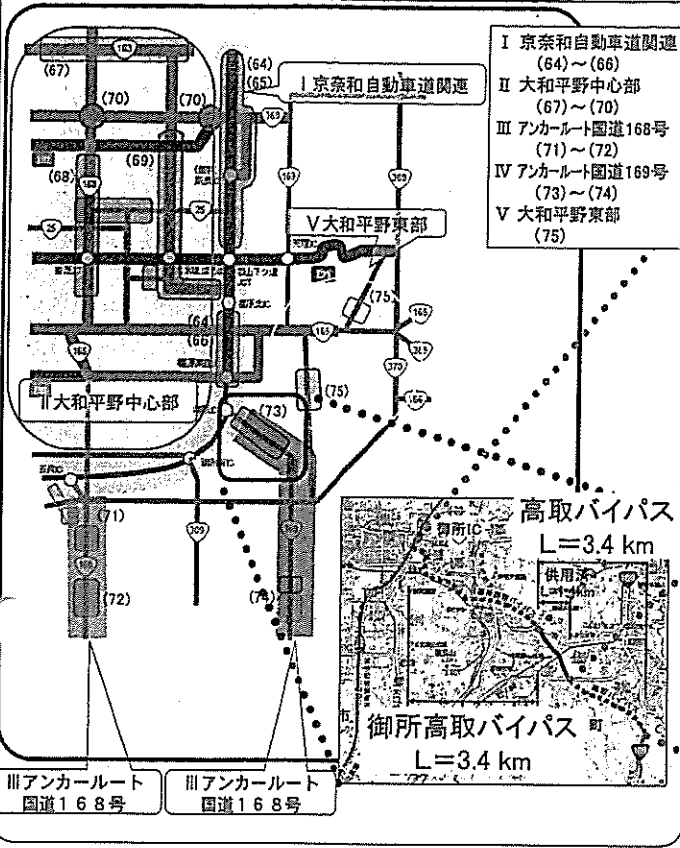
令和2年度予算(百万円)

当初予算 補正予算

1,080 —

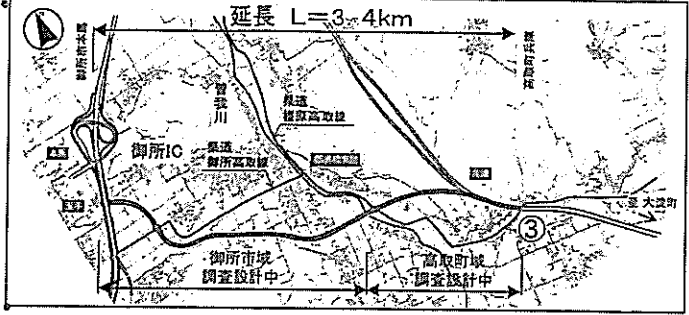
(73) アンカールート国道169号 御所・高取エリア

これまでは

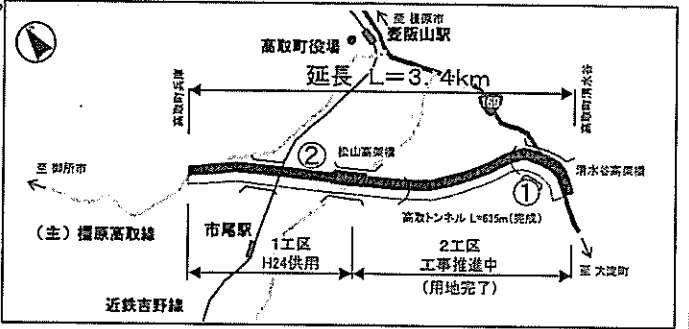


もっと良くするために

1 国道169号 御所高取バイパス(事業着手:H29年度)



2 国道169号 高取バイパス(事業着手:H10年度)

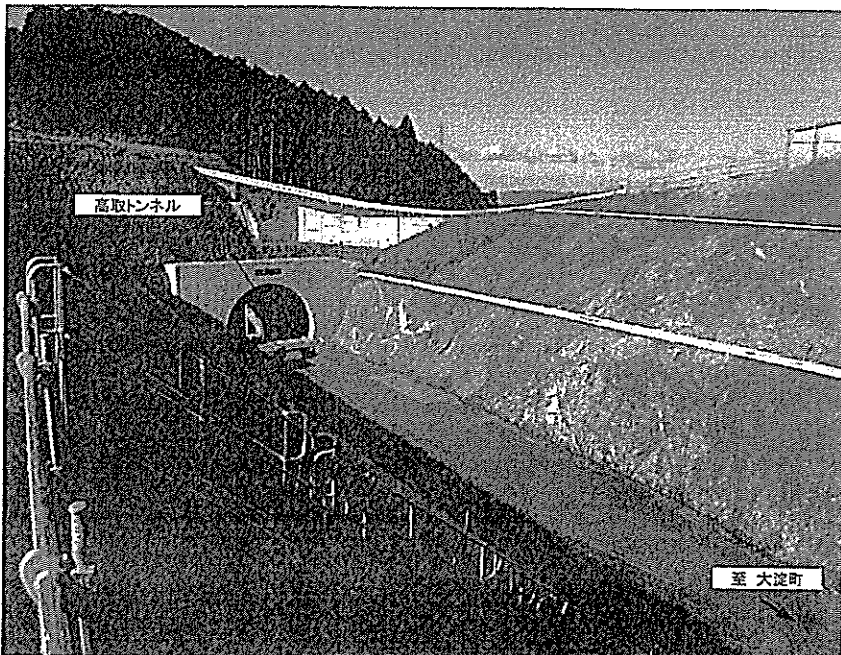


(73) アンカールート国道169号 御所・高取エリア

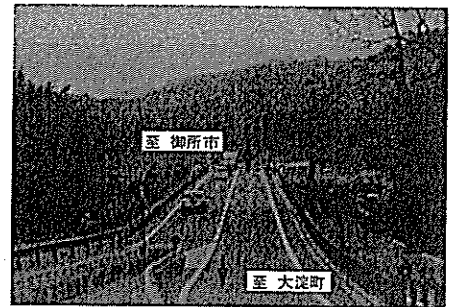
もっと良くするために

○京奈和自動車道御所インターチェンジと南和地域の接続による、地域活性化や観光振興の支援を目指し、高取バイパスはトンネル工が平成31年1月に完成、引き続き工事を推進中

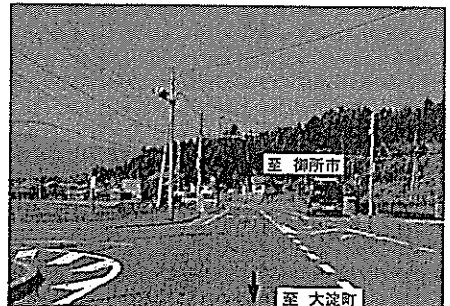
①高取バイパス



②高取バイパス(供用済区間)



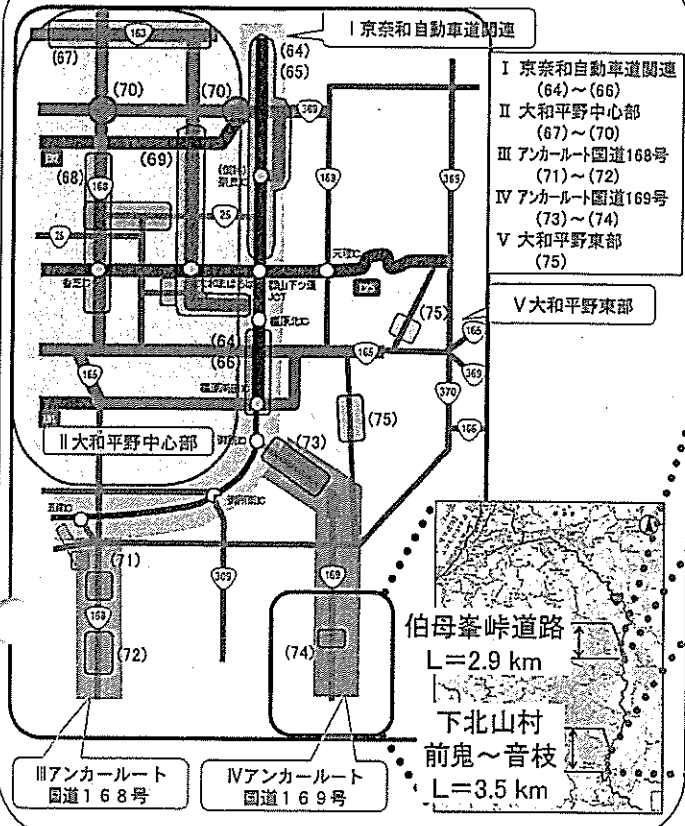
③御所高取バイパス(終点側)



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
1,149	—

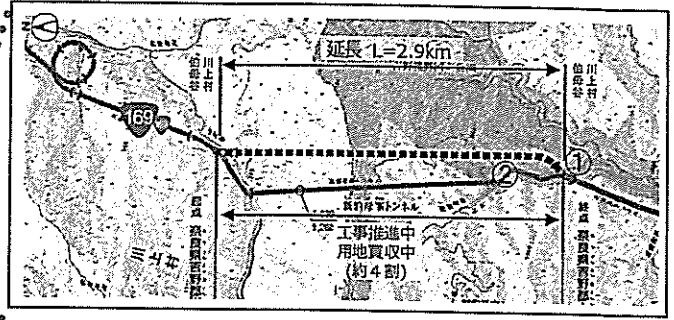
(74) アンカールート国道169号 川上・上北・下北エリア

これまで



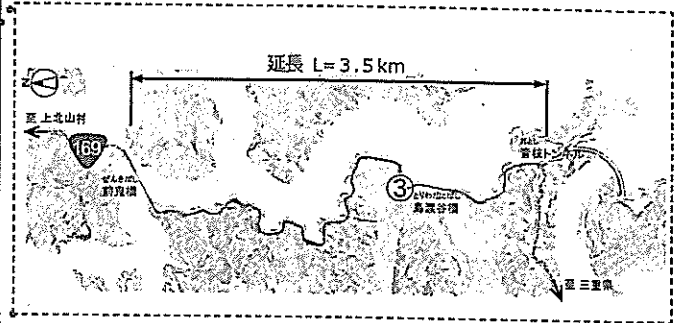
もっと良くするために

1 国道169号 伯母峯峠道路(国)(事業着手:H28年度)



2 国道169号(下北山村前鬼～音枝)

(調査路線:R1年度)



(74) アンカールート国道169号 川上・上北・下北エリア

もっと良くするために

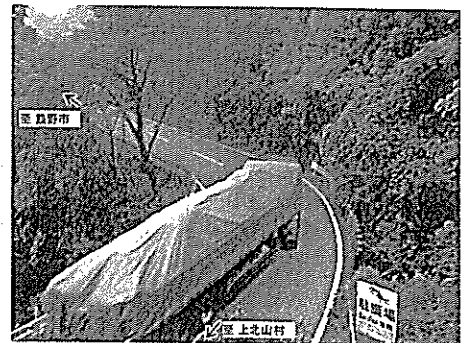
○大型車の対向が困難な線形不良箇所等の解消による、物流の効率化と沿線で地域振興の創出

- 1 平成30年12月に起工式、橋梁下部工事を推進中
- 2 令和元年度より調査路線として概略設計を推進中

②新伯母峯トンネル(現道)(大型車のすれ違い状況)



③前鬼～音枝(急カーブ、狭隘箇所)



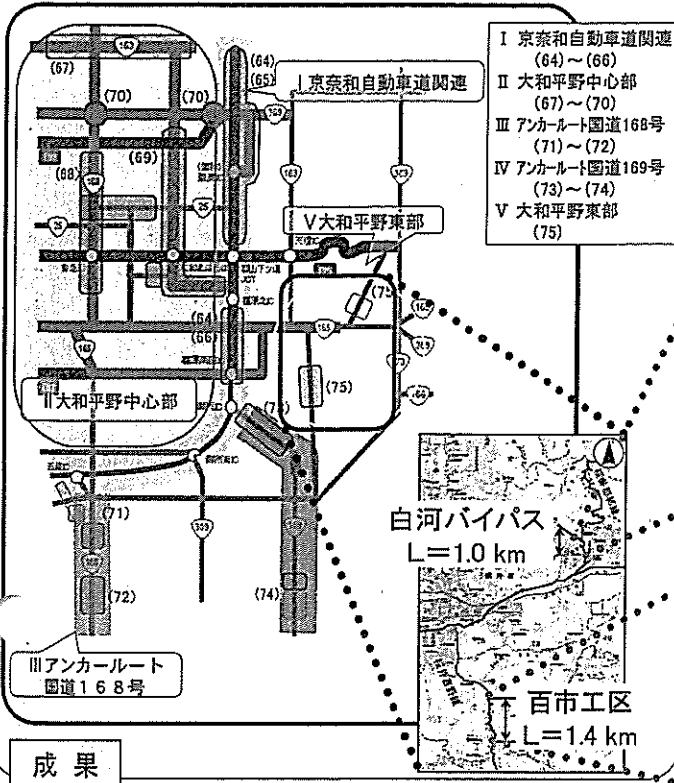
①伯母峯峠道路(仮称)2号橋(橋梁下部工事)



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
660	—

(75) 大和平野東部

これまでは

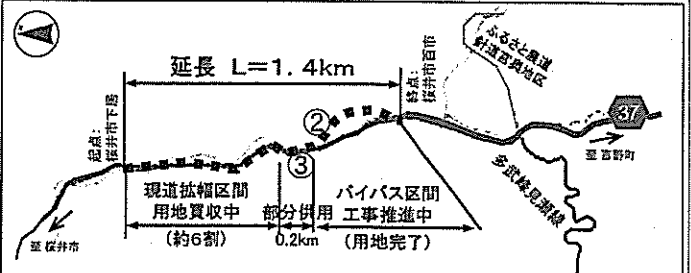


もっと良くするために

1 桜井都祁線 白河バイパス(調査路線:R元年度)



2 桜井吉野線 百市工区(事業着手:H17年度)



成果

○百市工区:百市工区南側バイパス部にて、2橋ある橋梁のうち1橋が令和2年6月に完成

※():用地買収率

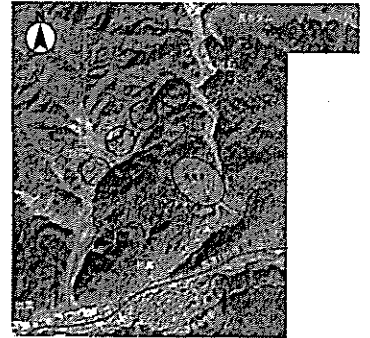
(75) 大和平野東部

もっと良くするために

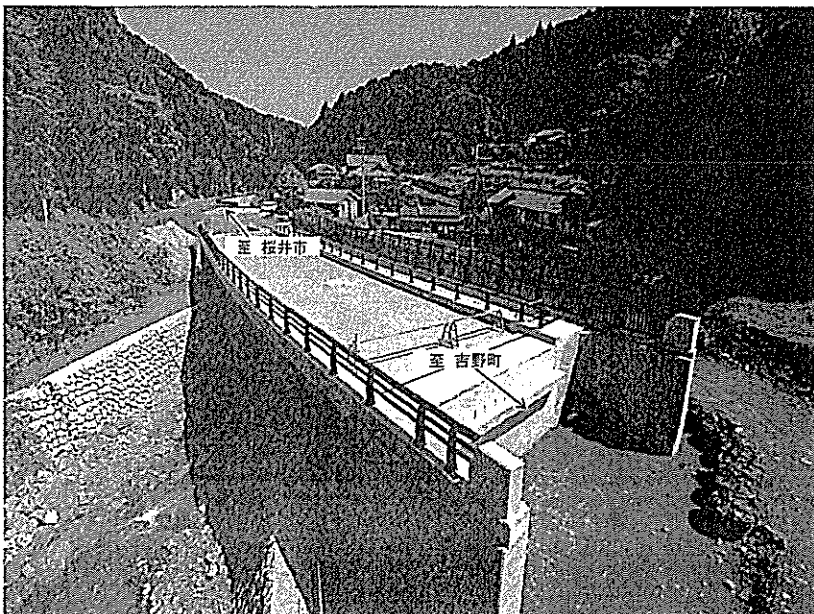
1 長谷寺参道の徒歩による周辺やモビリティによる観光などの実現、沿線等の地域振興の創出

県中和地域と吉野地域の接続による、観光振興や地域産業の支援
南側バイパス部の工事を推進中

①白河バイパス



②百市工区(橋梁工事)



③百市工区(部分供用状況)



令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
381	—

381

—

(80) 近鉄西大寺駅の高架化

これまでは

平成29年1月西側4踏切について踏切道改良促進法「改良すべき踏切道」に指定され、令和2年7月に国、県、市、近鉄が出席する「地方踏切道改良協議会 合同会議」が開催されました。

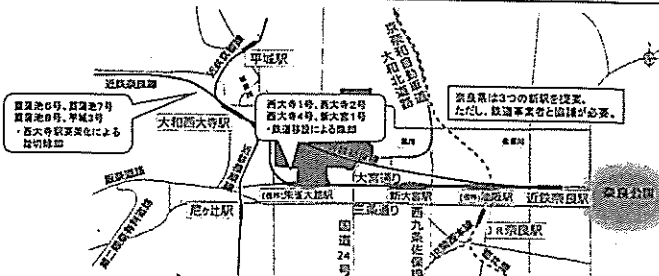


成果

○合同会議の場で、踏切道の改良計画については、奈良県案(大和西大寺駅高架化・鉄道移設案)を基本として協議していくことで合意されました。

もっと良くするために

令和2年度中に近鉄、県、奈良市は奈良県案を基本とした「踏切道の改良に関する計画」を国土交通大臣に提出しなければなりません。



平城宮跡からの近鉄線の移設(県案)

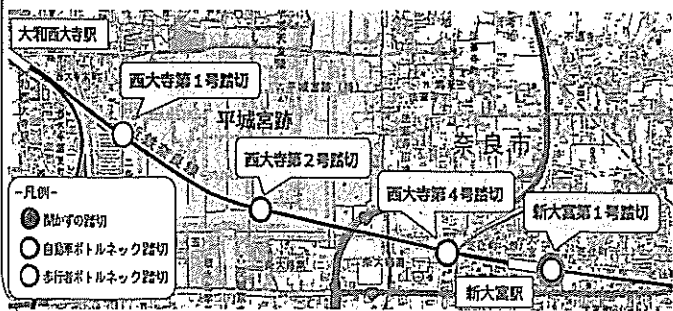
奈良県案を基本とした踏切改良計画を協議し、年度末までに作成します。協議が整わなければ、国土交通大臣の裁定となります。奈良県としては、連続立体交差事業と公園補償を組み合わせた事業スキームを検討中です。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
31	—

(81) 近鉄奈良線の移設

これまでは

平成30年1月、近鉄西大寺駅東側4踏切について、踏切道改良促進法「改良すべき踏切道」に指定され、令和2年7月に国、県、市、近鉄が出席する「地方踏切道改良協議会 合同会議」が開催されました。

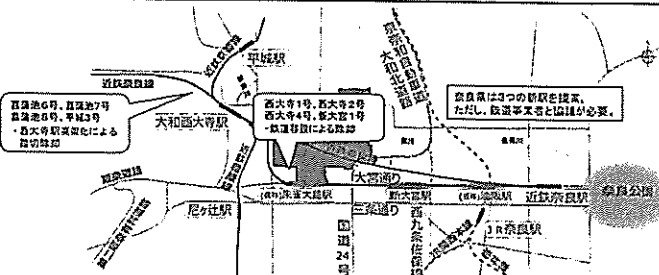


成果

○合同会議の場で、踏切道の改良計画については、奈良県案(大和西大寺駅高架化・鉄道移設案)を基本として協議していくことで合意されました。

もっと良くするために

令和2年度中に近鉄、県、奈良市は奈良県案を基本とした「踏切道の改良に関する計画」を国土交通大臣に提出しなければなりません。



平城宮跡からの近鉄線の移設(県案)

奈良県案を基本とした踏切改良計画を協議し、年度末までに作成します。協議が整わなければ、国土交通大臣の裁定となります。奈良県としては、連続立体交差事業と公園補償を組み合わせた事業スキームを検討中です。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
31	—

(83) リニア中央新幹線「奈良市附近」駅の早期確定

これまでは

まちづくりの具体的な検討や、結節性を確保するための計画的な整備を進めるためには、駅位置とルートとの早期確定が必要です。



リニア中央新幹線ルート概念図

成果

○「奈良市付近」の駅位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定等について、令和2年7月27日に赤羽国土交通大臣に対して要望しました。

もっと良くするために

2037年の全線開業に向け、JR東海が駅・ルートの公表に向けた準備をできるだけ速やかに進められるよう、誠実な信頼関係に基づく実質的な協力、連携をJR東海と進めます。

○「奈良市附近」駅の候補地として3市が提案している5箇所をそれぞれ経由するルートを想定ルートとし、引き続き調査・検討を実施

○「奈良市附近」駅の早期確定をめざし、JR東海と協議

○奈良県は、リニア中央新幹線整備の早期実現に、①用地取得、②工事に伴う排出土砂の処分地の確保、③住民の方のご理解、④リニア駅を中心としたまちづくりの取組を通じて、全面的に協力

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
25	—

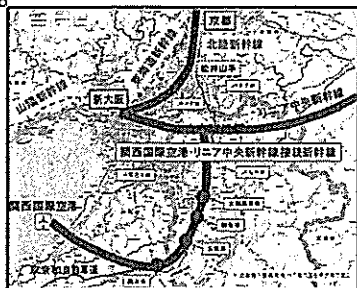
71

(84) リニア中央新幹線「奈良市附近」駅と関西空港直結リニア新幹線

これまでは

「奈良市附近」駅を中心とした交通体系についての調査・検討等を行ってきました。

○その中で関西国際空港とリニア中央新幹線「奈良市附近」駅をリニア新幹線で直結する構想が浮上しました。



関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線構想

成果

○関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線構想の実現可能性について調査・検討を開始しました。

もっと良くするために

「奈良市附近」駅と関西国際空港を直結する「関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線」の構想を具体化する手法の検討を進めます。

○「関西国際空港・リニア中央新幹線接続新幹線」の構想について、引き続き調査・検討を実施

○途中停車駅の候補地は、大和高田市、御所市、五條市、橋本市を想定

関西空港直結リニア新幹線の通路は、リニア中央新幹線の排出土砂を五條の大規模広域防災拠点に運ぶ運搬路の利用を想定しています。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
25	—

72

V 健やかな「都」をつくる

～健康寿命日本一を目標に、高齢者、障害者を含む、誰もが健やかに暮らせる地域をつくる～

15 健康寿命日本一を目指した健康づくり

- (87) 健康増進施策の推進
- (88) がん対策の推進
- (89) 高齢者の安全安心なくらし

17 福祉の充実

- (97) 福祉の奈良モデル構築
- (98) 農福連携の推進
- (99) 重症心身障害児(者)支援センターの設置
- (100) 出所者の更生保護、就労支援

16 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実

- (90) 国保の県営化の円滑な推進
- (91) 地域医療構想の推進
- (92) 医療費適正化
- (93) 医師確保計画、外来医療計画の策定
- (94) 地域包括ケア・在宅医療の充実、南和における地域包括ケアの実験
- (95) 県立医大の移転、医大病院施設・外来棟の整備
- (96) 西和医療センターの移転・再整備の検討

18 だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり

- (101) スポーツ施設の整備構想策定
- (102) スイムピア奈良(県営プール)の施設充実、まほろば健康パークの機能強化
- (103) スポーツ振興ビジョン策定とまちなかスポーツの振興

15 健康寿命日本一を目指した健康づくり

(87) 健康増進施策の推進

これまで

「健康寿命日本一」の目標達成を目指して、健康、医療、介護分野の計画を連動させた健康増進の取組を進めてきました。



※順位は望ましい状況からの都道府県順位です。

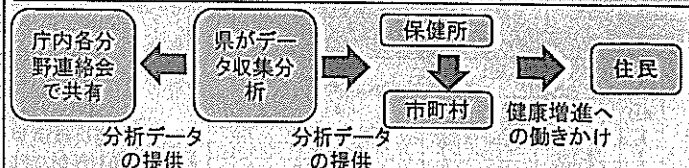
成果

○健康寿命の全国順位はH19の男性16位、女性34位から大幅に上昇しました。ただし、赤枠で囲んだ指標は全国順位が低く、さらに取組を進める必要があります。

もっと良くするために

健康増進には地域の総合力が必要です。新たに地域ごとの健康データの収集分析を行い市町村とともに対策を検討実施します。

○市町村健康課題明確化・取組支援強化事業



分野別の取組を強力に推進します

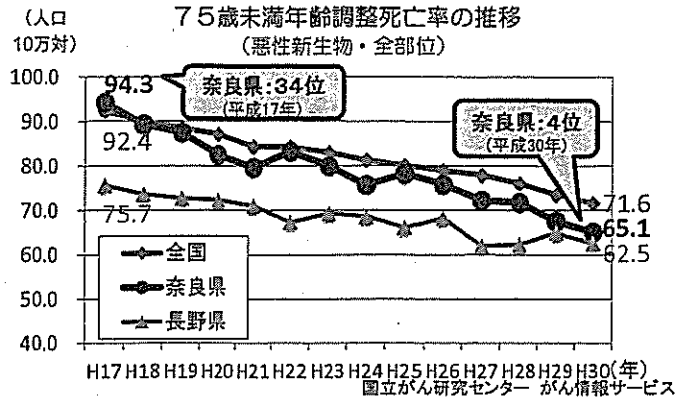
- 減塩・野菜摂取** ・「やさしおベジ増し」プロジェクトによる中食の減塩野菜増量
- 運動** ・いつでもどこでも誰でも運動できる環境づくり
- がん検診** ・受診率、検診精度の向上
- たばこ対策** ・受動喫煙防止
- 自殺対策** ・自殺未遂者等に対する支援
- 要介護期間短縮** ・住民運営の通いの場の普及拡大

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
104	—

(88) がん対策の推進

これまで

奈良県のがん死亡率はこの13年間で大幅に改善しました。
 奈良県の死亡率の減少率: 30.9% (全国1位)
 <参考> 全国: 22.5% 長野県: 17.4%



H30年の奈良県のがん死亡者数は男性2,377人、女性1,664人。
 上位は男性は肺がん、胃がん、大腸がん、女性は、大腸がん、肺がん、膵がんの順。

成果

地域別がん対策の見える化

平成30年度は南和医療圏、令和元年度は中和医療圏・東和医療圏においてモデル市町村を選定し、エビデンスに基づき、ロジックモデルで課題整理し、地域の声も参考に、罹患が増加する年齢をターゲットに絞った検診の勧奨や検診等の機会を捉えた食生活改善のための周知啓発など効果的な取組を市町村に提案。

がん診療情報の見える化

県内のがん診療情報を病院別、がん種別などを比較し、病院の強み・弱みを明確化。

もっと良くするために

「がん死亡率が全国一低い県」「がんにならない、がんになっても安心できる奈良県」を目指します。

がん予防・早期発見

- がん予防とがん検診の推進
 - ・がん検診の必要性和がんにならない生活習慣をわかりやすく周知啓発
- たばこ対策の推進
 - ・受動喫煙防止対策の推進

がん医療

- がん医療提供体制の充実
- がんゲノム医療体制の整備
 - ・県立医大に「腫瘍内科学講座」を設置
- 緩和ケア提供体制の充実

がん患者等への支援

- 患者目線でのがん診療情報の提供
- 小児など世代に応じた相談体制の充実

がん対策を支える基盤整備

- がん計画の総合的な推進
- データを活用した地域別の効果的ながん対策の推進
- がん登録の推進
- 子どもの頃からのがん教育の推進

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
133	—

(92) 医療費適正化

これまで

- ・医療費適正化計画で医療費推計を「目標」として設定
- ・医療費を地域差(市町村差)、疾病別、前年度との増減比較の3つのアプローチにより分析

地域差分析例(国保 H28~30平均)

市町村別被保険者1人当たり医療費(年齢補正後)

上位3市町村			下位3市町村		
順位	市町村	1人当たり医療費(千円)	順位	市町村	1人当たり医療費(千円)
1	上北山村	522	39	天川村	260
2	柳井村	429	38	天理市	267
3	下北山村	402	37	葛城市	295

市町村格差最大2.0倍

疾病別分析例(国保 H28~30平均)

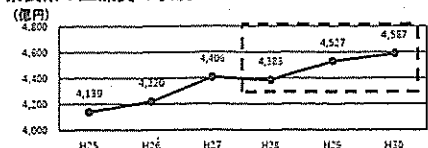
奈良県の医療費の高い疾病

上位6疾病(男性)			上位6疾病(女性)		
順位	疾病名	1人当たり医療費(円)	順位	疾病名	1人当たり医療費(円)
1	心疾患	25,280	1	関節疾患	18,296
2	糖尿病	21,563	2	高血圧症	13,178
3	慢性腎臓病(慢性腎臓病)	18,962	3	糖尿病	12,981
4	高血圧症	14,645	4	統合失調症	12,296
5	統合失調症	13,565	5	胆管異常症(胆管炎)	11,102
6	脳血管疾患	10,312	6	慢性腎臓病(慢性腎臓病)	9,936

1人当たり医療費が大きい疾病や、市町村差が大きい疾病について、要因分析が必要

対前年度増減分析例(県内全医療機関)

奈良県の医療費の状況



H28→H29の伸びは全国第2位、H29→H30の伸びは全国第7位、内訳で見ると内科(入院)の伸びが顕著

要因分析が必要

成果

○奈良県・市町村長サミットにおいて、医療費の地域差(市町村差)、疾病別分析の分析手法を紹介しました。

もっと良くするために

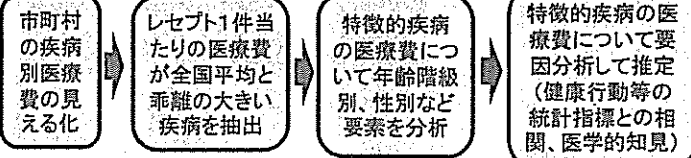
令和5年度の医療費目標

4,813億円(H29 4,745億円)

医療費適正化のため医療費分析をさらに進めます

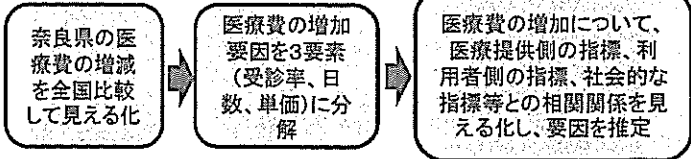
地域差分析 疾病別分析 (全国で先駆的取組)

医療費の地域差や疾病別の要因を明らかにし、地域の実態に即した医療費適正化の取組に活かす。



対前年度増減分析

奈良県の医療費の増減要因を医療の需給双方の観点から明らかにし、効率的な医療費適正化の取組に活かす。



保険者協議会を通じて関係機関と連携した取組、
 残薬・重複・多剤投与の解消や
 後発医薬品使用促進

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
6	—

(95) 県立医大の移転、医大病院施設・外来棟の整備

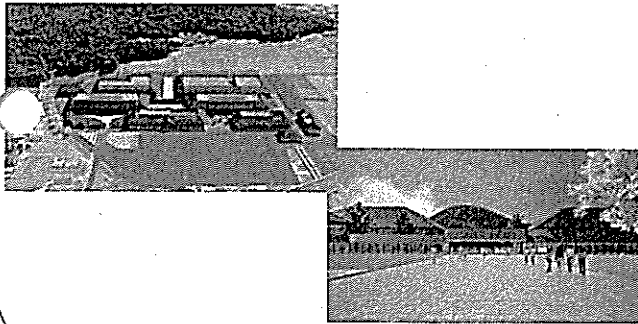
これまで

県立医科大学教育・研究部門を近隣の旧農業研究開発センターへ移転新設を進めています。

○整備コンセプト

- ・藤原京をモチーフとして、奈良への愛着を醸成し、奈良県立医科大学ならではの医学教育を実践する場にふさわしい姿を具体化
- ・現在老朽化が著しい教養教育部門及び看護学科の施設を先行して整備

令和元年度は計画地の文化財発掘調査や都市計画の手続きを実施



整備イメージ

もっと良くするために

新キャンパスの先行分移転(医療看護の教育部門と体育館)は令和6年度完成予定

OR2の主な事業は、文化財発掘調査や造成詳細設計、先行整備分の建築基本設計。令和3年度から造成・建築工事

現キャンパスのA病棟の改装、臨床医学研究棟設備除却、耐震応急対応工事と耐震診断を行います。

新外来棟は新駅設置の有無によって位置が変わるが、新駅設置のための近鉄側の条件は八木西口駅の移設であるため、同駅存廃の方針決定が令和2年度中に行えるよう協議・調整を加速



新キャンパス敷地



新外来棟等附属病院のイメージ図(南側に設置)

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
2,351	—

2,351

—

(96) 西和医療センターの移転・再整備の検討

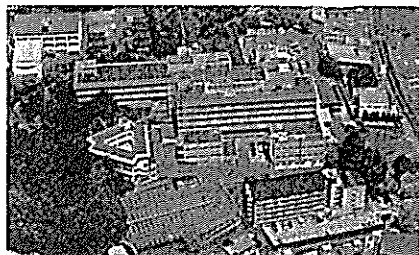
これまで

西和医療センターは、西和地域における中核病院として、循環器疾患や小児科をはじめとする二次救急の受け入れにおいて重要な役割を果たしています。

一方で、建設から約40年経過し、施設の老朽化が進んでおり、高齢化や人口減少が進む中、将来に向けた西和医療センターの機能や運営のあり方について検討していく必要があります。

令和2年度は、前年度に引き続き、県と機構が連携して、西和地域の医療需給分析、西和医療センターに求められる医療機能や施設規模の検討を行っています。

西和医療センター

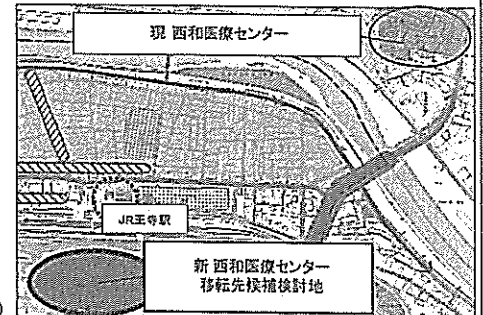


もっと良くするために

西和医療センターの現地での再整備は、病院機能が停止したり大幅な制限が必要になるため、移転も視野に入れた検討を進めます。

西和医療センターのあり方の検討を進めます。令和5年度までに基本計画策定予定

○必要となる機能の検討、関係医療機関との機能調整を行い、令和2年度に新病院の医療機能の決定を行う。



(図面出典: 王寺町地形図を加工)

病院本館南病棟の耐震応急対応のための実施設計を行います。

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
20	—

20

—

17 福祉の充実

(97) 福祉の奈良モデル構築

これまでは

地域で困りごとのある人達とどのように接触し、関係機関・職種とどのように連携するかについて、検討を深めてきました。

成果

○市町村に対する支援プログラムの実施などにより、令和2年3月、新たに6市町村が地域福祉計画を策定しました。

もっと良くするために

福祉の奈良モデルの基本となる考え方は、

- ・困っている人を誰一人排除せず助ける
- ・地域の限られた人的、物的資源を活用してチームで活動する
- ・寄り添い型福祉モデルを構築

福祉の原理を探求し、奈良県が目指す「福祉とは何か」について、検討を進めます。

- 「包括的相談支援体制」のあり方調査を実施し、市町村の総合相談機能の充実を支援
- 地域の課題解決に資する人材の育成と活用を推進するため、市町村のモデル的取組支援や、CSW実践研修を実施
- 市町村の地域福祉計画策定を支援

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
8	—

(100) 出所者の更生保護、就労支援

これまでは

出所者が、社会人として自立するためには、出所後、就業できる場所と定住できる場所が確保されることが重要です。

有識者、関係者で構成する検討会議を平成30年に設置し、県が率先して取り組み始めました。

成果

○令和2年4月、「奈良県更生支援の推進に関する条例」を施行しました。

○令和2年7月、条例に基づき「一般財団法人かがやきホーム」を設立し、9月に2名雇用しました。

もっと良くするために

一般財団法人かがやきホームにおいて、出所者を雇用し、社会的教育や林業研修を実施し、社会復帰に向けた具体的な支援を進めていきます。

「奈良県更生支援の推進に関する条例」に基づいた更なる更生支援施策を実施します。

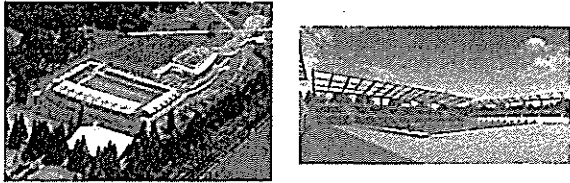
- 法人の設立・運営支援、あり方検討会運営、高齢者や障害者等で福祉的支援を必要とする出所者は「地域生活定着支援センター」が支援
- 保護観察対象者の県直接雇用、シンポジウム開催、協力雇用主へのセミナー開催、資格・免許取得補助

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
66	—

(101) スポーツ施設の整備構想策定

これまでは

スポーツ施設が充分ではない奈良において、次期国民体育大会の開催が迫り、スポーツ拠点施設のあり方検討が必要となってきました。また、プロスポーツのためのスポーツ施設も充分ではありません。



まほろば健康パーク 観客席増設及び屋根設置完成イメージ図

成果

- 令和2年2月、2030年の奈良国体開催に向けて招致意向を表明しました。
- 橿原公苑と橿原運動公園を一体と捉えた新たなスポーツ施設の整備について協議を行うための覚書を橿原市と締結しました。

もっと良くするために

2030年頃の国体の奈良県開催と、その先の将来を見据えて、関係市町村と調整を図りながら、国体主会場となる新たなスポーツ拠点施設の整備について検討を進めます。

○ 検討の内容は施設の機能・規模・配置・交通アクセス・工程・整備主体・手法・民間活用の可能性・財政計画等

- ・ 県内のスポーツ施設の現状を把握し、新しく必要な施設を整備します。
- ・ どのような施設を、どこで整備するかについて、関係者と段階的に協議を進めていきます。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
19	—

大和平野中央プロジェクトの検討

【参考】

- ・ 鉄道駅、京奈和自動車道の順次供用等により、交通アクセスが向上
- ・ 県外等からの企業立地ポテンシャルが高い地域
- ・ 耕作放棄地等の農地の利活用によるプロジェクトを検討

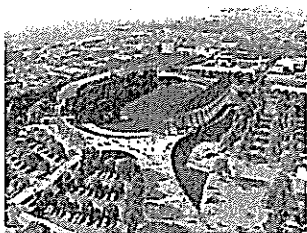
新しい街づくり

○ 大和平野内（農地が広範に広がっている地域）等において、
一団の土地を取得し進めるプロジェクト

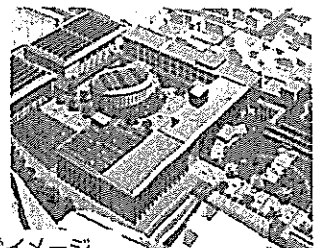
- ・ 国体関係運動施設の整備
- ・ 県立大学理工系学部を設置
- ・ 研究所・工業ゾーンの整備 など



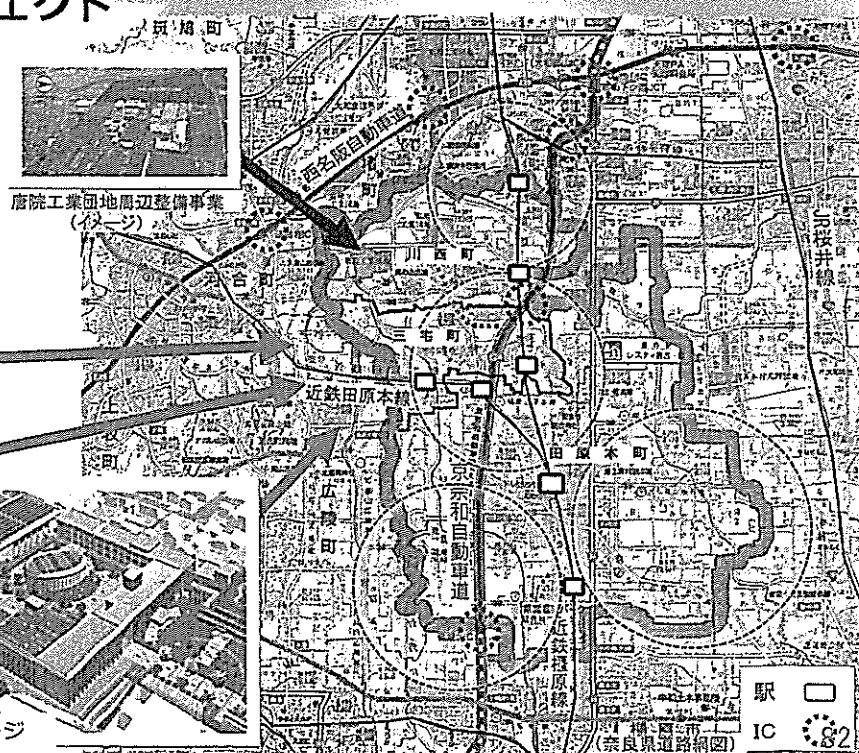
工業ゾーンイメージ



運動公園イメージ
(仮称) 彦根総合運動公園
第1種陸上競技場
建築基本設計(滋賀県)

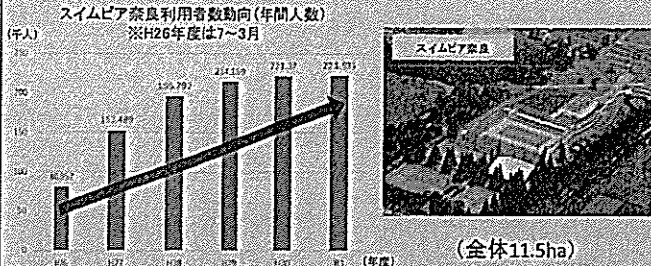


大学イメージ



これまでは

平成26年7月にスイμπピア奈良(県営プール)が開業し人気上昇中です。

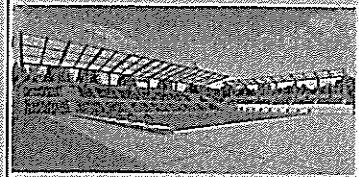


まほろば健康パークに近接して約8.5haの空き地があります。それを活用した公園機能強化の検討をしています。

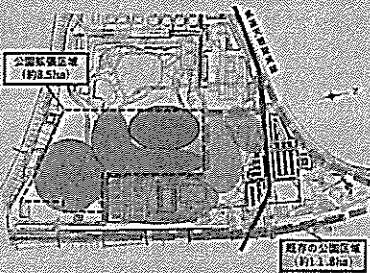


もっと良くするために

国際大会や全国大会等の招致も視野に入れ、令和3年夏の供用に向け、「スイμπピア奈良」50m屋外プールの観客席増設や屋根の整備等を進めます。(令和3年6月竣工予定)



拡大区域の機能強化について、令和3年度に基本計画を策定します。基本コンセプトは「子どもが憩い楽しみ、遊びや運動を通して成長する公園」としています。



PFI手法により、健康増進施設、競技施設、管理等施設及び公園機能を一体的に運営します。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
780	—

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

19 教育の振興

- (104) 県立大学の教育の充実
- (105) 県立大学附属高校の設立
- (106) 県立医大教育の充実 県立医大教育将来像の深化
- (107) 県と大学との連携、県立大学・県立医大と他大学との連携強化
- (108) 県立高校教育の充実
- (109) 実学教育の充実、インターシップの推進
- (110) 就学前教育の充実
- (111) 私学の振興
- (112) 教育ICTの推進
- ★(113) 第2期奈良県教育振興大綱の策定

20 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興

- (114) 文化財の保存と活用
- (115) 文化財防災対策の構築
- (116) 文化振興条例の制定
- (117) 文化クラスター事業・日本博事業への参加
- (118) 記紀万葉プロジェクトのこれから
- ★(119) 飛鳥・藤原の世界遺産登録
- (120) なら歴史芸術文化村の活用策の検討

21 海外との交流展開

- (121) 東アジア地方政府会合の充実発展
- (122) 既交流団体との交流強化、新たな交流団体との提携
- (123) 奈良の仏像、文化財の海外展示のこれから

(104) 県立大学の教育の充実

これまでは

教育環境充実を進めています。

- 「少人数対話型教育(コモンズ制)」を導入し、地域に貢献できるすぐれた人材を育成
- 国内外における「フィールドワーク」先を充実させ、地域課題に主体的に取り組む人材を育成
- 海外大学との交流を進め(協定締結 平成27年度:9校 →令和元年度:17校)、学生の留学経験者の増加を図り、教育及び学術研究交流の一層の推進を加速
- 学生が希望する進路実現のためキャリアサポートを充実し、高い就職率を維持
- 「施設整備基本計画」に基づき「コモンズ棟」等を整備
- 「奈良県立大学シニアカレッジ」を実施し、県民へ学び直しの機会を提供

成果

- コモンズ棟が竣工しました(令和2年8月)。



コモンズ棟(令和2年8月竣工)

もっと良くするために

第2期中期目標(令和3~8年度)の策定

- 地域のニーズを踏まえた新学部(工学系)の設置を検討します。
- 新設する附属高校との高度な高大接続を推進します。

県立大学の整備

- 附属高校の設置、学生の就学環境の改善等に対応するため、「県立大学整備基本計画」の見直しを行います。

少人数対話型教育(コモンズ制)の推進、東アジア・サマースクール、学生の海外留学支援、高等教育の無償化



施設整備基本計画に基づく整備イメージ(見直し中)

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
476	31

(105) 県立大学附属高校の設立

これまでは

県立大学附属高校の設立のための検討を重ねてきました。

- 県立大学の「建学の精神」を踏まえ、附属高校の教育の理念や柱について検討してきました。
- 大学や社会への円滑な移行を視野に、県立大学教員による講義科目の設置など高大連携や、高校から大学そして社会へ至る接続の仕組みなどについて検討してきました。
- 設置にかかる手続きなどの準備業務や施設整備、附属高校の組織、財政などについて確認してきました。

もっと良くするために

令和4年4月に県立大学附属高校を開校します。

奈良県立大学附属高校の教育

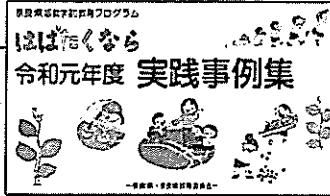
- ・奈良県立大学の建学の精神「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」を踏まえ、附属高校では「自立した個人として他者や社会に貢献し、何事にも挑戦する」姿勢を持つ、未来社会を切り拓く人材を育成します。
- 県立大学教員による講義等の実施や、ゼミ科目など県立大学講義科目を選択履修するなど、県立大学が持つ知見等のリソースを有効活用したシームレスな高大接続を可能とするカリキュラムや仕組みを検討しています。
- 大学受験を意識しない7年間(高校3年間+大学4年間)を見通した教育を念頭に、附属高校では社会人として求められる基礎的な資質・能力を育成し、大学教育へと繋げます。
- 現・奈良県立西の京高等学校の校地に開校し、設置学科は県内初の「探究科」の単科、クラス数は1学年5クラス(200名)を予定しています。
- 卒業生のうち、50名程度は県立大学へ推薦。残り約150名のうち希望する生徒については、他大学への推薦枠を活用し、一般入試無しでの大学進学を実現します。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
74	—

(110) 就学前教育の充実

これまで

施設類型に関わらず、すべての施設において質の高い就学前教育を実施するため、就学前教育要領として策定された「はばたくなら」の普及を進めています。



成果

- 有識者、保育所・幼稚園代表者等で構成される「奈良県就学前教育関係者協議会」で「はばたくなら」の普及・活用促進や人材育成の方策について議論しました
- 「はばたくなら」実践事例集を作成しました。
- 施設類型を超えた一体的な研修を実施し、人材育成に取り組みました。

もっと良くするために

「(仮称)奈良っ子はぐくみ基本方針」の策定を検討します。

○就学前の子どもをどのような環境で、どのようにはぐくんでいくのか、就学前教育の理念と展開方策について、関係者全員で共通の意識を持つため、「(仮称)奈良っ子はぐくみ基本方針」の策定を検討します。

「奈良っ子はぐくみプロジェクト」を展開します。

○ツールの作成

・毎年継続して実践事例を紹介、普及啓発誌の発行等

○人材育成

・音感受等の「表現活動」をテーマにした研修の強化等

○多様な場ではぐくみの展開

・まほろば健康パークの機能強化の検討

・なら歴史芸術文化村における「遊び」をテーマとした幼児向けアートプログラム

・県内小学校区に
こども食堂を設置

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
21	—

87

(113) 第2期奈良県教育振興大綱の策定

新規テーマ

これまで

教育の振興に関する総合的な方針である「教育振興大綱」を地方公共団体の長が定めることができるようになりました。

- 奈良県総合教育会議を開催し、知事と教育委員会が教育に関する協議を行ってきました。
- 県と市町村が協働して教育施策を推進するため、奈良県教育サミットを開催し、市町村長・市町村教育長と情報共有・意見交換を行ってきました。
- 本県教育の現状と課題を分析し、平成28年3月に「第1期奈良県教育振興大綱」を策定しました。



奈良県総合教育会議



奈良県教育サミット

成果

- 第2期奈良県教育振興大綱の策定に向けた勉強会をこれまで計8回開催しました。

もっと良くするために

本県教育の目指す方向性を示す「第2期奈良県教育振興大綱」(令和3年度から令和6年度まで)を令和2年度に策定します。

○大綱の内容を一層充実させるため、教育の各分野の有識者と勉強会を実施します。

○本県教育の目指す方向性(人物像)を「(仮)生涯学び続け地域で活躍する人材」と位置づけ、5つのテーマ毎に施策の方針を示します。

【(仮)テーマ】

1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ
4. 地域と協働して活躍する人を育てる
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる



勉強会

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
4	—

88

これまでは

平成19年1月 「暫定一覧表」に記載
 平成19年～令和元年 推薦書(素案)作成
 ・世界遺産に登録に必要な環境整備と推薦書内容の検討

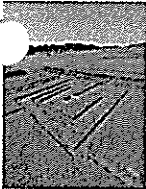
成果

○令和2年3月 文化庁へ推薦書(素案)を提出
 令和2年以降の国内推薦候補への選定へ立候補しました。

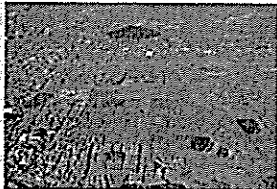
「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産

(合計20資産)

飛鳥宮跡、飛鳥京跡苑池、飛鳥水落遺跡、酒船石遺跡、飛鳥寺跡、橘寺跡(橘寺境内)、山田寺跡、川原寺跡、檜隈寺跡、石舞台古墳、菖蒲池古墳、牽牛子塚古墳、藤原宮跡・藤原京朱雀大路跡、大和三山(香具山・畝傍山・耳成山)、大官大寺跡、本薬師寺跡、天武・持統天皇陵古墳、中尾山古墳、キトラ古墳、高松塚古墳



飛鳥宮跡(明日香村)



藤原宮跡・藤原京朱雀大路跡(橿原市)



山田寺跡(桜井市)

もっと良くするために

令和6年度に「飛鳥・藤原」の世界遺産登録を目指します。

○世界遺産ジャーナルの発刊

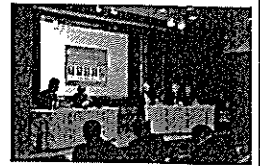
・世界遺産への理解促進、登録への機運醸成をはかります

○世界遺産への登録推進

・世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会(県・橿原市・桜井市・明日香村)による登録事業の推進
 ・推薦書(素案)や包括的保存管理計画(素案)の磨き上げ

- ・国内外専門家の意見聴取
- ・関係機関との調整
- ・普及啓発

・「飛鳥・藤原」を学ぶ講演会の開催



講演会(世界遺産フォーラム)

■目標スケジュール

- 令和4年度 国内推薦候補に選定
- 令和5年度 イコモス現地調査
- 令和6年度 世界遺産登録審議・登録決定

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
6	—

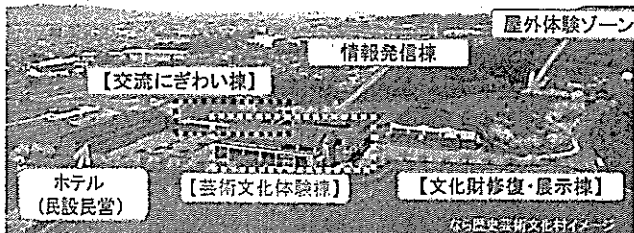
(120) なら歴史芸術文化村の活用策の検討

これまでは

なら歴史芸術文化村は、令和4年3月の開村を目指しています。

これまでの取組>

- 平成26年度
 - ・創設構想の公表
- 平成27年度
 - ・整備基本構想を策定(施設コンセプト、機能等)
- 平成28年度
 - ・整備基本計画を策定(施設機能、規模、整備工程等)
- 平成29年度
 - ・造成工事に着手
- 平成30年度
 - ・建築工事に着手
 - ・国の重点「道の駅」に選定
- 令和元年度
 - ・ホテル(フェアフィールド・バイ・マリオット)が進出を決定
 - ・施設の地下構造物の変動発生(工程を見直し、工事を実施中)



屋外体験ゾーン

情報発信棟

【交流にぎわい棟】

ホテル(民設民営)

【芸術文化体験棟】

【文化財修復・展示棟】

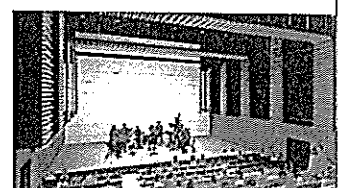
なら歴史芸術文化村イメージ

もっと良くするために

なら歴史芸術文化村の整備を進め、全国でも先駆的な歴史芸術文化活動の拠点とするため、活用策を精査・検討します。



文化財展示室イメージ



ホールイメージ

活用策と運営の取組

- 奈良が誇る歴史文化資源に触れ、また、質の高い文化芸術イベントを体験。
- 観光・産業振興等の取組と連携。
- この施設を核に、様々な取組が広がるよう、有識者や関係者などの意見を聴きながら、施設の運営や活用策について検討を進めています。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
3,034	—

VII 豊かな「都」をつくる

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、森林を
護る施策を進める～

22 農業・農地・農村・ 食と農の振興

- (124) 特定農業振興ゾーンの整備
- (125) 農地マネジメントの推進
- (126) 中央卸売市場の再整備
- (127) NAFIC教育の充実と周辺
の整備
- (128) 奈良県豊かな食と農の振興
条例の制定
- (129) 食品ロス削減への対応

23 畜産・水産業振興

- (130) 食肉畜産業の振興・食肉公社
の運営
- (131) みつえ高原牧場の整備
- (132) 内水産業の振興

24 森林環境管理・林業 振興

- (133) 新たな森林環境管理制度の
構築
- (134) 森林防災体制の充実
- (135) 奈良県フォレスター制度の
確立、フォレスターアカデミー
の設置
- (136) 奈良県産材の安定供給及び
利用の促進、奈良の木プラン
戦略

(125) 農地マネジメントの推進

これまでは

奈良県の耕作放棄地率は近畿でトップ、全国でも
ワースト10位。放棄地解消に向けた取組が急務

耕作放棄地について農業委員会の調査が不十分

農林業センサス(2015)では県内耕地面積17,143ha、うち耕作放棄地3,633ha(21.2%)、農業委員会調査では1,255ha(7.3%)。

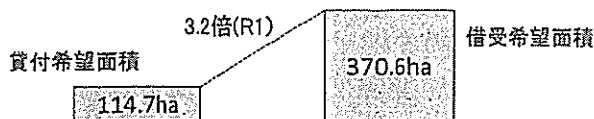
放棄地解消等のため、農地の出し手と受け手のマッチング
による農地集積等を推進してきました。

耕作放棄地解消等に向けた手順

- 再生可能な放棄地 → 耕作する。サポセンに預ける
(サポセンに貸付意向を示さない場合、固定資産税の重課措置(1.8倍)有)
- 再生利用困難な放棄地 → 速やかに非農地判断、農地から除外

※サポセン:なら担い手・農地サポートセンター(農地中間管理機構)の略

借受希望面積が、貸付希望面積を大きく超過



成果

- サポセンのマッチング面積は、年々増加し累計548.2haになりました。
- 470集落が人・農地プラン実質化の目標を設定しました。

もっと良くするために

手順を踏んだ農地マネジメントを進めます。

- 耕作放棄地について農業委員会の調査が実態に合う
よう適切に実施
- 農業委員会は農地所有者に対し、「耕作放棄地を再生し耕作する」「サポセンに預ける」等を働きかける。
- どちらもしない農地には重課措置をとる。
- 既に森林化しているような農地は速やかに非農地判断を行い、農地から除外
- 農業者の話し合いに基づく地域の中心経営体と地域農業の将来の在り方などを明確化した「実質化した人・農地プラン」を作成する。

担い手への農地集積を図ります。

- 担い手への農地集積
- 耕作放棄地再生を行う担い手への補助
- 重課制度活用を含め農地利用活動を行う農業委員会等への補助

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
138	—

* (124)と重複あり

(126) 中央卸売市場の再整備

これまでは

中央卸売市場の老朽化・再整備の必要性に対応するため「奈良県中央卸売市場再整備基本計画」を策定しました。(令和元年9月)

【中央卸売市場再整備イメージ】

市場棟

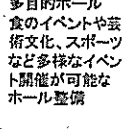
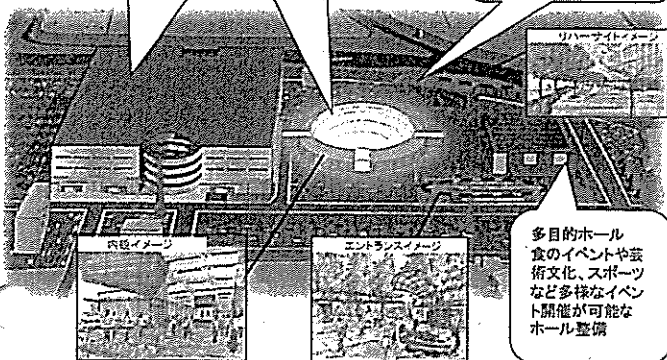
卸売機能の効率化・高機能化(市場の基本的機能の強化と付加価値機能の追加)

フードホール・子ども広場

眺めの良い川辺を活かしたフードホールの整備
子ども専用食堂、子どもの遊び場の併設

宿泊施設

法隆寺、西の京、まほろば健康パーク等に近接した立地を活かした眺望の良い宿泊施設の整備



多目的ホール
食のイベントや芸術文化、スポーツなど多様なイベント開催が可能なホール整備

○各施設の整備と運営にあたっては、できる限り民間活力(PFI事業等)の導入を行う。

成果

○市場北側買収予定地の境界を確定しました。

もっと良くするために

卸売機能(BtoB)の効率化、高機能化に加え、賑わい創出機能(BtoC)の整備により、市場の立地や歴史を活かした「食とともに文化・スポーツを楽しむ」華やかで賑わいのある複合拠点の整備を図ります。

スケジュール

令和2年度 市場施設・設備等の整備検討
市場エリアの事業者公募
賑わいエリアのレイアウト等の検討
現市場敷地の測量、用地買収 等

令和3年度以降 設計・工事

令和9年度 市場エリア完成(予定)

令和10年度 賑わいエリア完成(予定)



フードホール・イーターエリア(イメージ)



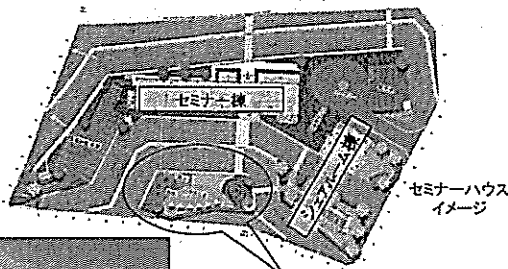
多目的ホール(イメージ)

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
352	—

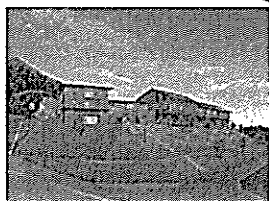
(127) NAFIC教育の充実と周辺の整備

これまでは

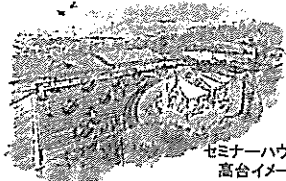
NAFIC附属レストランとホテルは中和の新しい観光施設として定着してきました。
さらに、その上段部のセミナーハウスの造成工事に取り組みました。今年度に建築工事着手し、令和4年度供用開始予定で整備を進めています。



セミナーハウスイメージ



セミナーハウス平面図



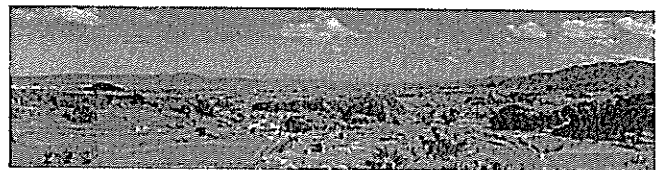
セミナーハウス高台イメージ

成果

○セミナーハウスの設計業務が完了し、建築工事の入札を実施しました。

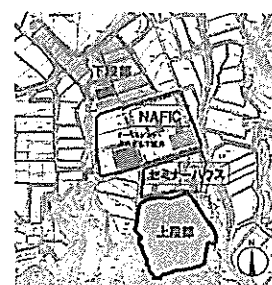
もっと良くするために

- 令和4年度供用開始を目指し、NAFIC附属セミナーハウスを整備します。
- セミナーハウスの上段部の眺望の良い景観を活かし、民間活力を活用した集客施設の整備を検討します。



セミナーハウス上段部からの眺望

○ NAFIC下段部の賑わいづくりの検討も進めます。
○ NAFIC開校後4年が経過して見えてきた課題に対応するため、カリキュラム等の見直しを検討します。



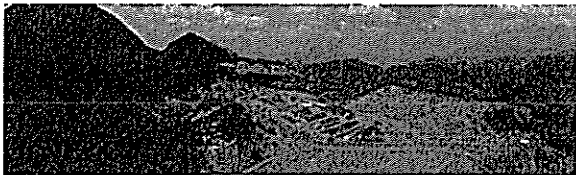
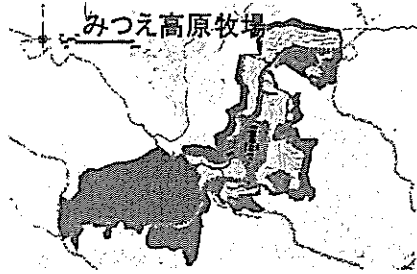
賑わいづくり位置関係図

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
162	—

(131) みつえ高原牧場の整備

これまで

- 開場以来、約1,500頭の優良和牛の素牛を生産し畜産農家に供給
- 今後の畜産振興に活かしていくため、未利用地の活用方法を検討
- 東部地域の活性化のため、御杖村と「まちづくりに関する包括協定」を締結



みつえ高原牧場(1期用地)

成果

- 畜産団地の水源調査を開始しました。

もっと良くするために

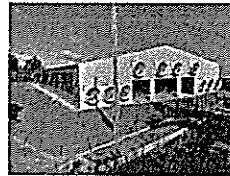
- これまでの「優良和牛の素牛の供給・繁殖技術の研究」、「乳牛の育成場所の提供」の役割に「県内産大和牛の生産・育成拠点」、「地域の観光交流拠点」を加えて整備する

- 令和7年度 生産拠点(畜産団地)一部オープン予定
令和12年度 フルオープン予定

- 大和牛のブランド化にあたり、「生産(出荷)目標1,000頭以上」とし、「東京市場への出荷」を行い、「大和牛ブランド基準の整理」を図る

ブランド基準は、「県内農場で育成」・「肉質」・「出荷先」等

- 令和2年度は畜産団地に必要な用水を確保するための水源調査を実施し、農家との協議を進める。



畜産団地の牛舎(イメージ)

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
13	—

竹田公利 北もやっている。

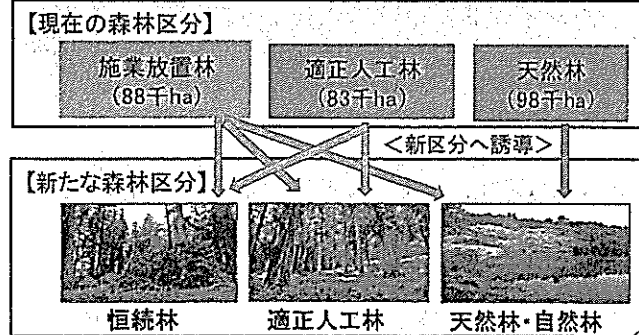
24 森林環境管理・林業振興

(133) 新たな森林環境管理制度の構築

これまで

スイスの森林環境管理制度を参考に、奈良県では森林の4機能である「森林資源生産・防災・生物多様性保全・レクリエーション」を一元的に管理する新たな森林環境管理制度の検討を重ねてきました。

スイスの森林を参考とした新たな森林区分の設定



成果

- 「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例」及び「奈良県県産材の安定供給及び利用の促進に関する条例」を制定しました。(令和2年4月1日施行)

もっと良くするために

森林環境管理制度の運用、体制構築、人材育成のための事業を進めます。

<制度の内容と特徴>

- ① 恒続林を中心とした新たな森林区分へ誘導します。
- ② 地域の森林環境管理を担う奈良県フォレスターを配置します。
- ③ フォレスターを養成する奈良県フォレスターアカデミーを設置します。(令和3年度開校)

- 制度運用
- 条例の周知・運用
 - 生物多様性指標の検討

- 体制構築
- フォレスター業務に係る市町村との調整
 - リース林業教育センター実習生の受入準備
 - 県有林恒続林化モデル事業の実施

- 人材育成
- フォレスターアカデミーへの総合アドバイス委託
 - フォレスターアカデミーの開校準備

- 調査
- 施業地調査
 - 針広混交林化調査

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
341	—

* (134)、(135)と重複あり

(135) 奈良県フォレスター制度の確立、フォレスターアカデミーの設置

これまでは

森林を護る人材の確保が必要となっています。

スイスではフォレスターと森林作業員がどちらも国家資格となっており、実践と応用を重視した教育システムで即戦力となる人材が育成されています。

スイス・リース林業教育センターと交流してスイスの森林管理制度を学ぶことができました。

スイス・リース林業教育センターとの友好提携



スイスでの講習に職員を派遣



スイスからの実習生を受入



成果

○「奈良県フォレスターアカデミー条例」を制定しました。
(令和3年4月1日施行)

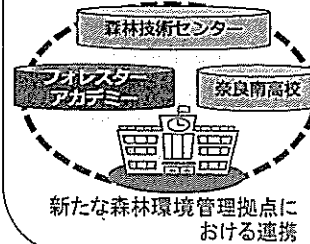
もっと良くするために

奈良県フォレスターアカデミーを令和3年4月開校。

- 地域の森林管理を指導する「奈良県森林環境管理士」(2年制)と森づくりを実践する「奈良県森林環境管理作業士」(1年制)を養成。
- 県職員採用試験(森林管理職)の合格者(5名程)をフォレスターアカデミー(2年制)へ入学させ、卒業後、奈良県フォレスターに任命。

フォレスターアカデミーの開校準備をします。

- ・現吉野高校舎の改修・カリキュラム実施に必要な高性能林業機械(ハーベスタ)等の導入
- ・フォレスターアカデミーと連携する新たな森林環境管理拠点の整備に向けた吉野高等学校活用計画の策定



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
306	—

* (133)、(134)と重複あり

VIII 誇らしい「都」をつくる

～交流、定住の促進により、南部地域・東部地域を、頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる地域にする～

25 南部・東部の振興

(137) 南部・東部の振興

(137) 南部・東部の振興

これまでは

交流の促進と定住の促進を基本として施策を進めてきました。

〔交流の促進(訪れてみたくなる地域づくり)〕

＜情報の発信＞

- ・大手旅行雑誌等への広報
旅行雑誌「じゃらん」全国版への広告掲載
- ・大手百貨店との連携プロモーション
阪神百貨店において、奥大和地域で活動するクリエイターの作品を展示・販売 (R2中止)

＜訪れて、体験してもらう＞

- ・奥大和の特色を活かしたイベント事業
・弘法大師の道を活用したトレイルランニングレース(R2大会中止)
・温泉街の雰囲気にも調和した「音楽祭」の開催



トレイルランニングレース



音楽祭

- ・奥大和の特色を活かした旅行プランの造成
・JR西日本・近鉄と連携し、個人旅行宿泊プランを造成

〔定住の促進(住み続けられる地域づくり)〕

＜暮らしやすくする＞

- ・奥大和地域の市町村と連携し、地域に寄り添いながら住民の健康を見守る「コミュニティナース」の導入等を推進
・奥大和コミュニティナース養成講座を実施



コミュニティナース

＜移り住んでもらう＞

- ・移住、二拠点居住及び定住に向けた活動
・奥大和19市町村と連携し、移住相談体制、地域受入体制、移住者拠点施設等を整備
・移住体験住宅のモデルプランを作成

- ・起業家等が「集まる」「つながる」「育つ」小規模多機能な拠点づくりを推進

- ・奥大和移住定住交流センターengawaに実験店舗を設置し、複合施設(イベント、展示、ショップ販売、マッチング、移住相談、人材育成等)の実証実験を実施



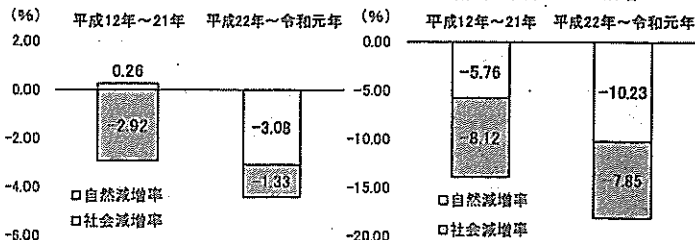
engawa

(137) 南部・東部の振興

これまでは

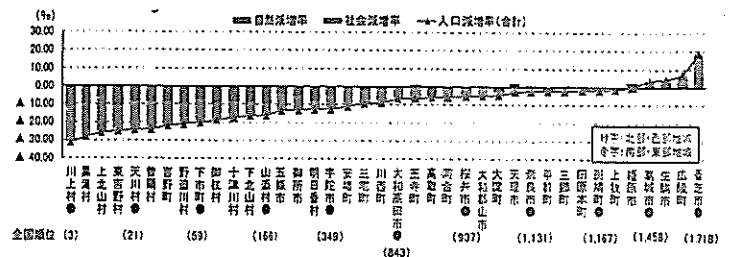
過去20年間の南部・東部の人口減少は、奈良県の中でも際立っていました。この10年間は自然減の減少率増加(出生数の低下から明らか)。

奈良県全体の人口減増



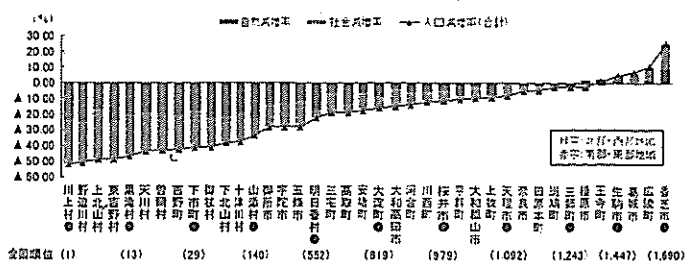
過去10年ごとの社会減、自然減を市町村ごとに比較

各市町村の人口減増率(平成12年～21年)

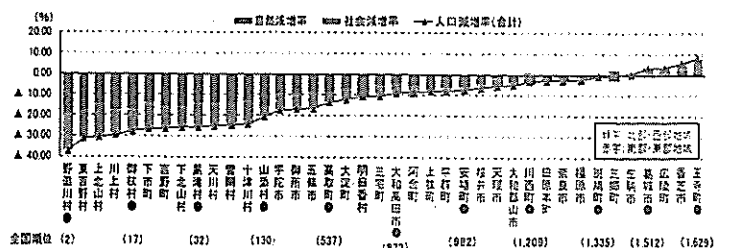


過去20年間の人口減少率の最も高いところは▲51.55%(川上村)、低いところでも▲16.14(大淀町)

過去20年間の人口減少率



(平成22年～令和元年)



(137) 南部・東部の振興

もっと良くするために

「頻繁に訪れてもらえる地域になる(交流の促進)」、「住み続けられる地域になる(定住の促進)」ことを目指し、関係人口の創出や雇用の創造などの取組を引き続き実施
 さらに、若者の流出抑制と流入促進を図るため、「働く拠点」づくり、「訪れる拠点」づくりの実現に向け取り組むとともに、これらの拠点や奥大和地域で活躍する「人材の育成」などに取り組みます。

○令和3年度からの「南部東部振興基本計画」を策定

拠点の形成

○宿泊観光を核とした拠点づくり

- ・コロナで打撃を受けた観光需要を喚起するイベントの開催
- ・奥大和とつながりを生む交流イベントの開催
- ・奥大和地域をフィールドとした体験型ツアーの実施
- ・市町村や地域団体と連携した誘客度の高いイベントの開催
- ・映像を活用した魅力発信
- ・鉄道事業者と連携した魅力発信 等

○スポーツを核とした拠点づくり

- ・「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングイベント(大会中止)
- ・関係人口創出を目的とした(仮)トレイルツアーの実施
- ・県内サッカークラブと連携したサッカーイベントの開催

○「集まる・育てる・つながる」拠点づくり

- ・奥大和地域で作られる家具等を販売する実店舗展開に向けた調査、検討、仕組みづくりの実施
- ・移住・定住、二地域居住を推進するための拠点施設整備を行う市町村への補助 等

○南部地域のゲートウェイとなる拠点づくり

- ・ホテル界のリニューアルと近隣での新しい宿泊施設の誘致を検討(十津川村)
- ・スポーツ合宿誘致を中心とした拠点(下北山村)

○東部地域における拠点づくりの検討

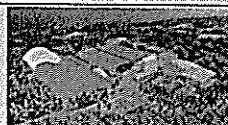
- ・宇陀市等に地域が誇りをもてる拠点整備を検討



オフィスキャンプ東吉野



下北山BIYORI



スポーツ合宿誘致を中心とした拠点(イメージ)

(137) 南部・東部の振興

もっと良くするために

人材の育成

○宿泊観光を担う人材の育成

- ・持続可能な宿泊施設経営に向けた研修会の実施

○スポーツを担う人材の育成

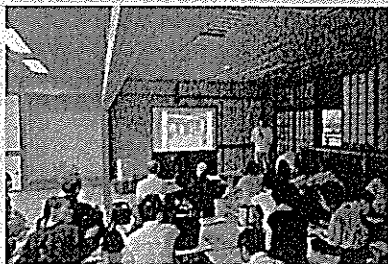
- ・「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングイベントの開催(大会中止)
- ・関係人口創出を目的とした(仮)トレイルツアーの実施
- ・県内サッカークラブと連携したサッカーイベントの開催

○「医療・福祉」に関わる人材の育成

- ・コミュニティナースの育成に係る講座等の実施

○「集まる・育てる・つながる」人材の育成

- ・奥大和での持続可能な地域づくりを学ぶ講座の開催
- ・奥大和地域で活躍する人材を育成する講座の開催
- ・県と奥大和地域19市町村で構成する「奥大和移住・定住連携協議会」において移住・定住に関する情報発信を実施
- ・移住や二地域住居を促進する取組を行う地域受入協議会を支援する市町村への補助 等



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
221	50

IX 爽やかな「都」をつくる

～奈良が持つ行政資源を総動員し、効率的・効果的な行財政マネジメントを行い、行き届いた行政サービスを届ける～

26 奈良モデルの実行

- (138) 市町村と連携したまちづくりの推進
- (139) まちづくり協定の進捗状況と支援の状況
- (140) JR新駅周辺のまちづくり
- (141) 近鉄郡山駅周辺のまちづくり
- (142) 県立医科大学周辺のまちづくり
- (143) 奈良県総合医療センター跡地のまちづくり
- ★(144) 王寺駅周辺のまちづくり
- (145) 県域水道ファシリティ・マネジメント
- (146) ごみ処理広域化奈良モデル
- (147) 市町村財政健全化・財政支援の検討

27 行政マネジメント

- (148) 県庁版働き方改革の実行
- (149) 県有施設の耐震整備
- (150) 県有資産のファシリティ
マネジメント(維持、管理、活用)
- (151) 研究勉強活動の充実強化
- ★(152) 地域デジタル化の推進

28 財政マネジメント

- (153) 県財政中長期運用方針
- (154) 県債の管理
- (155) 税徴収率向上、適正課税推進、
税偏在是正

26 奈良モデルの実行

(138) 市町村と連携したまちづくりの推進

これまでは

市町村と連携したまちづくりを進めてきました。

3段階のプロセス 【R2.2.1時点】

包括協定(市町村別)
「基本構想」の検討
段階

→

基本協定(地区別)
「基本計画」の検討
段階

→

個別協定(事業別)
「個別事業」の実施
段階

包括協定締結
27市町村 55地区

基本協定締結
35地区

個別協定締結
31事業

成果 各種協定締結が進みました。 【令和2年9月1日時点】

27市町村 55地区

36地区


33事業

○財政支援


〈財政支援の例〉

- ・ハード事業:市町村の公債費のうち、地方交付税算入額を差し引いた額の1/4
- ・ソフト事業:市町村負担額の1/2
- ・まちづくり基本構想・基本計画・立地適正化計画:市町村負担額の1/2
- ・県有資産の貸付・譲渡:現行の減額基準を20%かさあげ

○まちづくりの支援の例



三輪山線整備イメージ
(桜井市大神社参道周辺地区)



桜井市新行倉内地域交流センター整備イメージ
(桜井市中和幹線駅近隣周辺地区)



もっと良くするために

引き続き市町村と連携してまちづくりを推進するとともに、協働まちづくりの検討を深め、新しいまちづくりの対象を検討します。

○新しいまちづくり検討例

- ・JR万葉まほろば線などの駅施設を活用したまちづくり
- ・未活用の市町村有地を活用したまちづくり
- ・県有地、県有施設を活用したまちづくり

まちづくりの進め方について、「目的別(6分類)」「手法別(10分類)」で分類し共通のやり方を検討します。

手法	駅前	参道	庁舎等公共施設	...
目的	駅前 鉄道駅 周辺開発	参道	庁舎等公共施設 公有地 活用	
玄関口の 賑わい創出		法隆寺及び JR法隆寺駅周辺地区 等		
観光力の 向上	天理駅前広場コワーキング	参道 活性化	五島町新庁舎建設イメージ	
くらしやすい まちづくり	奈良公園周辺地区 等	大和神社参道周辺地区 等	公営住宅 活用	
	賑わい拠点 づくり			
	阪井駅前エルト			

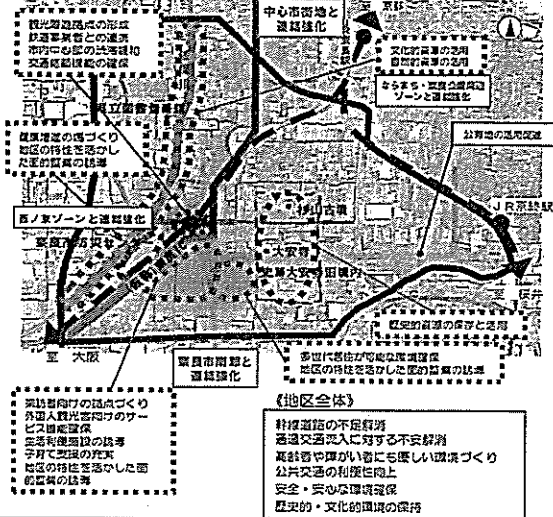
令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
236	-

(140) JR新駅周辺のまちづくり

これまで

JR新駅周辺(八条・大安寺周辺地区)の整備構想の検討を行っています。

まちづくり基本構想図
(奈良市とのまちづくり連携協定)



成果

○有識者と県・市職員で構成する「AIタウン特別検討会」を開催し、コンセプトの検討等を行いました。

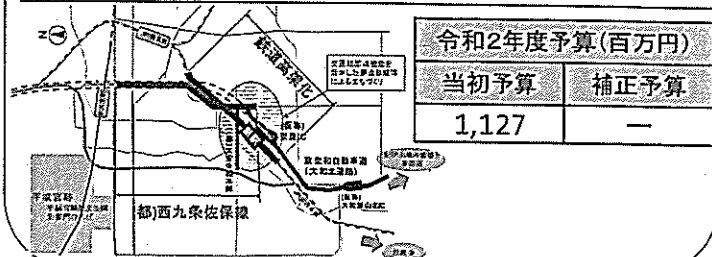
もっと良くするために

- AIタウンにおいて提供する具体的な都市サービスを検討します。
- 令和3年度にまちづくり基本計画を策定、令和4年度にAIタウン事業計画を策定します。

〈都市サービスの例〉

- 観光客向けのキャッシュレスサービス
 - ・ホテルのチェックイン、部屋の施錠、買い物、テーマパークへの入場等をすべて顔認証で完結させるサービスの提供
- MaaS
 - ・出発地から目的地まで、公共交通、タクシー、駐車場、自転車等の一気通貫サービス(MaaS)の提供

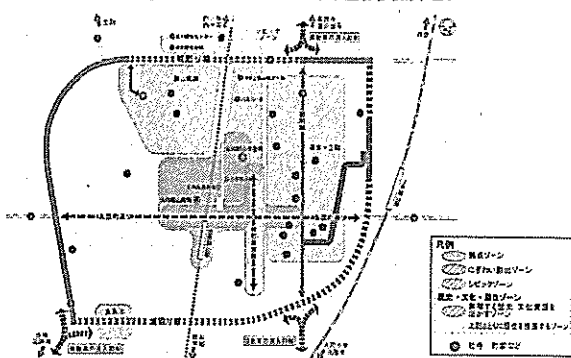
- 京奈和自動車道大和北道路(仮称)奈良インターチェンジから奈良市中心市街地を結ぶ西九条佐保線、JR関西本線等の整備
- 奈良市によるJR新駅西口駅前広場整備事業(用地買収等)への支援



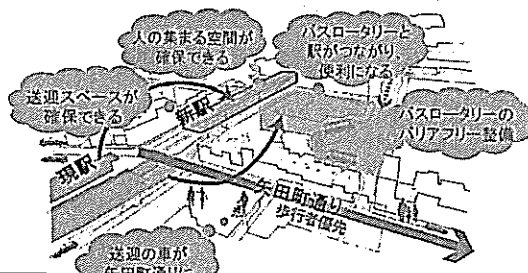
(141) 近鉄郡山駅周辺のまちづくり

これまで

近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本構想図
(大和郡山市とのまちづくり連携協定)



まちづくり基本計画を策定しました。



成果

○新駅西側の交通ネットワーク検討の実施に向けて、大和郡山市と個別協定の締結を進めています。

もっと良くするために

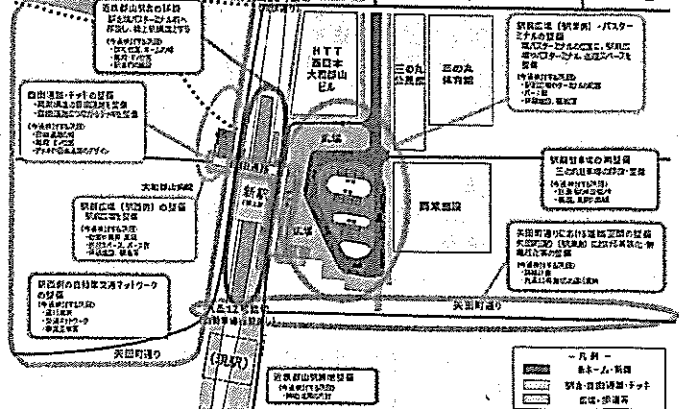
鉄道事業者との令和2年度、概略設計、事業費算出の調整を進め、令和3年度当初の県、市、近鉄3者協定締結を目指します。

令和4年度の都市計画決定、令和5年度の新規事業化を目指します。

- 令和2年度内の九条12号踏切の踏切道改良計画策定に向け、

駅舎移設に伴う自由通路の概算事業費算出

- まちづくり連携協定に基づく、近鉄郡山駅周辺整備事業(駅前広場(駅東側)整備検討業務)等に対する補助



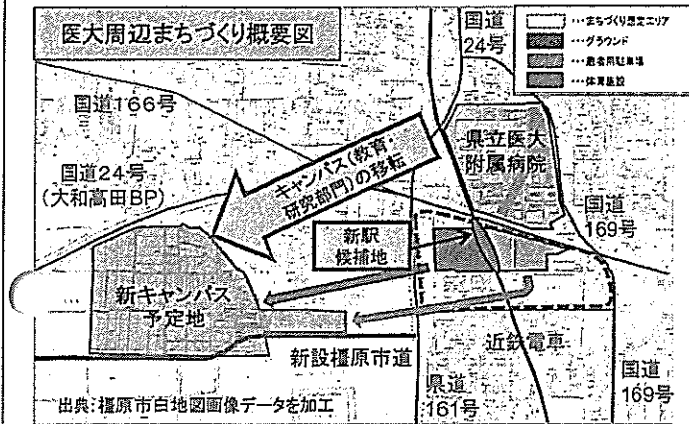
令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
16	—

(142) 県立医科大学周辺のまちづくり

これまで

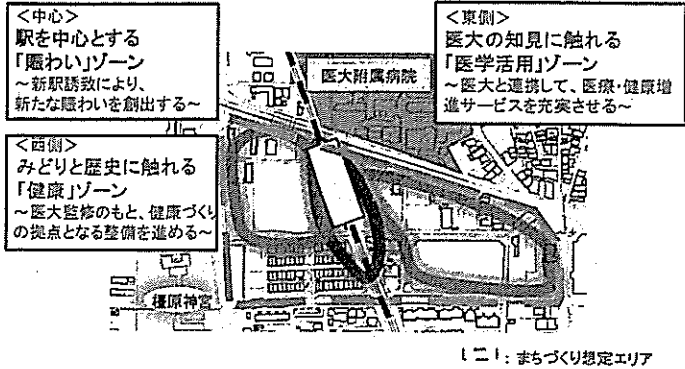
医大附属病院周辺に新駅を誘致し、「医大隣接の利点を活かした新駅設置による賑わいのある健康増進のまち」を目指し、橿原市と協働して基本構想の作成を進めています。

県立医科大学周辺のまちづくり構想



もっと良くするために

「健康増進の拠点となるまちづくり」、「地域住民・来訪者が、健康について学び、実践し、歴史を身近に楽しく交流する賑わいのあるまちづくり」を基本コンセプト(案)として、各ゾーンの整備方針を検討しています。



新駅設置のための近鉄側の条件は八木西口駅移設であるため、今年度中に八木西口駅存廃の方針決定が行えるよう協議・調整を加速します。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
833	—

(144) 王寺駅周辺のまちづくり

新規テーマ

これまで

○県と王寺町は協働で「王寺駅周辺地区」のまちづくりについて、検討を進めています。

平成28年8月 まちづくり包括協定締結
平成30年5月 まちづくり基本協定締結
[まちづくりのコンセプト]
西和地域の中核となる拠点機能の強化

○西和医療センターの移転・再整備を検討しています。
西和地域の中核病院である西和医療センターは施設の老朽化が進んでおり、将来の病院のあり方や移転・再整備について、検討を進めています。

移転先候補検討地: JR王寺駅南側

○大和川の洪水対策を進めています。

・大和川流域の直轄遊水地の整備を推進
・市町と連携し、内水による床上・床下浸水被害を解消するための貯留施設等を整備

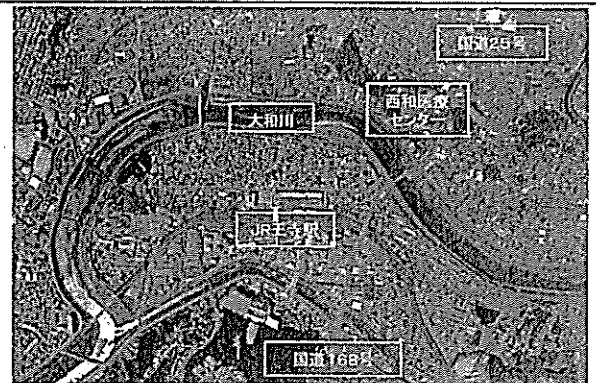
○骨格幹線道路ネットワークの形成や渋滞対策、および通学をはじめとする生活道路の安全安心の確保に資する道路整備などを進めています。

・国道25号斑鳩バイパス、国道168号王寺道路、県道椿井王寺線 等

など

もっと良くするために

広域的な課題について、県と西和7町(平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、上牧町、王寺町、河合町)で、「まちづくり」の協議を行ってまいります。



○令和2年8月4日 キックオフ会議開催
[テーマ]

- ・西和地域(西和7町)の医療、包括ケアのあり方
- ・西和地域のまちづくり、交通体系整備
- ・大和川流域の防災体制の整備
- ・その他、奈良県と西和7町が合意したテーマ

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
—	—

(145) 県域水道ファシリティ・マネジメント

これまでは

奈良県では人口減少、高齢化が進み水需要も急激に減少する一方、水道管路・施設は老朽化が進んでおり、将来の県市町村の水道経営は大きな課題に直面

各上水道事業体の施設の状況を分析したところ

- ・ 管路の耐震管率は奈良県水を除いて低い
(全国平均12.5%、県内市町村平均7.5%、県62%)
- ・ 法定耐用年数40年を超える管路の割合
(市町村平均32.6%、県41.3%)
- ・ ほとんど全ての県内市町村と県で実績投資額が必要投資額を下回る。
- ・ 有収率(高いほどよい)
全国平均90.0%、県内市町村平均92.1%、県99%
- ・ 管路更新率
全国平均0.73%、県内市町村0.44%、県0%

県域水道一体化も視野に、県域水道経営効率化の必要性や広域連携の実現に向けて取組を提示しました。

成果

《県水転換》

- ・ 県水率100%市町村数の推移 平成23年度:5 → 令和2年4月1日:14
- 《磯城郡広域化》
- ・ 令和2年6月2日 川西町・三宅町・田原本町・奈良県で、「磯城郡における水道事業の広域化にかかる基本協定」締結。令和4年4月に一部事務組合事業開始を予定

もっと良くするために

「新県域水道ビジョン」に基づき、上水道エリアと簡易水道エリアに分けて、県内市町村連携による業務の効率化、施設投資の最適化、水源の適正化を進め、最終的に県域水道一体化が達成できるよう、検討を進めます。

上水道エリア

○上水道一体化の検討

- ・ 事業統合により、令和6年度内に企業団を設立し、令和7年度の事業開始に向けて、令和2年度中に一体化に係る市町村との覚書締結を目指す

○県域水道最適化の施設整備

- ・ 市町村水道の水源の県営水道への転換及び市町村水道との連携に伴う送水施設整備

簡易水道エリア

○簡易水道事業への支援

- ・ 公営企業会計の適用等の、国の制度改正への対応支援及び新県域水道ビジョンの目標である「受け皿体制」の検討

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
799	—

奈良市・広域で13市町村
大和郡山市・奈良

(146) ごみ処理広域化奈良モデル

これまでは

県・市町村長サミットにおいて議論をスタートさせ、県は、市町村が連携して実施する「ごみの共同処理」に対して、技術・財政支援を実施。

○県ごみ処理広域化補助金制度の創設(H28.4)

○各地域の進捗

- ・ やまと広域環境衛生事務組合(H29.6完成)
- ・ 山辺・県北西部広域環境衛生組合(H28.4設立)
基本設計・調査等着手(H28~)
- ・ さくら広域環境衛生組合(H28.4設立)
基本設計・調査等着手(H28~)
- ・ 橿原・高市地域(橿原市、高取町、明日香村)
一般廃棄物処理に関する協定締結(H30.11)
- ・ 県北部地域(奈良市、大和郡山市、生駒市、平群町、斑鳩町)
勉強会開催(H29.2~)

○施設整備状況

25施設(H27)→21施設(令和元年度末現在)

やまとクリーンパーク
(平成29年6月完成)



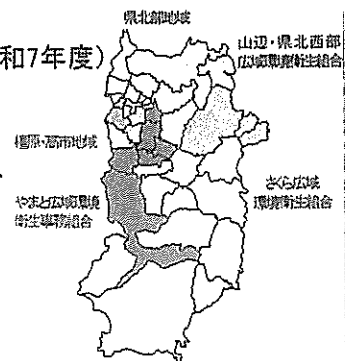
もっと良くするために

市町村が連携して実施するごみ処理施設の整備に対して支援し、ごみ処理の広域化を進めていきます。

○整備目標

25施設(H27)→15施設(令和7年度)

- ・ 山辺・県北西部広域環境衛生組合
(R7完成目標)
(大和高田市、天理市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、上牧町、広陵町、河合町)
- ・ さくら広域環境衛生組合
(R5完成目標)
(大淀町、下市町、黒滝村、天川村、川上村、東吉野村)
- ・ 県北部地域
(奈良市、大和郡山市、生駒市、平群町、斑鳩町) 検討中



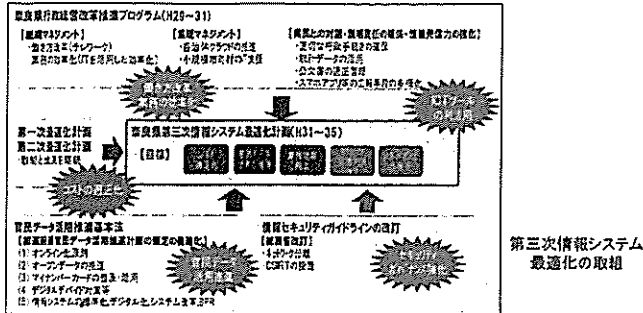
○財政効果

山辺・県北西部広域環境衛生組合では、7施設を1施設とすることで、市町村の実質負担額が、建設費で約100億円、運営費で年間約9億円縮減(H27県試算)

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
56	0

これまで

庁内の情報システムの構築・運用にかかる全体最適化を進めるとともに、AI等のICTを活用した業務効率化や官民データ活用の推進などに取り組んできました。



〇AI活用による業務効率化の例

- ・AIチャットボットの導入により、住民からの問い合わせ対応業務を自動化（県及び8市町に導入）
- ・AI-OCR及びRPAを活用し、申請処理事務に係る単純入力作業を自動化（令和2年度に試行実施予定）

ICTを活用した地域課題の解決や県民の利便性向上に関する取組を、個別分野ごとに進めてきました。

（取組例）

〇ICT等の活用による地域包括ケアシステムづくりを推進するため、(株)NTTドコモと連携協定を締結(R2.3.26)

- ・南和地域において令和2年度に実証実験を実施予定



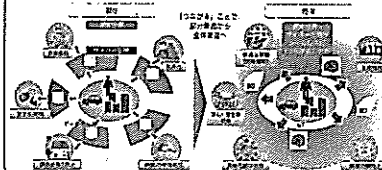
もっと良くするために

地域のデジタル化は「もっと良くなる奈良」を目指すために早急に取り組むべき課題です。県民生活・社会経済活動全般にデジタル技術を浸透させることで、県民生活の質の向上を図ります。

- 〇庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、分野横断的に議論を加速化
- 〇デジタル化社会に関する有識者等を招いた研究勉強会の開催等を通じ、奈良県における望ましい地域デジタル化のあり方像を検討

【地域デジタル化の分野等(イメージ)】

分野	手続・事項の名称	分野	手続・事項の名称
行政事務、手続き	オンライン申請 業務のデジタル化 マイナンバー活用 許可審議、電子公印 電子マネー・キャッシュレス決済 ...	観光・交通	チャットボットによる観光案内 予約・チケットの取扱い 多言語音声翻訳 MaaS ...
防災・減災・インフラ	防災情報システム IoT ...	農林水産	スマート農業 ...
医療・福祉・介護・健康	電子カルテ 地域医療連携システム AIによる受診予約システム ...	産業振興・ビジネス	IoTによる品質向上・コスト削減 電子マネー・キャッシュレス決済 ...
教育	オンライン授業 遠隔地間授業システム ...	働き方	テレワーク リモート会議 ...
文化・文化財	AR・VR施設システム デジタルアーカイブ ...	スマートシティ	スマートシティ ...
		防災・危機管理	オープンデータ活用 ビッグデータ活用 ...



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
—	—

28 財政マネジメント

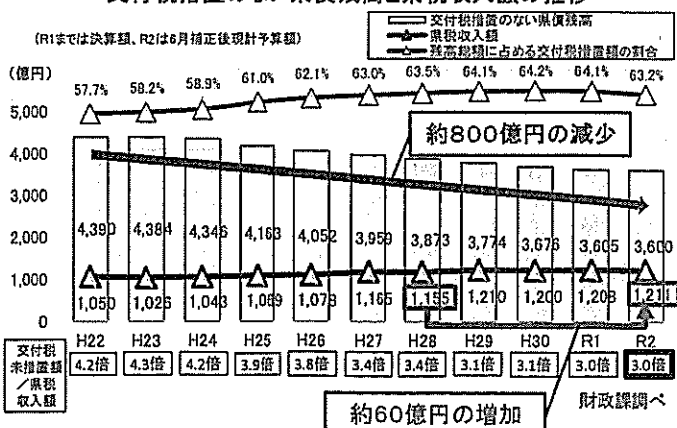
(153) 県財政中長期運用方針

これまで

県財政の中長期運用方針の3本柱

- ① 奈良県の将来の発展に必要な施策は果敢に実行
- ② そのような投資を実行できる健全な財政運営を維持
- ③ そのため、新規の県債発行は交付税措置のあるものを優先し、交付税措置のない県債残高を減らす

交付税措置のない県債残高と県税収入額の推移



県民の将来負担軽減のため、「交付税措置のない県債残高／県税収入額」の比率に配慮

もっと良くするために

県勢の将来発展のための投資財源確保(財政体力向上)の取組を実行します。

- 〇 企業誘致促進等による県経済強化、税源涵養につながるプロジェクトを積極的に推進(県税収入が加速度的に逡増していくことを期待)
- 〇 相乗効果発揮を念頭に、事業を投資効果性の高いものに組み直し
- 〇 事業基金の拡充に努め(県財産売却収入や財政収支改善による剰余金の積立で、奈良県道路公社清算金収入約253億円の積立で)、長期財源不足に対処
- 〇 国庫支出金など国予算等の確保と活用

県民の将来負担の軽減を引き続き図るため、交付税措置のない県債残高の県税収入額に対する比率を3倍程度に維持します。



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
—	—

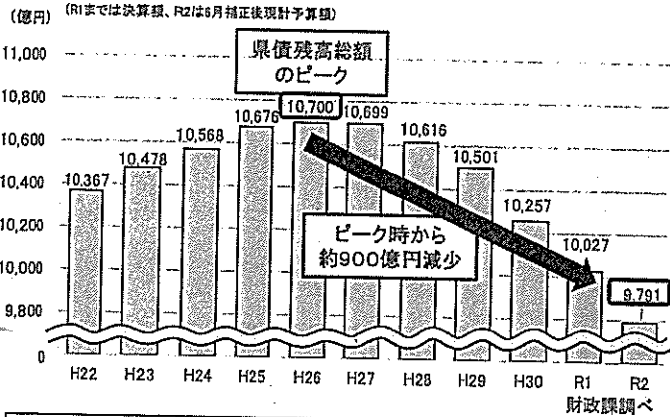
(154) 県債の管理

これまで

県債管理3原則に基づき運用

- ① 新規の県債発行は交付税措置のあるものを優先する
- ② 交付税措置のない県債残高を減らす
- ③ 県債残高総額を減らす

県債残高総額の推移

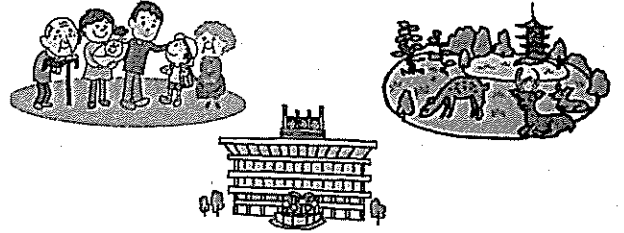


県債残高総額は平成26年度をピークに減少
令和2年度末の県債残高総額は9,791億円
→ ピーク時から約900億円減少

もっと良くするために

県債管理3原則を堅持します。
県債管理基金を適切に運用します。

- 県債管理基金を活用した繰上償還を実施するなど、県債残高総額の減少に努めます。
- 本県では、県債の借り入れ金利上昇への備えや、将来の公債費負担を軽減するため、県債管理基金を設置しています。交付税措置のない県債残高が減少すると、県債管理基金の規模も縮小可能となります。



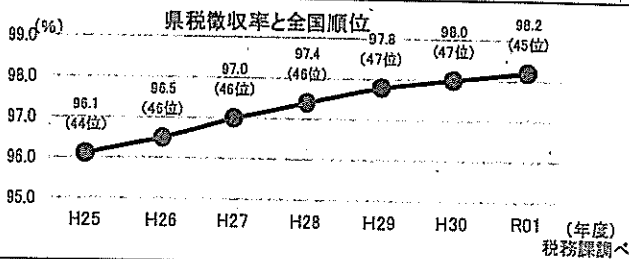
	当初予算	補正予算
	15,000	—

(155) 税徴収率向上、適正課税推進、税偏在是正

これまで

県税徴収率は年々上昇しており全国順位は45位となりました。県税の中で徴収率の低い個人県民税、自動車税の構成比率が他県と比べて高いこと一因となっています。

また、適正課税推進の取組を進めています。



税偏在是正の取組としては、地方消費税の清算基準の見直し(人口比率の大幅な引き上げ: 17.5%→50%)、法人課税の新たな偏在是正措置の導入(格差是正: 6.00→3.15倍)に尽力しました。

成果

- 令和元年度 県税徴収率全国最下位から45位に上昇
- 令和2年4月～奈良モデルによる個人住民税徴収を目的とした市町村への職員の常駐派遣(天理市、香芝市)、随時派遣
- 令和2年4月～スマホ決済アプリによる納税手段の拡大

もっと良くするために

市町村との連携による協働徴収の実施や早期かつ厳正な滞納処分の推進等により、県税徴収率を向上させます。

- 滞納整理の推進
- 収納手段の拡大
- 市町村との連携・協働による税収確保に向けた取組

適正な申告指導と的確な情報収集に努めるとともに、税の公平性を確保するため現地調査などの課税調査を強化します。

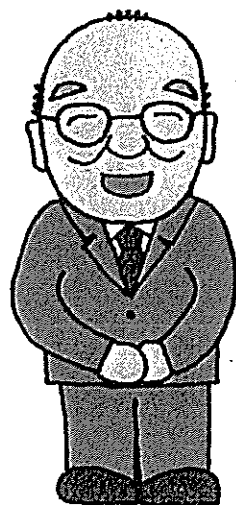
- 税務調査体制の充実
- 納税手続関連書類の多言語化

税偏在是正に向けた取組を進めます。

経済社会情勢の変化に応じて、偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築に引き続き取り組んでいきます。

	当初予算	補正予算
	31	—

ご清聴ありがとうございました。



政務活動記録簿 (要請陳情)

会派・議員名 山 中 益 敏

年 月 日	令和2年10月22日 (泊1日)				
政務活動先	国土交通省・厚生労働省・財務省・農林水産省				
政務活動の目的	国土交通省：JR香芝駅の段差解消に係る要望。厚生労働省：知的障がい者の医療と福祉支援の要望。財務省：JR香芝駅を含む段差解消に向けた予算の拡充を要望。農林水産省：トビイロウンカ被害の状況を報告。				
相手方	国土交通省：赤羽大臣。厚生労働省：山本副大臣。財務省：伊藤副大臣。農林水産省農水省：熊野大臣政務官				
内容、結果等 ※陳情要請の効果を明記の事	国土交通省：JR香芝駅のバリアフリー化事業を国の補助事業として採択を受けるよう要望。事業が実施されると高齢の方や障がいのある方など、全ての方が安全・安心、快適にJR香芝駅を利用できる。 厚生労働省：医学的な指導や管理が必要な在宅の障がい者に対して医師や訪問看護サービスの利用制限の緩和措置を図って頂き、在宅生活の継続と安心を担保する。 財務省：先のJR香芝駅のバリアフリー化が国の補助事業として採択されるように、財政的支援の拡充を要望する。 農林水産省：奈良県内において、秋の収穫期に発生した「トビイロウンカの被害状況」について報告及び今後の対応や支援策について確認する。				
要請陳情活動に要した経費	行先	利用交通機関	利用区間	金額	領収書番号
	奈良～京都	近鉄 (往路) 乗車・特急券	奈良駅～ 京都駅	1,160	37
	京都～東京～京都	JR (往復)	京都駅～東京 駅～京都駅	28,340	37
	東京～霞が関	東京地下鉄 株式会社	東京駅～ 霞ヶ関駅	170	38
	霞が関～東京	東京地下鉄 株式会社	霞が関駅～ 東京駅	170	39
	京都～奈良	近鉄 (復路) 乗車・特急券	京都駅～ 奈良駅	1,160	37
		合計	31,000円 ()		
備考	添付資料：提出資料 (要望書) ・写真・名刺				

注 陳情要請先で入手した資料や名刺等を添付してください。

令和2年10月22日

厚生労働副大臣 山本 博司様

公明党奈良県議会議員

大国 正博

山中 益敏

亀甲 義明



要望書

平素は、国民への厚生労働行政におきましてご尽力いただき誠に有難うございます。

さて、訪問看護サービスの利用制限の緩和措置について要望させていただきます。

在宅障がい者の中には、頻回の自己注射や服薬を行っている人がいます。こうした人の中には、その障がいのため自己による適切な手技や服薬管理ができず（例 知的障がい（A）で、劇症I型糖尿病により日2回程度のインシュリン注射が必要）、家族等の支援も受けられずに、在宅生活の継続が困難なケースもあります。医療保険による訪問看護サービスは原則として週3回の利用制限が設けられていますが、現行制度においても、特別な場合は利用制限が緩和されていることもあることから、医学的な指導・管理が必要な在宅の障がい者（介護保険による要介護状態にある場合を除く。）についても、利用制限の緩和措置を講じられるよう要望いたします。

以上

国土交通大臣

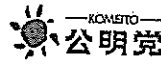
衆議院議員

赤羽

一嘉

10月22日 赤羽国土交通大臣（国土交通省）に JR 香芝駅の段差解消の要望
を行う。





厚生労働副大臣
参議院議員

山本 博司

やまもと ひろし

E-mail

website <https://www.yamamoto-hiroshi.net/>

検索 山本ひろし



厚生労働省

社会・援護局 障害保健福祉部

障害福祉課訪問サービス係

係長

小板橋 始

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
電 話 (03)5253-1111 内線 3092
夜間直通 (03)3595-2528
F A X (03)3502-0892
E-mail



厚生労働省 保険局 医療課

課長補佐

関根 小乃枝

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
TEL : 03-5253-1111 (内線3278)
TEL : 03-3595-2577 (直通)
FAX : 03-3508-2746
E-mail



厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部

障害福祉課 福祉サービス係

係長

菊池 純一

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2
電 話(03)5253-1111 内線 3091
F A X(03)3591-8914
E-mail

10月22日 山本厚生労働副大臣（厚生労働省）に知的障がい者の医療と福祉支援の要望を行う。



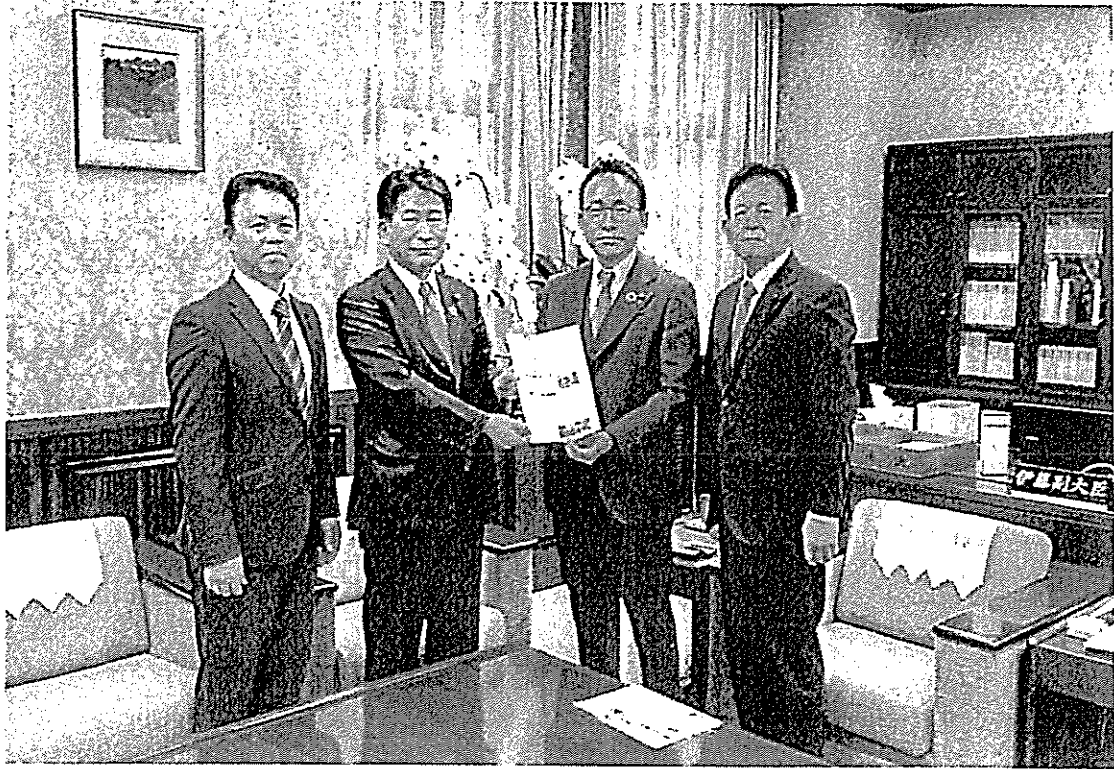
財務副大臣

衆議院議員

伊藤 渉

財務省 東京都千代田区霞が関三丁目一
番一〇八号
直通 〇三三五八二二七二四
FAX 〇三三五二五二二三八

10月22日 伊藤財務副大臣（財務省）に JR 香芝駅を含む段差解消のための
予算の拡充を要望する。



MAFF
農林水産省

参議院議員

熊野くまの

正士せいし

農林水産大臣政務官

10月22日 熊野農林水産大臣政務官（農林水産省）に奈良県内におけるトビイロウンカ被害の状況報告を行う。



第11号様式の6 (第5条関係)

政務活動記録簿 (ホームページの開設等)					
会派・議員名 山中益敏					
年 月 日	令和2年4月10日・他 (令和2年4月1日～令和3年3月31日(12ヶ月))				
表題	奈良県議会議員 山中益敏のホームページ				
対象者	インターネット利用者				
開設目的	適宜、議会報告等を行い、意見、要望等を求める				
按分率の説明	按分率 50% その理由 (政党等へのリンク)				
内容	政治活動報告 県民への意見募集 県政課題の紹介等				
ホームページ制作等に要した経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	維持管理費	奈良新聞コミュニケーションズ	月額 12,960円	管理料	4・他
※全て50%充当 合計 12,960円×50%×12ヶ月=77,760円					
備考	ホームページアドレス： http://www.yamanaka-masutoshi.com 添付資料 ホームページ作成・保守費用の契約書				

注 ホームページ制作・保守費用の契約書等を添付してください。

契約事項

本文等(以下、甲と)と納入者(以下、乙と)とは、甲乙間のコミュニケーションシステム等の制作(以下「本業務」といふ)に就する取扱いについて、以下のとおり契約(以下「本契約」といふ)を締結します。

第1条(目的)

本契約は、甲が乙に対して発注する本業務に関する取引について、その基本条件を定めたもので、契約の履行に当たっては、甲、乙ともに債務に附し、これを履行するものとします。

第2条(業務内容)

乙が甲に提出する業務は下記の通りとします。

- 1 甲より与えられた業務・資料(写真・イラスト・チラシ等)やヒアリング資料に基づく、WEBサイトの企画・設計、デザイン、(X)HTML制作、コミュニケーションシステム(データベース連動コンテンツ管理システム)等の導入。
- 2 既存の写真・画像等のスキャン(デジタル化)
※1サイトあたりの上限:20枚
- 3 紙データ(原稿・資料)のデジタルデータ化
※1ページあたりの上限:800文字
- 4 メールフォームの設置
(携帯コミュニケーションシステムは除く)
※1サイトにつき1つ
- 5 メールアカウントの発行
(携帯コミュニケーションシステムは除く)
※1サイトあたりか上限:10アカウント
- 6 レンダリングサーバ
(携帯コミュニケーションシステムは除く)
※1サイトあたりの上限:100MB

上記はコミュニケーションシステム内での提供内容とし、以下に示される内容(オプション)については有料とし、別途見積りの上、ご見積りさせていただきます。

- (1)掲載文章の作成(ライティング)
- (2)掲載文章の変更・追加
- (3)掲載写真の撮影
- (4)掲載写真の変更・追加
- (5)デザイン・レイアウトの変更・追加
- (6)新規ページの追加
- (7)イラスト・似顔絵作成
- (8)CI・ロゴデザイン
- (9)コピーライティング
- (10)システム、プログラム(CGI・PHP等)の開発及び設置
- (11)リッチメディア(FLASH・動画等)の作成
- (12)独立ドメインの取得
- (13)お問い合わせの返信、追記、修正、削除
- (14)更新システムへの移行入力
- (15)メールアカウントの追加発行
- (16)ケーパ容量の追加
- (17)パソコン等の接続及び初期設定
- (18)インターネットの接続
- (19)メール(アカウント)の初期設定

※上記プラン以外または指定のないものについては別添契約とします。

第3条(デザインに関する取扱い)

- 1 提出するデザインは、トップページ(第一画面)と第二画面、第三画面、それぞれ1稿を標準とします。
- 2 甲が了承したデザインに於いて、後に変更を希望する場合は、乙は別途料金を徴収するものとします。
- 3 変更依頼が完了した場合、乙は制作期間を延長することはありません。

第4条(制作途中の解約とその費用)

1 本契約の締結後の取扱い取扱いについては、乙が甲迄を履行し、本契約に着手した後は原則として行わないものとします。ただし、仕方のない理由で甲が解約を希望する場合、その理由を明らかに乙に対して通知し承諾を得なければならず、甲は甲の責任範囲内での損害を乙に対して支払う義務を負うものとします。

- 2 乙の都合により、本契約を途中で解約した場合は、その時点での制作進捗率に応じたものとします。
- 3 制作完了後の返金キャンセルは一切受けません。
- 4 制作途中の解約による前払金返金については、以下の通りとします。

- (1)甲が乙の制作者と打ち合わせ、甲の申し込によりキャンセルする場合は、乙は第5条1項に定める半返金も返却しないものとします。
- (2)甲が、乙による制作開始後の甲迄の取扱いを行う場合、甲は、乙が合理的な根拠に基づいて計算した制作途中までの半額相当金及び乙が本契約の履行のために負担した費用を甲が乙に支払うものとします。
- (3)本契約の締結後においても、第4条4項(1)(2)の甲の都合を有する場合は、甲に対する乙の損害賠償責任を負わないものとします。

第5条(業務費用の支払時期及び方法)

- 1 甲は、本契約締結後、1週間以内に半額金を支払うものとします。
- 2 乙は甲の必要の書類をもって制作業務に着手するものとします。
- 3 甲は、本契約に係る代金を、成果物納入時に支払われる制作確認完了後、遅滞なく乙所定の方法で支払うものとします。以下各号についても定めおきます。
- (1)制作費及び支払いに関する手数料は、甲の負担とします。
- (2)甲の支払方法が、乙が指定した信託会社を利用する場合、信託会社の規定に基づき信託会社との契約及び支払いを行うものとします。乙は、甲と信託会社の契約後、その契約に同意し、署名しないものとします。
- (3)乙の業務開始後、甲の要求により、第2条1項~6項に定める業務以外の追加作業が発生する場合は、当該作業に係る費用を別途請求できるものとします。
- (4)成果物納入前であっても、WEBサイト及びメールサービスの稼働を必要とする場合は、甲は毎月よりレンタルサーバ契約等に係る費用を支払うものとします。
- (5)甲がこの要請を拒否した場合は、乙はそれまでに要した代金全額を請求することができるものとします。

第6条(甲乙役割分担)

- 甲は本業務の履行に当たり、次の各号に定める役割を分担するものとします。
- 1 WEBサイト制作に必要な原稿・資料等の提供
 - 2 乙から要請された制作打ち合わせへの参加
 - 3 乙から要請された中間成果物の確認作業
 - 4 その他、本契約で定まる業務内容及び乙が要請した作業への協力

第7条(成果物の納品)

- 1 乙が甲に成果物の納品を行う前に、甲はインターネット上で成果物の確認を行うものとします。成果物確認依頼の届出は、乙がメール等で甲によって甲に通知するものとします。
- 2 甲は、成果物の確認依頼届出を受領後すみやかに、その内容を確認を行うものとします。
- 3 甲からあるべき確認依頼内容上記確認依頼通知の返信メール(または電話等)により行うものとします。
- 4 確認依頼通知を受領後7日以内に乙への返信がない場合は、甲により成果物の納品が承認されたものとします。
- 5 甲の遅延通知を乙が受領後、インターネット上の所定のアドレスにて甲宛に、納品物として乙宛にメールにて送信するものとします。

第8条(成果物の返品・再発行)

1 成果物の返品・再発行については、乙の責任範囲内での損害を甲が乙に対して支払う義務を負うものとします。乙の責任範囲内での損害を甲が乙に対して支払う義務を負うものとします。

- 2 甲の誤入力や誤記に起因する間違いについては、再作成ではなく新規の申込として受け付け、乙は甲に乙所定の料金を請求できるものとします。
- 3 デジタルデータ化された画像の発色や鮮明性等に原簿と比べて差異が生じる場合は認めません。

第9条(品質保証)

乙は成果物の納品前に表示および動作確認を行うものとします。保証する表示および動作環境は別途仕様書に記載するものとします。

第10条(著作権)

- 1 成果物及びコミュニケーションシステムの著作権は乙に帰属し、甲は乙より、成果物及びコミュニケーションシステムのライセンス使用権を得るものとします。ただし、特許プログラム等を利用する場合、その著作権はプログラム作成者(会社・団体・個人)に帰属し、甲はそれらライセンス使用権を得るものとします。
- 2 乙が甲に納品するのは完成物(X)HTML、GIF、JPGファイル等)のみとなり、制作時のデザインファイル(Photoshop、Illustrator、Fireworksファイル等)、コミュニケーションシステム・プログラム(を問場合フォーム、ショッピングカート等)は提供しないものとします。
- 3 甲は成果物を複製、レンタル、リース、貸出、再発行、転売またはその他の方法で再複製しないものとします。

第11条(禁止事項)

- 乙は、次のいずれかに該当した時(またはその恐れがある時)は甲の依頼を承諾しない場合があるものとします。
- 1 作成依頼内容に、虚偽の記載があったとき
 - 2 制作中権利者の権利が侵害されたとき
 - 3 非合法あるいは不適切と判断されたとき
 - 4 その他乙が契約に当たり不適切と判断したとき

乙は、契約後であっても甲の依頼の何らかに該当することが判明した場合は、契約を取り消すことができ、その時点までに要した代金を甲に請求出来るものとします。

第12条(個人情報保護)

乙は、この契約による業務を処理するため個人情報を取り扱う場合は、個人情報保護法の規定を遵守し、個人情報保護に努めなければならないものとします。

第13条(秘密保持)

甲および乙は、本契約または派生契約に就して知り得た相手方または相手方の事業の秘密上、競争上その他業務上の秘密を、本契約の存続期間中はもとより本契約終了後においても第三者に開示してはならないものとします。

第14条(責任制限)

乙は、制作物自身または制作物の使用から直接または間接的に生じたいかなる損害についても、乙に故意または重大な過失がある場合を除いては、一切責任を負わないものとします。また乙が責任を負う場合でも、制作代金および甲が甲の全額を超過して責任を負わないものとします。

第15条(免責)

いずれも当事者が不可抗力(地震、洪水、台風、火災、戦争、政府の行為、テロ)を招いたコンピュータウイルスの発生、その他の他当事者のコントロールを越えた原因により生じた損害や責任を乙は契約履行遅延に際して責任を負うものとします。

第16条(準拠)

本契約に規定のない事項、または本契約の解釈等に疑義が生じた場合には、その解釈、甲乙間の協議をもって協議し、同意を得るものとします。

630-8144

奈良県奈良市京九条町202-61

山中益敏事務所 御中

(6201E0003809) 00091-00091

(お問い合わせ窓口)

541-0052

大阪市中央区安土町2丁目3-13
大阪国際ビルディング

シャープファイナンス(株)

事務センター

0570-003338

[営業時間 9時~17時30分(土、日、祝日を除く)]

ご利用の内容

ご利用方式 : 立替払契約

お支払日	毎月 3 日	お支払方法	口座振替
ご契約日	19 年 6 月 20 日	お取引番号	6201E0003809
商品名	コンピュータソフト ※2品目以上ご利用の場合は代表商品のみ表示しております。		
お支払期間	19 年 8 月 3 日 23 年 5 月 3 日		
お支払合計額	622,080円		

※口座振替ご指定金融機関

※お客様の情報を保護するため、口座番号は表示しておりません。

南都銀行 支店 口座番号*****

預金種別 普通 口座名義人 ヤマナカ マストリ

お取扱店 株式会社 奈良新聞コミュニケーションズ
TEL 0742-35-2322

お支払明細

作成日 19 年 6 月 25 日

このたびは、シャープファイナンスをご利用いただき誠にありがとうございます。
 ご利用の内容および月々のお支払につきまして下記の通りご案内いたしますので、
 ご確認のうえ申込書とあわせてご完済まで大切に保管いただきますようお願い申し上げます。
 今後とも、シャープファイナンスをご利用賜りますようお願い申し上げます。

ページ 1-1

お支払回数	お支払年・月・日	お支払金額	お支払後の残高
1	19 年 8 月 3 日	38,880円	58,320円
2	19 年 9 月 3 日	12,960円	57,024円
3	19 年 10 月 3 日	12,960円	55,728円
4	19 年 11 月 3 日	12,960円	54,432円
5	19 年 12 月 3 日	12,960円	53,136円
6	20 年 1 月 3 日	12,960円	51,840円
7	20 年 2 月 3 日	12,960円	50,544円
8	20 年 3 月 3 日	12,960円	49,248円
9	20 年 4 月 3 日	12,960円	47,952円
10	20 年 5 月 3 日	12,960円	46,656円
11	20 年 6 月 3 日	12,960円	45,360円
12	20 年 7 月 3 日	12,960円	44,064円
13	20 年 8 月 3 日	12,960円	42,768円
14	20 年 9 月 3 日	12,960円	41,472円
15	20 年 10 月 3 日	12,960円	40,176円
16	20 年 11 月 3 日	12,960円	38,880円
17	20 年 12 月 3 日	12,960円	37,584円
18	21 年 1 月 3 日	12,960円	36,288円
19	21 年 2 月 3 日	12,960円	34,992円
20	21 年 3 月 3 日	12,960円	33,696円
21	21 年 4 月 3 日	12,960円	32,400円
22	21 年 5 月 3 日	12,960円	31,104円
23	21 年 6 月 3 日	12,960円	29,808円
24	21 年 7 月 3 日	12,960円	28,512円
25	21 年 8 月 3 日	12,960円	27,216円
26	21 年 9 月 3 日	12,960円	25,920円
27	21 年 10 月 3 日	12,960円	24,624円
28	21 年 11 月 3 日	12,960円	23,328円
29	21 年 12 月 3 日	12,960円	22,032円
30	22 年 1 月 3 日	12,960円	20,736円
31	22 年 2 月 3 日	12,960円	19,440円
32	22 年 3 月 3 日	12,960円	18,144円
33	22 年 4 月 3 日	12,960円	16,848円
34	22 年 5 月 3 日	12,960円	15,552円
35	22 年 6 月 3 日	12,960円	14,256円
36	22 年 7 月 3 日	12,960円	12,960円

お支払回数	お支払年・月・日	お支払金額	お支払後の残高
37	22 年 8 月 3 日	12,960円	11,664円
38	22 年 9 月 3 日	12,960円	10,368円
39	22 年 10 月 3 日	12,960円	9,072円
40	22 年 11 月 3 日	12,960円	7,776円
41	22 年 12 月 3 日	12,960円	6,480円
42	23 年 1 月 3 日	12,960円	5,184円
43	23 年 2 月 3 日	12,960円	3,888円
44	23 年 3 月 3 日	12,960円	2,592円
45	23 年 4 月 3 日	12,960円	1,296円
46	23 年 5 月 3 日	12,960円	0円

※本書状についてのお問い合わせは、「お問い合わせ番号」をお申し出の上、弊社窓口までご連絡下さい。